



第7次 八戸市総合計画

ひと・産業・文化が輝く 北の創造都市

資	料	1
令和7年5月29日		
R07 総市委02		

第7次八戸市総合計画

【施策シート①】

第2回八戸市総合計画等推進市民委員会

令和7年5月29日

八戸市

○施策シート目次

政策１	「ひと」を育む（政策分野：子育て・教育・文化・スポーツ）	………	P 1
政策２	「経済」を回す（政策分野：産業・雇用）	………	P 35
政策３	「暮らし」を守る（政策分野：環境・防災・防犯・健康）	………	P 78

○施策シートの見方

■基本的な考え方

各政策の基本的な考え方を総合計画の冊子から転記しています。

■施策の体系

各政策の内容を体系的に掲載しています。

- ・ 政 策…市が目指すべきまちづくりの方向を示すものです。
- ・ 施策の方向性…政策を推進するために、どのような方向性で施策を展開していくのかを示すものです。
- ・ 施 策…施策の方向性ごとに、今後の方策を示すものです。

■各施策について、施策の内容のほか、以下の項目を記載しています。

（１）施策を推進するための事務事業

施策を推進するための事業について、代表的な事業と担当課を記載しています。各事業の具体的な内容については、第７次総合計画付属資料「令和６年度 政策を推進するための事業一覧」に掲載しています。

（２）市民アンケートの結果

施策の進行管理を目的として、令和７年３月に実施した市民アンケートの調査結果（施策の満足度）を記載しています。

（３）進行管理指標の動向

施策の進捗状況を確認するための指標の動向を記載しています。

（４）施策の進行状況に対する市の自己評価

市民アンケートの結果及び進行管理指標の動向に基づく、市の自己評価及び評価理由を記載しています。

（５）施策に対する委員会の評価

（４）に記載した市の自己評価の妥当性を審議いただき、記入する欄を設けています。

（６）施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見を記入する欄を設けています。

政策1

「ひと」を育む（政策分野：子育て・教育・文化・スポーツ）

<基本的な考え方>

次代を担う子どもから大人まで、市民（ひと）一人一人が豊かな人生を育むことは、社会全体を生き生きとさせ、明るい未来を築くことにつながります。

全ての市民の人生を豊かなものにできるよう、それぞれのライフステージに応じた環境づくりを推進することが重要です。

これまで、当市では、市民が結婚・出産・子育ての希望をかなえ、安心して子どもを産み育てられるよう、結婚支援や子育て支援の充実に取り組んできました。

また、子どもたちが確かな学力と豊かな心、健やかな体の3つからなる「生きる力」を着実に育むことができ、郷土を愛し地域で活躍する人材を育むことができるよう、学校教育の充実に取り組んできました。

さらに、市民が豊かな人生を送ることができるよう、社会教育の充実を図るとともに、多種多様な文化芸術活動の促進やスポーツに親しむ環境づくりを進めてきました。

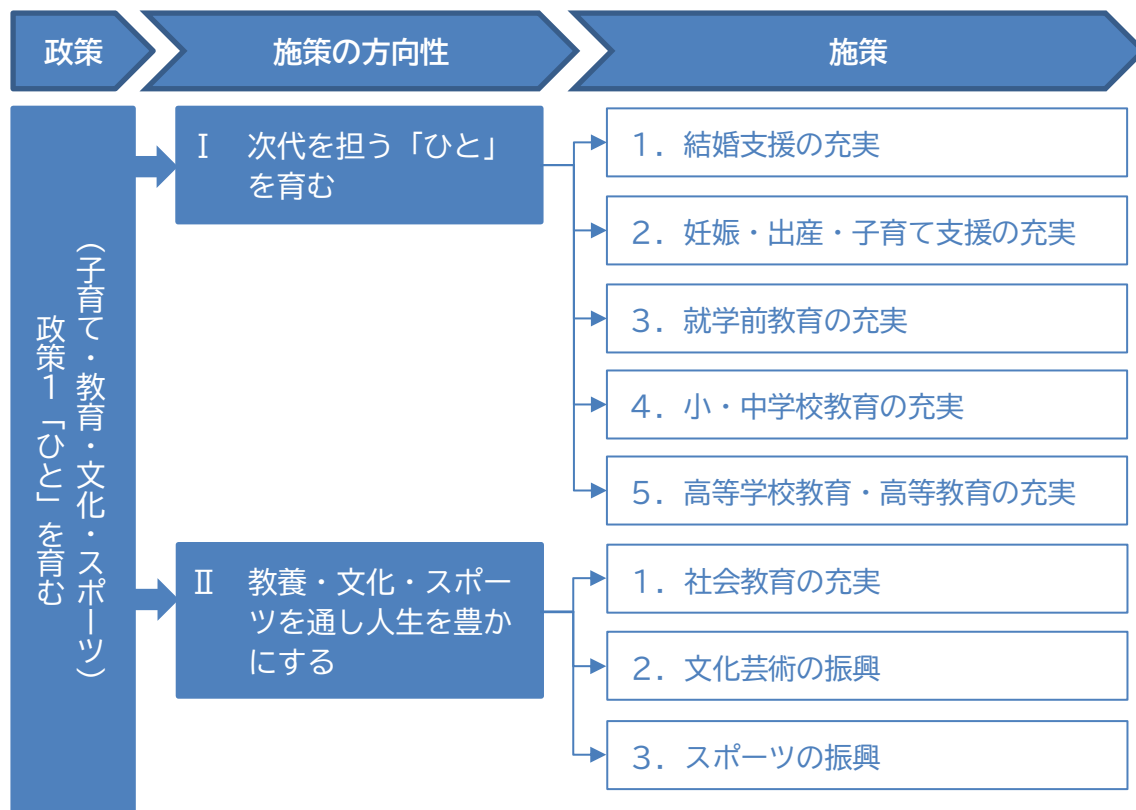
こうした中、近年の核家族化の進展により地域住民同士のつながりの希薄化が進むなど子育て環境が大きく変化しており、今後も子育て家庭が子どもを育てる喜びや楽しさを実感できる環境づくりを推進する必要があります。

また、現代社会はグローバル化や情報化が急速に進展しており、これらの変化に対応し豊かな未来を自らの手で切り拓くことができる人材を育む必要があります。

さらに、市民が主体的に学ぶことができる機会や文化芸術・スポーツに親しむ機会が数多く創出されてきた中で、市民一人一人が精神的な豊かさを感じながら、より豊かな人生を送ることができるよう、これまでの取組を更に推進する必要があります。

このようなことから、当市では、次代を担う「ひと」を育むため、結婚支援や妊娠・出産・子育て支援、就学前教育、小・中学校教育、高等学校教育・高等教育の充実を図るとともに、教養・文化・スポーツを通し豊かな人生を送る「ひと」を育むため、社会教育の充実や文化芸術、スポーツの振興を図ります。

< 施策の体系 >



■ 施策の方向性Ⅰ 次代を担う「ひと」を育む

施策１．結婚支援の充実

目指す姿	・結婚を希望する人が、多くの出会いの機会を得られ、希望をかなえることができる。
施策の内容	地域住民との連携により結婚活動への支援に取り組むとともに、あおり出会いサポートセンターとの連携による情報提供やイベントの開催を通じた多様な出会いの機会の創出を図ります。

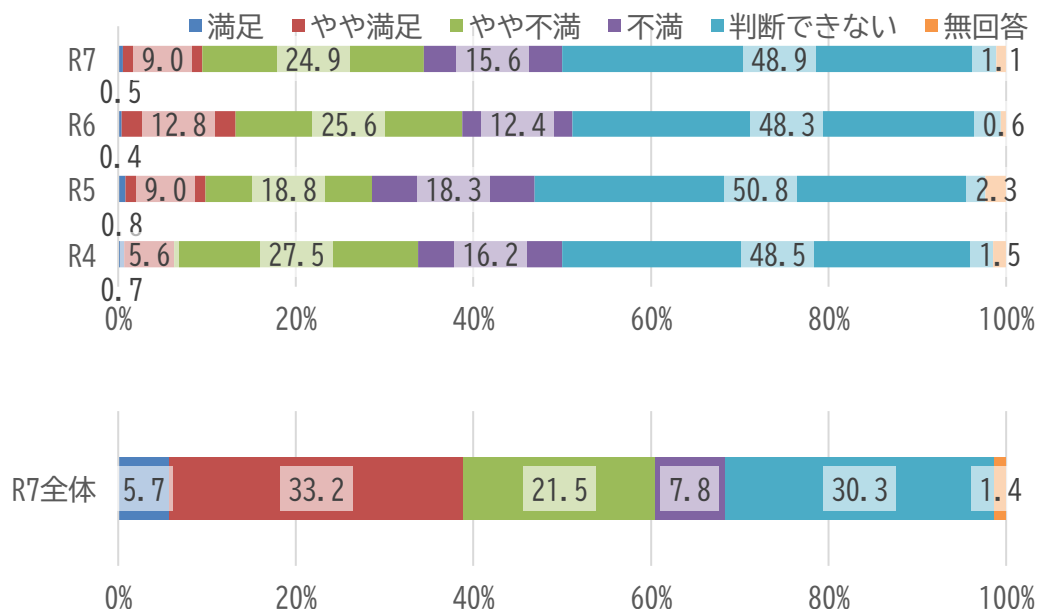
(１) 施策を推進するための事務事業

(1 事業)

事業名称	担当部署	掲載ページ
はちのへ縁結びプロジェクト事業	子育て支援課	P 1

(２) 市民アンケートの結果

【設問】結婚を希望する人の希望がかなえられるよう、出会いの機会の創出など、結婚支援の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 55 位／全 55 問

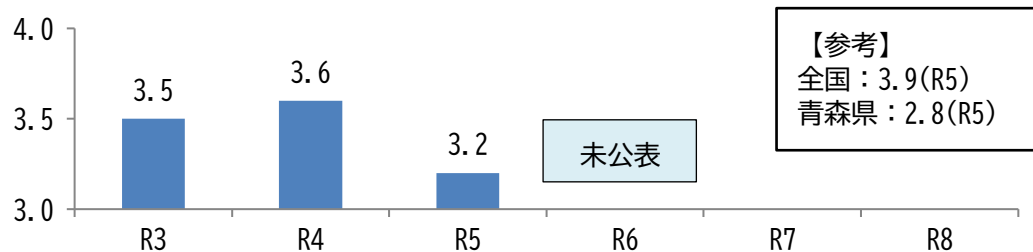
※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

(3) 進行管理指標の動向

①婚姻率

資料：青森県保健統計年報（各年集計）

指標の定義：人口千人に対する婚姻件数の割合



②あおり出会いサポートセンターの市民登録者数

資料：青森県（各年度集計）

指標の定義：あおり出会いサポートセンターにおける八戸市民の個人会員登録者数

（単位：人）



※関連指標：あおりマッチングシステム登録者数（R4. 10月から運用）

令和5年4月1日時点 94名（男76、女18）

令和6年4月1日時点 146名（男106、女40）

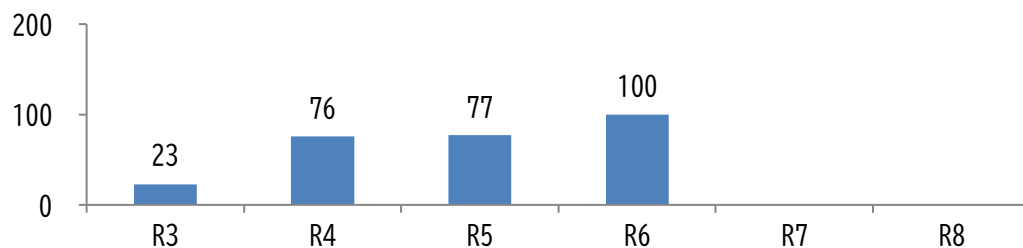
令和7年4月1日時点 163名（男110、女53）

③結婚に関するイベントへの参加者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：八戸市で実施している婚活イベントへの参加者数

（単位：人）



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

(自己評価の理由)

- 婚姻率は県内 10 市中第 2 位であったほか、八戸圏域連携中枢都市圏縁結び支援事業協議会で開催する婚活パーティーでは、募集人数を超える応募（募集 100 名/申込 236 名、うちカップル数 12 組）があり、利用者アンケートでは好評の声をいただいている。
- 昨年度からは、県と共同運営するあおもり出会いサポートセンターが運用する「あおもりマッチングシステム」への利用登録料の半額助成を市独自の制度として開始し、システムの利用促進と出会いの機会創出につながっている。（令和 7 年 4 月 1 日時点：163 名）
- 今後は婚活パーティーへより多く参加していただくための企画の検討や結婚支援の取組の認知度向上に努めていく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の 4 区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策２．妊娠・出産・子育て支援の充実

目 指 す 姿	・ 妊娠や出産の希望をかなえられ、安心して子育てができています。
施策の内容	妊娠期から子育て期まで切れ目のない相談支援体制の整備や子育て情報の提供に取り組むとともに、幼児期の教育・保育の充実を図ります。また、多様な子育て支援サービスの充実を図るとともに、子育て家庭への経済的支援に取り組めます。

（１）施策を推進するための事務事業

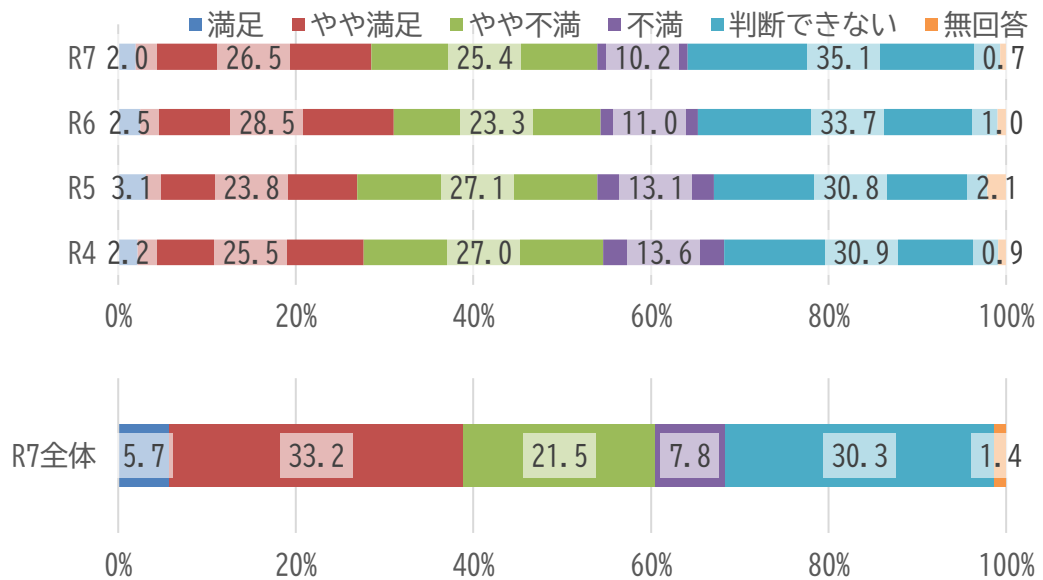
（64 事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
家庭相談事業	こども家庭相談室	P 1
女性相談事業	こども家庭相談室	P 1
健康教育事業（母子）	すくすく親子健康課	P 1
健康相談事業（母子）	すくすく親子健康課	P 1
母子訪問指導事業（母子継続看護事業含む）	すくすく親子健康課	P 2
母子健康診査事業	すくすく親子健康課	P 2
特別支援教育推進事業	こども支援センター	P 2
教育相談・適応指導教室事業	こども支援センター	P 2
性と健康の相談センター事業	すくすく親子健康課	P 2
ハイリスク妊産婦アクセス支援事業	すくすく親子健康課	P 3
妊娠出産包括支援事業	すくすく親子健康課	P 3
子ども家庭見守り・訪問支援事業	こども家庭相談室	P 3
児童虐待防止対策事業	こども家庭相談室	P 3
こども家庭センター事業	こども家庭相談室、 すくすく親子健康課	P 3
親子交流支援事業	こども家庭相談室	P 4
子育て情報整備事業	子育て支援課	P 4
時間外（延長）保育事業	こども未来課	P 4
休日保育の実施	こども未来課	P 4
一時預かり保育事業	こども未来課	P 4
病児保育ネット予約サービス事業 （病児・病後児保育事業）	こども未来課	P 4
軽・中程度障がい児保育事業	こども未来課	P 5
私立幼稚園補助金	学校教育課	P 5
保育研修事業	こども未来課	P 5
認可外保育施設児童対策事業	こども未来課	P 5
保育施設等整備事業	こども未来課	P 5
保育補助者雇上強化事業	こども未来課	P 5

児童福祉施設等産休等代替職員設置事業	こども未来課	P 5
保育士資格等取得支援事業	こども未来課	P 6
保育士修学資金貸付金事業	こども未来課	P 6
私立幼稚園教育研修費補助金	学校教育課	P 6
地域子育て支援センター事業	こども未来課	P 6
ファミリーサポートセンター事業	子育て支援課	P 6
子育てサロン支援事業	こども未来課	P 6
児童館・児童センター管理運営事業	子育て支援課	P 7
つどいの広場事業	こども未来課	P 7
八戸市ブックスタート事業	図書館	P 7
”おすすめ！”キッズブック事業	子育て支援課	P 7
子ども食堂等支援事業	子育て支援課	P 7
赤ちゃんお出かけ応援事業	こども未来課	P 7
保育施設等物価高騰対策支援事業	こども未来課	P 7
こども誰でも通園制度試行的事業	こども未来課	P 8
親子交流支援事業	こども家庭相談室	P 8
放課後児童健全育成事業	子育て支援課	P 8
放課後子供教室推進事業	子育て支援課	P 8
放課後児童クラブ物価高騰対策支援事業	子育て支援課	P 8
保育料軽減事業	こども未来課	P 8
児童手当支給事業	子育て支援課	P 9
児童扶養手当支給事業	子育て支援課	P 9
子ども医療費助成事業	子育て支援課	P 9
ひとり親家庭等医療費助成事業	子育て支援課	P 9
母子家庭等対策総合支援事業	こども家庭相談室	P 9
母子父子寡婦福祉資金の貸付け	こども家庭相談室	P 9
施設型等給付費支給事業	こども未来課	P 9
実費徴収に係る補足給付事業	こども未来課	P 10
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	こども家庭相談室	P 10
小児慢性特定疾病事業	すくすく親子健康課	P 10
未熟児養育医療給付事業	すくすく親子健康課	P 10
遺児等援護対策事業	子育て支援課	P 10
施設等利用給付費支給事業	こども未来課	P 10
八戸市小児慢性特定疾病通院費助成事業	こども家庭相談室	P 10
子ども食堂等物価高騰対策支援事業	子育て支援課	P 11
母子生活支援施設物価高騰対策支援事業	こども家庭相談室	P 11
不妊専門相談センター事業	すくすく親子健康課	P 11
不育症検査費用助成事業	すくすく親子健康課	P 11

(2) 市民アンケートの結果

【設問】妊娠・出産を希望する人が安心して子どもを産み育てられるよう、妊娠・出産・子育て支援の充実が図られている。



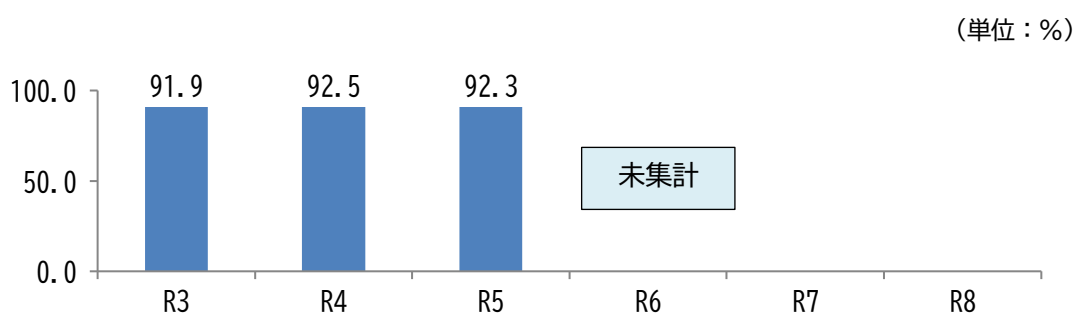
【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 43位／全55問
※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

(3) 進行管理指標の動向

①地域で子育てをしたいと思う親の割合

資料：八戸市（各年度集計）

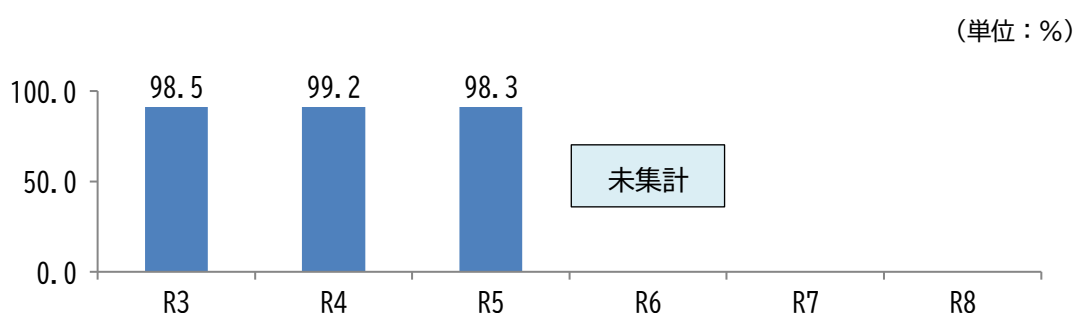
指標の定義：子育て世帯を対象としたアンケートで「この地域で子育てをしたい、子育てをしてよかった」と回答した人の割合



②母子健康診査受診率（妊婦健康診査）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：妊婦健康診査受診率

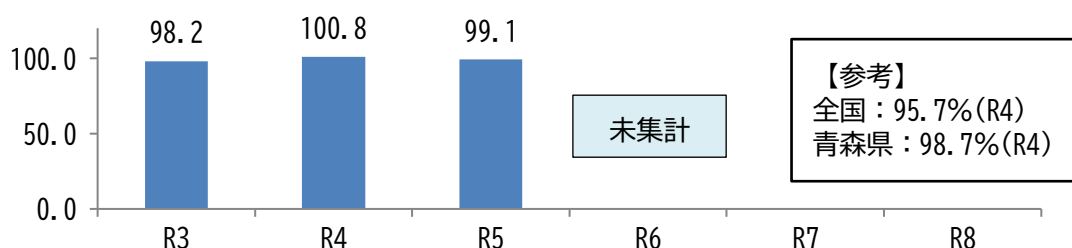


③母子健康診査受診率（3歳児健康診査）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：3歳児健康診査受診率

（単位：％）

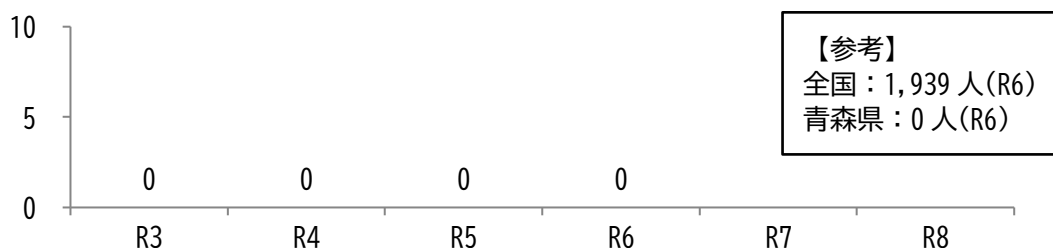


④待機児童数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：保育の必要性が認定され、特定教育・保育施設等の利用申込みをしているが、入所できない児童（ただし、特定の保育施設のみを希望している場合は除く）

（単位：人）



（４）施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

（自己評価の理由）

- 各指標については、毎年度高い水準を維持している。
- つどいの広場（こどもはっち）や地域子育て支援センター、子育てサロンでは、利用者からも好評をいただいております。広報はちのへや動画制作など、継続したPR活動を行っている。
- つどいの広場（こどもはっち）では、令和6年度から家庭訪問支援事業及び一時預かり事業を開始するとともに、令和7年度は、入場料を無料にする予定としており、親子の交流を図る機会の促進を図る取組を行っている。
- また、令和6年度から、赤ちゃんお出かけ応援事業及びこども誰でも通園制度試行的事業を開始し、子育て世帯が安心して子育てができる環境を整備している。
- これまでの新生児聴覚検査の助成のほか、股関節脱臼検診の費用の無償化により、高水準で受診率が推移しているほか、産後ケア事業において令和6年度から利用者負担金の軽減を図り、利用しやすい環境の整備を図っている。

- 子ども医療費助成事業では、令和6年10月分から0歳から高校生世代までの子ども医療費の完全無償化を実施しており、子育て世帯の財政支援を図っている。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える →

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

施策3. 就学前教育の充実

目指す姿	・就学前の子どもが小学校入学後に速やかに学校生活に順応できている。
施策の内容	就学前教育施設が行う幼児教育の提供や教育環境の整備を支援するとともに、小学校教育への円滑な接続に向けた幼稚園・認定こども園・保育所・小学校との連携を推進します。また、子育て世代包括支援センター、こども家庭相談室、こども支援センターの連携による相談体制の充実を図ります。

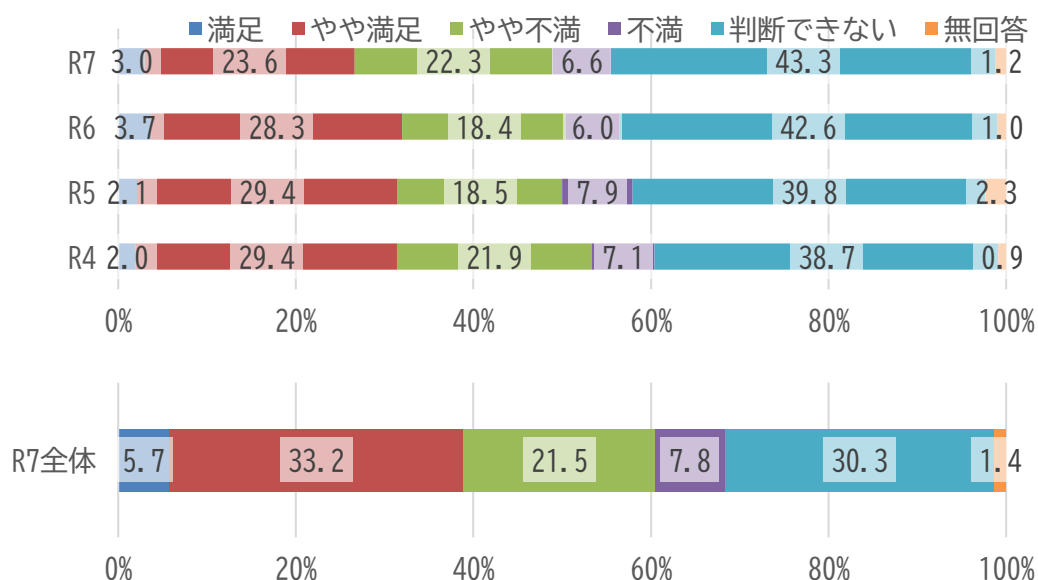
(1) 施策を推進するための事務事業

(8事業)

事業名称	担当部署	事業一覧掲載ページ
保育研修事業	こども未来課	P 11
保育施設等整備事業	こども未来課	P 11
医療的ケア児保育支援事業	こども未来課	P 12
私立幼稚園補助金	学校教育課	P 12
私立幼稚園教育研修費補助金	学校教育課	P 12
幼保小連携推進事業	教育指導課	P 12
特別支援教育推進事業	こども支援センター	P 12
こども家庭センター事業	こども家庭相談室、 すくすく親子健康課	P 13

(2) 市民アンケートの結果

【設問】就学前の子どもが小学校入学後に速やかに学校生活に順応できるよう、子ども一人一人の発達に応じた支援や相談体制の構築など、就学前教育の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 39位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

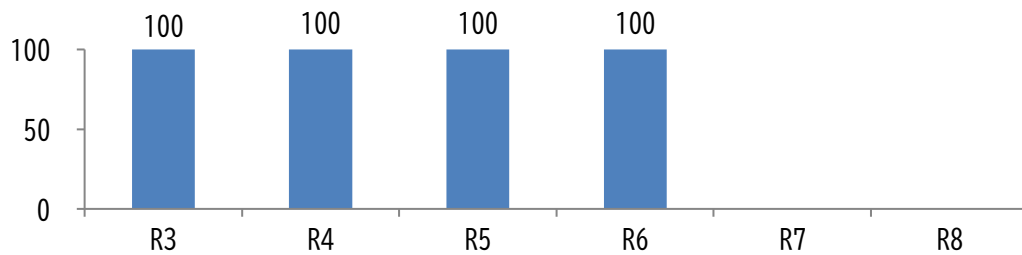
(3) 進行管理指標の動向

① 小学校における就学前教育施設との 交流活動・参観等の実施率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：小学校と幼稚園・認定こども園・保育所が、交流や保育・教育活動の相互参観、
情報交換等を実施した率

(単位：%)

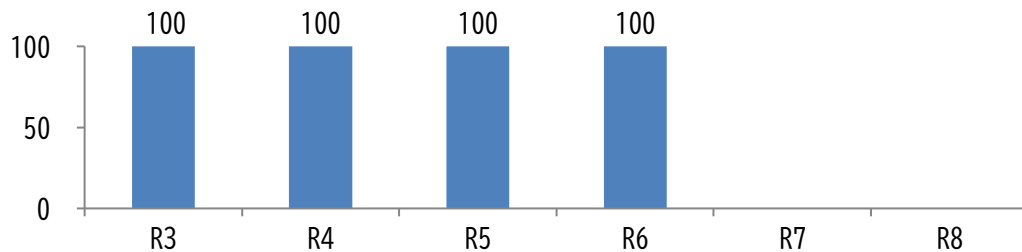


② 幼児教育アドバイザー及び幼児相談員 による巡回相談の実施率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：幼稚園・保育所・認定こども園からの依頼に対して、幼児教育アドバイザー及
び幼児相談院員による巡回相談を実施した園・所の割合

(単位：%)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 各指標については、毎年度 100%を維持している。
- 小学校と幼稚園等における、教職員間での情報交換や相互参観を通じて相互理解を図る取組が行われた。
- 幼児教育アドバイザー及び幼児相談員による巡回相談については、依頼があるすべての園に対して実施できるよう体制を整えており、昨年度に引き続き、すべての依頼に対応できた。
- 保育施設等整備事業では、毎年度 2 施設を順次実施する計画としているが、計画どおり順調に整備が進められている。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の 4 区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

施策4. 小・中学校教育の充実

目 指 す 姿	・郷土を愛し、夢や希望をもち、自分自身や未来をしっかりと見つめ、「生きる力（確かな学力、豊かな心、健やかな体）」を身につけた児童生徒が育っている。
施策の内容	地域密着型教育の推進や教職員の指導力向上を図るとともに、英語教育の推進やＩＣＴ環境の整備による教育の情報化に取り組みます。また、学校施設の老朽化対策や計画的な整備を進めるとともに、特別な教育的支援が必要な児童生徒に対する教育の充実を図ります。

(1) 施策を推進するための事務事業

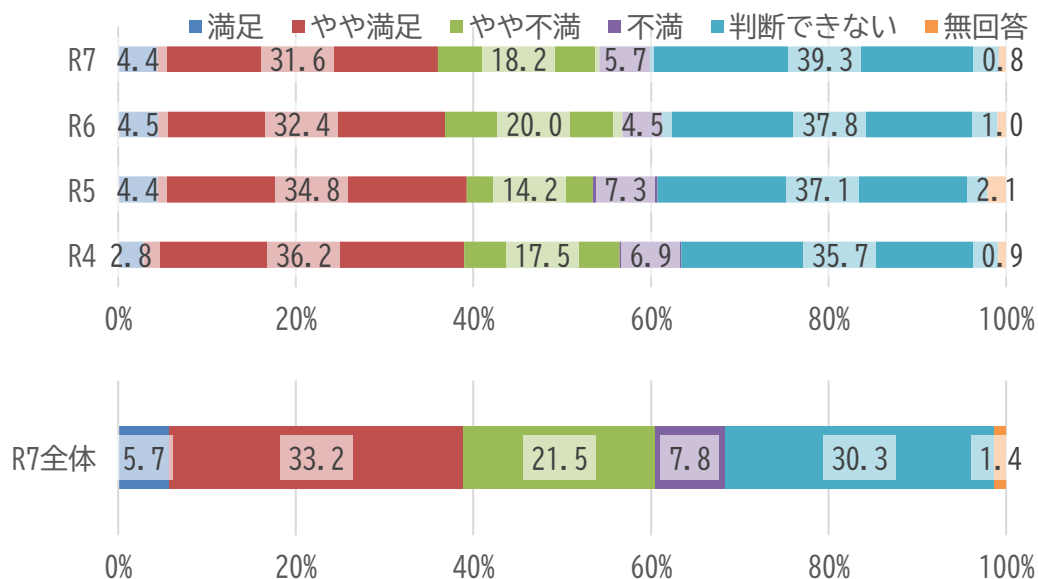
(33 事業)

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
八戸市児童・生徒の健康と体力の発刊	学校教育課	P 13
栄養教諭・学校栄養職員を活用した食に関する指導	学校教育課	P 13
コミュニティ・スクール推進事業	教育指導課	P 13
南部藩ゆかりの都市との交流事業	教育指導課	P 13
国際理解教育・英語教育推進事業	総合教育センター	P 13
視聴覚センター各種体験活動	総合教育センター	P 14
マイブック推進事業	教育指導課	P 14
広域的体験学習支援事業	教育指導課	P 14
ひらく・楽しむ新聞活用事業	教育指導課	P 14
こころのプロジェクト「夢の教室」事業	教育指導課	P 14
調べる学習コンクール事業	図書館	P 14
G I G Aスクール構想推進事業	総合教育センター	P 14
教職員研修事業	総合教育センター	P 15
小・中学校整備事業	教育総務課	P 15
学校図書館ネットワーク事業	総合教育センター	P 15
学校図書館支援事業	教育指導課	P 15
児童生徒体育文化活動振興事業	学校教育課	P 16
保健体育事業	学校教育課	P 16
教育の情報化推進事業	総合教育センター	P 16
通学支援事業	学校教育課	P 16
要・準要保護児童生徒扶助費	学校教育課	P 16
スクールソーシャルワーカー活用事業	教育指導課	P 17
小・中学校スポーツ・文化的活動支援事業	学校教育課	P 17
児童科学館改修事業	総合教育センター	P 17
新学校給食センター整備事業	学校教育課	P 17
学校給食食材費等高騰対策支援事業	学校教育課	P 18
児童館・児童センターエアコン設置事業	子育て支援課	P 18
特別支援教育アシスト事業	こども支援センター	P 18
特別支援教育推進事業	こども支援センター	P 18
教育相談・適応指導教室事業	こども支援センター	P 18

教育支援事業	こども支援センター	P 19
特別支援教育就学奨励費	学校教育課	P 19
特別支援教育看護支援員配置事業	こども支援センター	P 19

(2) 市民アンケートの結果

【設問】児童生徒が郷土への愛着や誇りをもつとともに、生きる力（確かな学力、豊かな心、健やかな体）を身につけられるよう、小・中学校教育の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 18位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

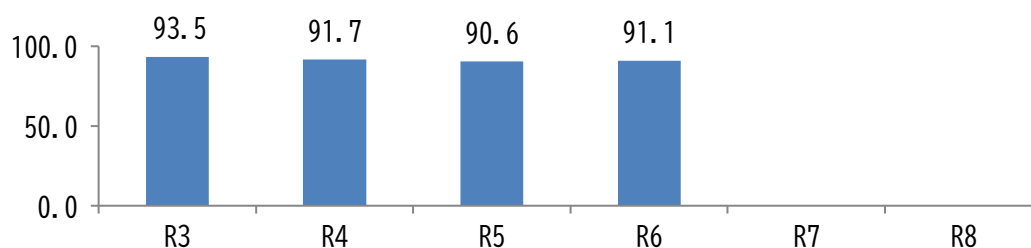
(3) 進行管理指標の動向

①学力実態調査（「学校の授業はよく分かる」と回答した児童生徒の割合（小学6年生、中学3年生））

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：「とてもそう思う」「少しそう思う」と回答した児童生徒の割合（小学6年生・中学3年生）

（単位：％）

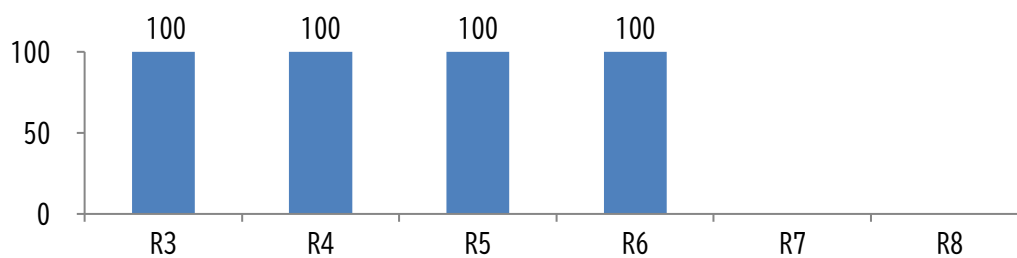


②地域密着型教育の実施率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：市内小・中学校の地域密着型教育実施校の割合

（単位：％）

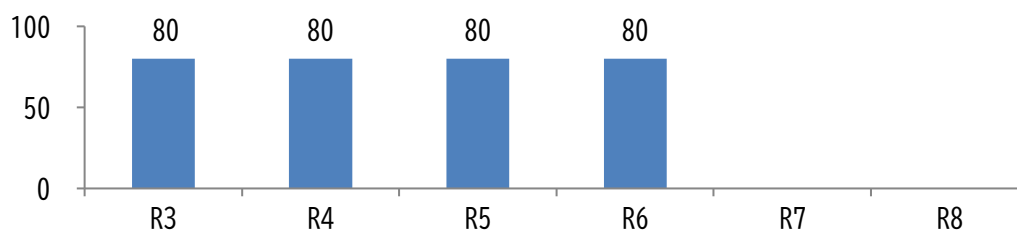


③特別支援アシスタントの配置数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：特別支援教育アシスト事業の特別支援アシスタント配置人数

（単位：人）



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 地域学校連携協議会を通じて「開かれた学校づくり」が進み、保護者や地域住民による学校支援ボランティア活動が行われている。
- 文部科学省学校 DX 戦略アドバイザーを招いた 1 人 1 台端末の活用に関する研修の実施などにより、ICT 指導力の向上を図るとともに、業務用端末の更新による業務の効率化と教員負担の軽減が図られているほか、Web フィルタリングソフトの試験導入を継続して実施しており、1 人 1 台端末の持ち帰りを推進するための環境整備と利活用の促進を図ることなどを通じて、GIGA スクール構想に基づく取組を着実に推進している。
- これまで、学校における校舎への冷房設備の新設やトイレの洋式化などハード面の整備において計画的に進められているほか、今年度から市内小中学校の照明設備の LED 化を行う予定である。
- また、令和 6 年度から学校給食費の無償化を実施しており、小中学校の教育環境の充実を図っている。
- 小・中学校スポーツ・文化的活動支援事業においては、中学校部活動の地域移行に向けられた検討協議会を開催し、新たな地域スポーツ、文化活動の推進体制の整備、組織づくりなど、今後の具体的な方向性について検討が進められている。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

施策5. 高等学校教育・高等教育の充実

目指す姿	・修学を希望する人が、経済的な理由に妨げられることなく高等学校教育・高等教育を受ける機会が確保されている。 ・郷土に愛着や誇りを持つ人材が育成され活躍している。
施策の内容	高校生や大学生等への経済的支援に取り組むとともに、私立高等学校の教育環境の充実を図ります。また、高等教育機関との連携により、大学生等が地域の産業や文化を学ぶ機会の創出を図ります。

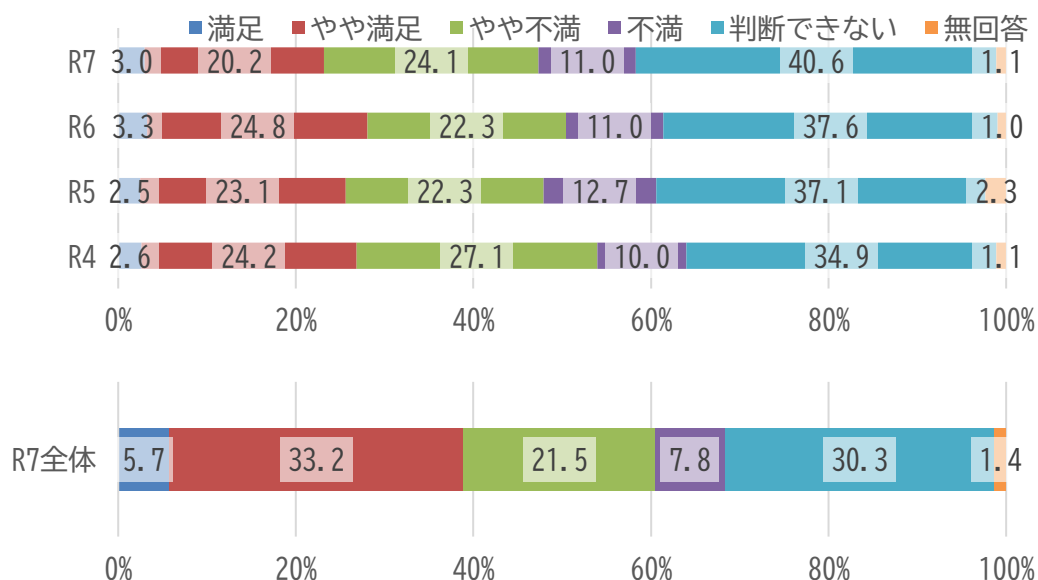
(1) 施策を推進するための事務事業

(4事業)

事業名称	担当部署	事業一覧掲載ページ
八戸市奨学金制度	学校教育課	P 19
私立高等学校助成補助金	学校教育課	P 19
八戸産学官連携推進事業	政策推進課	P 19
産学官連携による八戸未来創造事業	政策推進課	P 20

(2) 市民アンケートの結果

【設問】修学を希望する高校生や大学生等への経済的支援や私立高等学校への支援、高等教育機関との連携による人材育成など、高等学校教育・高等教育の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 48位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

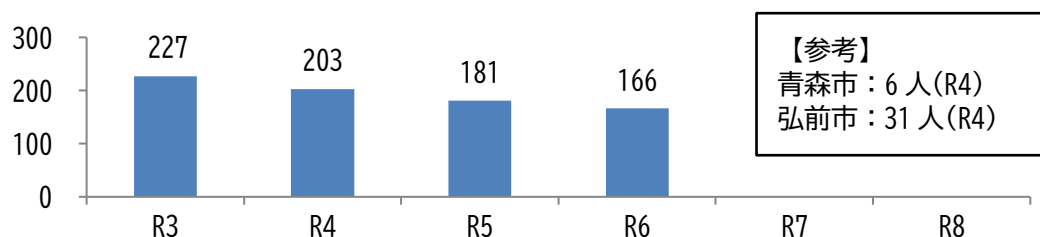
(3) 進行管理指標の動向

①奨学金の貸与・給付件数

資料：八戸市教育委員会（各年度集計）

指標の定義：高校生・大学生等に対する奨学金の貸与・給付件数

(単位：件)

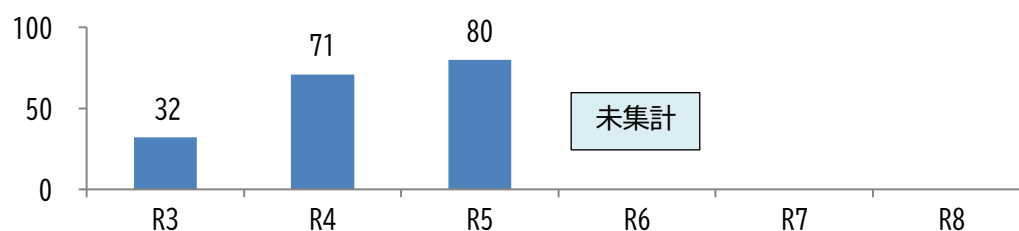


②高等教育機関が実施する地域を学ぶ講義数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：八戸学院大、八戸学院短期大、八戸工業大学、八戸高等工業専門学校の4校で実施している八戸地域を学ぶ講義数

(単位：件)

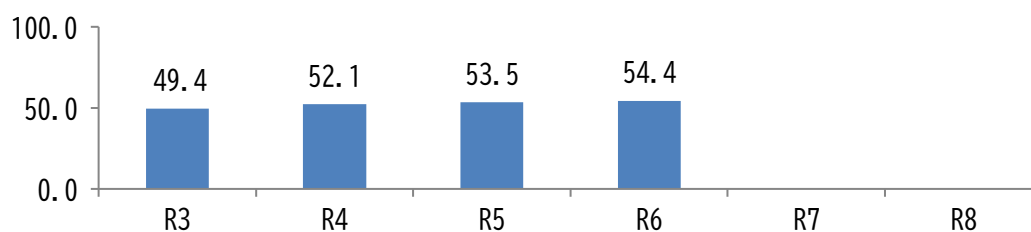


③大学等への進学率

資料：青森県教育委員会（各年度集計）

指標の定義：大学(学部)、短期大学(本科)、大学・短期大学の通信教育部(正規の課程)及び放送大学(全 科履修生)、大学・短期大学(別科)、高等学校(専攻科)及び特別支援学校(盲学校・聾学校・養護学校)高等部(専攻科)への進学率

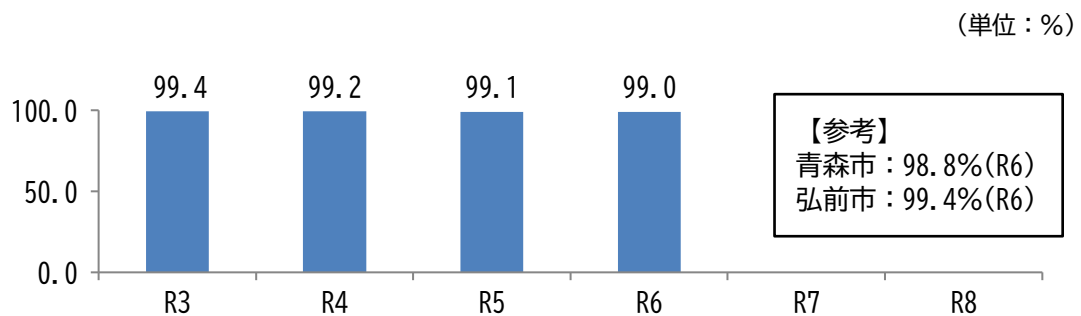
(単位：%)



④高校への進学率

資料：青森県教育委員会（各年度集計）

指標の定義：高校への進学率



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

(自己評価の理由)

- 若者の地域への理解や愛着の醸成を育み、地元定着につなげることを目的として、産学官が連携して実施する「八戸地域学」（市内高等教育機関共通講義）では、約8割の学生から「講義内容が興味深い」、「八戸市への興味・関心が増した」との評価を得ており、学生が地域の産業を学ぶ機会を創出できている。
- 八戸市奨学金制度は、全国の中核市と比較しても、すでに給付金額、募集人数等、総合的な充実度において高い水準にあり、令和6年度は、学生のニーズに応えるため、給付型奨学金（大学卒）の拡充を図ったが、国の奨学金制度の拡充等の背景もあり、貸与型奨学金のニーズが後退している状況であることから、今後はさらなる給付型奨学金の拡充等、就学希望者のニーズに応じた奨学金制度を検討し、効果的な運用を図る必要がある。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

■ 施策の方向性Ⅱ 教養・文化・スポーツを通し人生を豊かにする

施策１．社会教育の充実

目 指 す 姿	・ 市民が生涯にわたって自由に学ぶことができる場が提供されている。 ・ 家庭でのしつけや教育に関する多くの不安や悩みが解消されている。 ・ 次代を担う青少年が地域と関わりながらたくましく成長している。
施策の内容	地区公民館や八戸市博物館、八戸市美術館、是川縄文館などにおいて、それぞれの特色を活かした生涯学習の場を提供するとともに、多様な市民ニーズに応じた学習内容の充実を図ります。また、各種研修会の開催や相談体制の整備を通じて家庭の教育力向上の促進を図るとともに、学校・家庭・地域の連携による青少年の健全育成のための環境づくりを推進します。

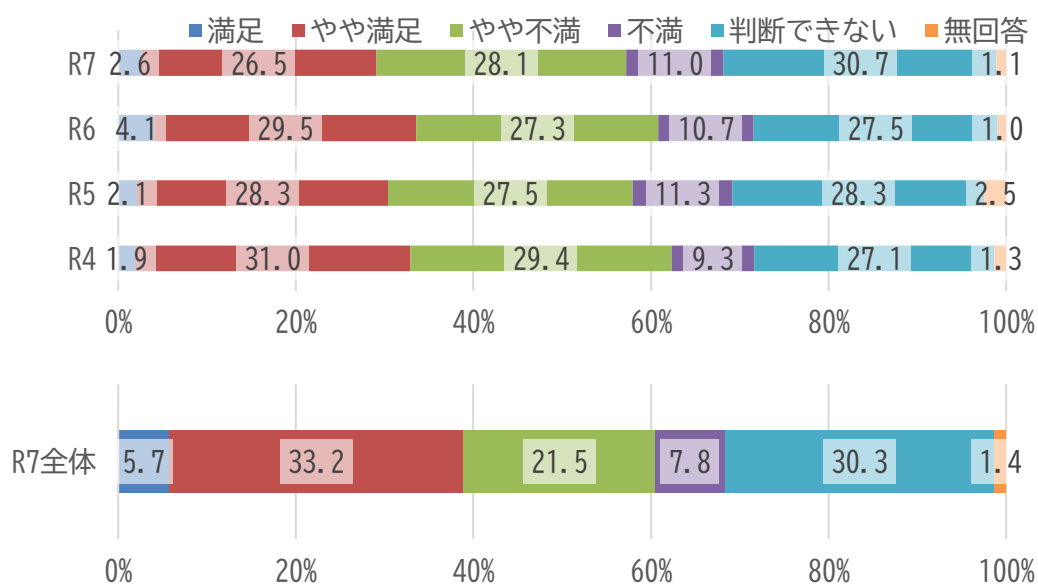
（１）施策を推進するための事務事業

（19 事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
地区公民館を核とした地域コミュニティ活動の促進	社会教育課	P 20
八戸市民大学講座	社会教育課	P 20
市民ＩＴ講習会事業	社会教育課	P 20
放送大学支援事業	社会教育課	P 20
公民館講座事業	社会教育課	P 20
先人周知事業	社会教育課	P 21
是川縄文館特別展・体験学習等開催事業	是川縄文館	P 21
教職員研修事業	総合教育センター	P 21
博物館各種展覧会・体験学習等開催事業	博物館	P 21
移動図書館運営事業	図書館	P 21
SDGs 情報発信・啓発事業	政策推進課	P 21
こどもの声を聴く機会創出事業	こども未来課	P 21
図書館 150 周年記念事業	図書館	P 22
マチナカまるっと１日体験事業（４館連携）	政策推進課	P 22
家庭の教育力充実事業	社会教育課	P 22
教職員研修事業	総合教育センター	P 22
少年相談センター運営事業	教育指導課	P 22
青少年（中・高生）の地域活動事業	教育指導課	P 22
成人式開催事業	社会教育課	P 23

(2) 市民アンケートの結果

【設問】市民が生涯にわたって自由に学ぶことのできる場の提供や学校・家庭・地域の連携による青少年の健全育成など、社会教育の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 45位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

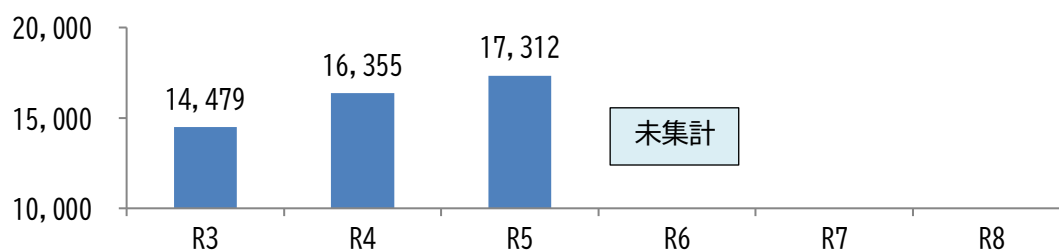
(3) 進行管理指標の動向

①各地区公民館における各種講座の参加者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：公民館活動教室、青年学級、女性学級、高齢者教室、市民学校、家庭教育学級、移動公民館などの参加者数

(単位：人)

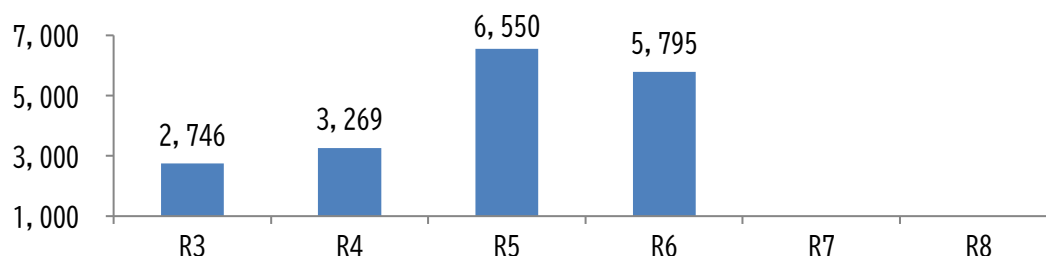


②家庭教育に関する研修会や講座等の参加者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：家庭教育研修会、子育て・親育ち講座、幼稚園家庭教育学級事業の参加者数

(単位：人)

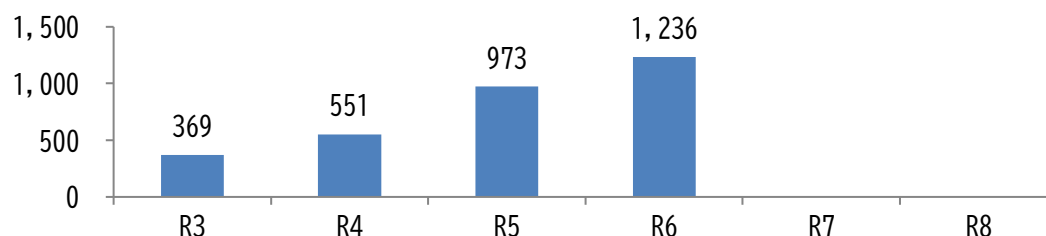


③中学生・高校生のボランティア活動者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：中学生・高校生のボランティア活動人数

（単位：人）



（４）施策の進行状況に対する市の自己評価

ｂ．順調に進んでいる

（自己評価の理由）

- 八戸花火大会やおまつり広場、公民館行事等の地域行事において、中高生の地域活動への意識の高まりによって、ボランティア活動に参加した人数が増加傾向にあり、中高生たちの地域社会の一員としての自覚や地域への関心が深められたとともに、健全な仲間づくりを進めることができた。
- 是川縄文館では、編かごワークショップやストラップ作りなどの新規イベントに取り組んだほか、共同研究による成果を展示した特別展が開館以来２番目に多い来場者数となるなど、縄文文化の魅力を広く発信することができた。
- 博物館では、昭和４０年代の八戸市に関する特別展「きらめく八戸—写真・新聞で見る昭和４０年代—」など、市民を始め多くの人々に興味を持ってもらえる企画内容により施設入館者が増加した。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

施策２．文化芸術の振興

目指す姿	・多様で特色ある市民の文化芸術活動が展開され、市民が豊かな人間性や創造力、感性を育むことができる。
施策の内容	市民の文化芸術活動への経済的支援に取り組むとともに、八戸ポータルミュージアム「はっち」や八戸市美術館、八戸市公会堂などの拠点施設を活用した文化芸術活動の促進や施設間の連携、各種文化プログラムを推進します。

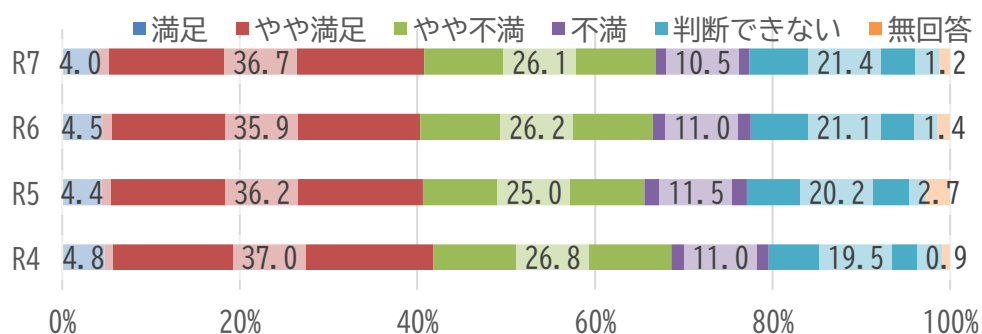
(１) 施策を推進するための事務事業

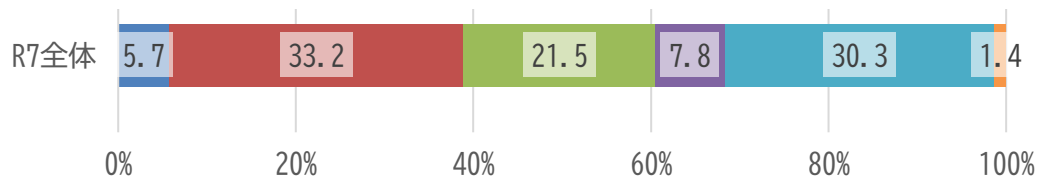
(15 事業)

事業名称	担当部署	事業一覧掲載ページ
アートのまちづくり事業	文化創造推進課	P 23
文化芸術推進事業	文化創造推進課、美術館	P 23
アートファーマープロジェクト	美術館	P 23
はちのへアート広場事業	文化創造推進課	P 23
八戸ブックセンター事業	文化創造推進課	P 24
八戸市ブックスタート事業	図書館	P 24
”おすすめ！”キッズブック事業	子育て支援課	P 24
図書館 150 周年記念事業	図書館	P 24
市民による多彩な文化芸術活動振興事業	文化創造推進課	P 25
八戸市美術館運営事業	美術館	P 25
文化施設運営事業	文化創造推進課	P 25
文化事業と商業機能との連携事業	文化創造推進課	P 25
文化施設の文化プログラムの充実・連携事業	文化創造推進課	P 25
情報発信事業	文化創造推進課	P 26
5 館連携アートプロジェクト事業	美術館、八戸ポータルミュージアム、観光課	P 26

(２) 市民アンケートの結果

【設問】市民が豊かな人間性や創造力、感性を育むことができるよう、文化芸術の振興が図られている。





【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 32位／全55問
 ※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

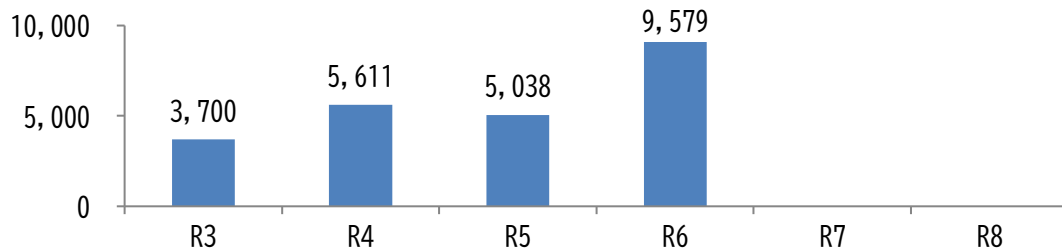
（３）進行管理指標の動向

①文化プログラムの参加者・鑑賞者数 （八戸ポータルミュージアム）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：八戸ポータルミュージアムでの文化プログラムの参加者・鑑賞者数

（単位：人）

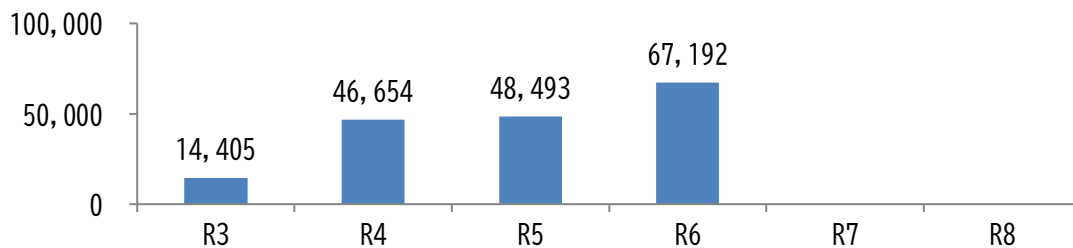


②文化プログラムの参加者・鑑賞者数 （美術館）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：美術館での文化プログラムの参加者・鑑賞者数

（単位：人）

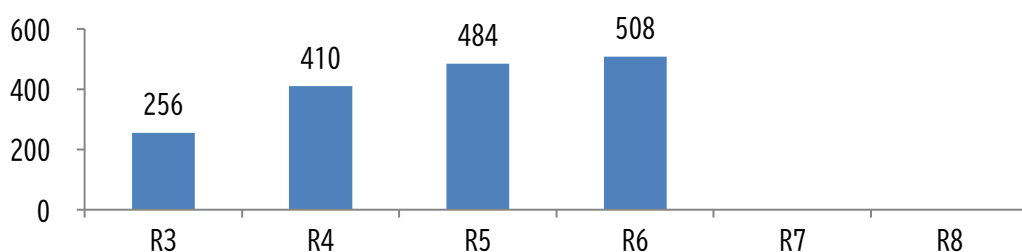


③読書会ルーム・カンヅメブースの利用件数 （八戸ブックセンター）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：読書会ルーム（貸館・自主事業）、カンヅメブースの利用件数

（単位：件）



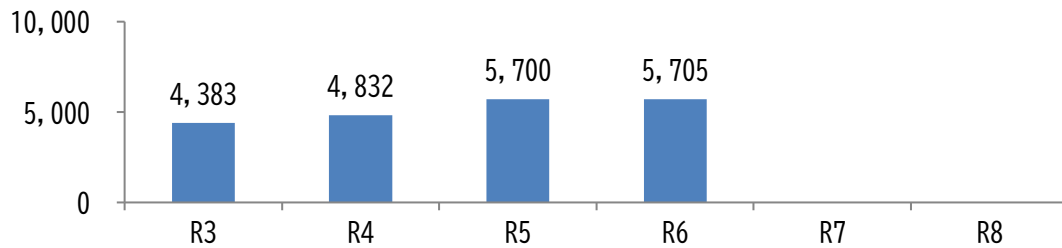
④市民等主催の文化芸術活動件数

(八戸ポータルミュージアム「はっち」、八戸まちなか広場「マチニワ」、公会堂、市公民館ホール・南郷文化ホール、南部会館・更上閣、八戸市美術館)

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：市内文化施設における市民等が主催する文化芸術活動の件数

(単位：件)

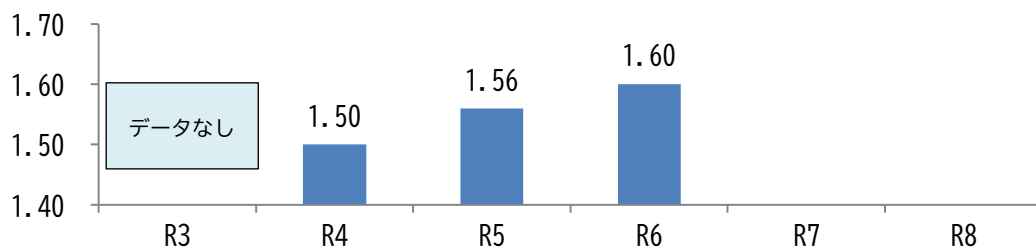


⑤文化施設利用者の施設に対する満足度

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：八戸ポータルミュージアム、美術館、公会堂、市公民館ホール、南郷文化ホールの満足度についてアンケートを実施し、点数化したもの

(単位：点)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 各文化施設で実施している満足度調査においても、5段階評価（大変満足+2～不満-2）の満足度調査を実施しており、公演の内容や施設内設備について平均 1.6 点の評価を得ており、概ね良い評価が得られている。
- 読書ルーム・カンヅメブースについては、前年度に引き続き、利用者数が増加しており、企画事業の充実による認知度の向上、市内読書団体の増加によるものとする。
- 美術館運営については、市企画展や人気の高い巡回展に加え、幅広い世代が参加しやすいアートプロジェクトのほか、県内の5つの美術館・アートセンターが連携して開催した「AOMORI GOKAN アートフェス 2024」により、当市にとどまらず、県内外からの観覧者数の増につながっている。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える →

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

・
・
・

施策３．スポーツの振興

目 指 す 姿	・ 市民が生涯にわたって、スポーツに親しむことができる。
施策の内容	市民のスポーツ活動の促進やプロスポーツチームの試合観戦の機会を提供するとともに、選手・指導者などスポーツに関わる人材の育成やスポーツの競技力向上を図ります。また、当市で開催される各種スポーツ大会の運営を支援するとともに、老朽化や利用者ニーズに対応したスポーツ施設の整備に取り組みます。

（１）施策を推進するための事務事業

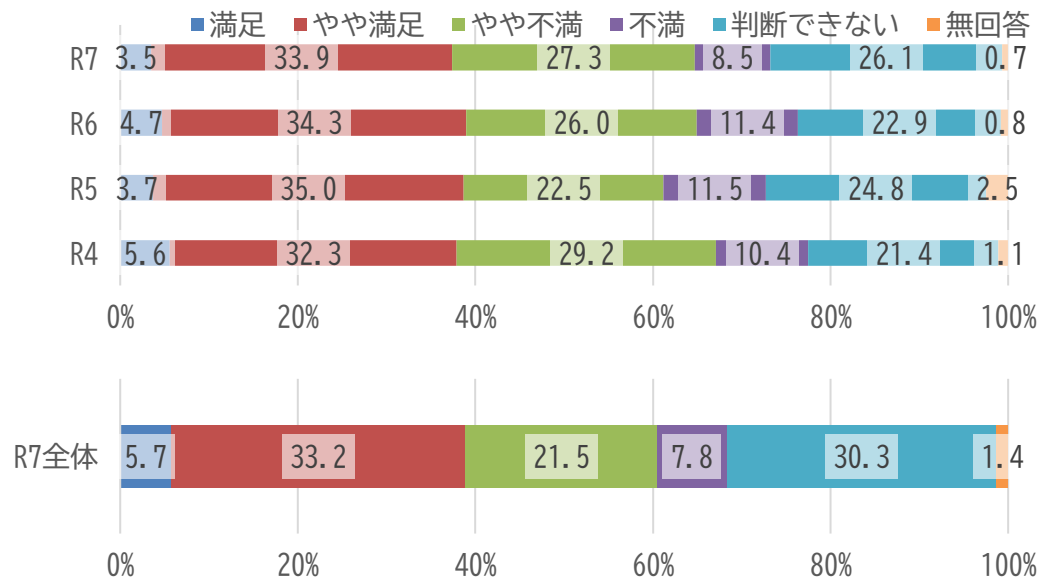
（17 事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
スポーツ施設維持管理事業	スポーツ振興課	P 26
氷都八戸パワーアッププロジェクト事業	スポーツ振興課	P 26
はちとまジュニアアイスホッケー交流事業	スポーツ振興課	P 26
八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会設置事業	スポーツ振興課	P 26
地域スポーツチーム応援事業	スポーツ振興課	P 27
スポーツ推進委員研修事業	スポーツ振興課	P 27
スポーツ賞等表彰事業	スポーツ振興課	P 27
レスリングのまち推進事業	スポーツ振興課	P 28
屋内スケート場活用事業	長根屋内スケート場	P 28
スポーツ少年団運営支援事業	スポーツ振興課	P 28
地区体育振興事業	スポーツ振興課	P 28
各種スポーツ大会運営補助事業	スポーツ振興課	P 28
競技大会選手等派遣補助事業	スポーツ振興課	P 28
スポーツ施設整備事業	スポーツ振興課	P 29
フラットアリーナ利用促進事業	スポーツ振興課	P 30
新体育館整備事業	スポーツ振興課	P 30
長根公園遠路・伊調ロード整備事業	スポーツ振興課	P 30

(2) 市民アンケートの結果

【設問】市民が生涯にわたってスポーツに親しむ（スポーツを「する」「みる」「ささえる」）ことができるよう、スポーツの振興が図られている。

※「ささえる」：地域でスポーツの指導を行ったり、スポーツ大会等の運営に携わったりすること。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 33位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

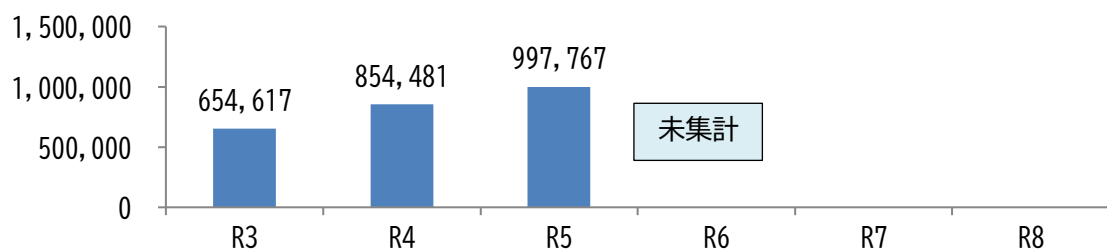
(3) 進行管理指標の動向

① スポーツ施設の利用者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：体育施設の来館（場）者（利用者）数

（単位：人）

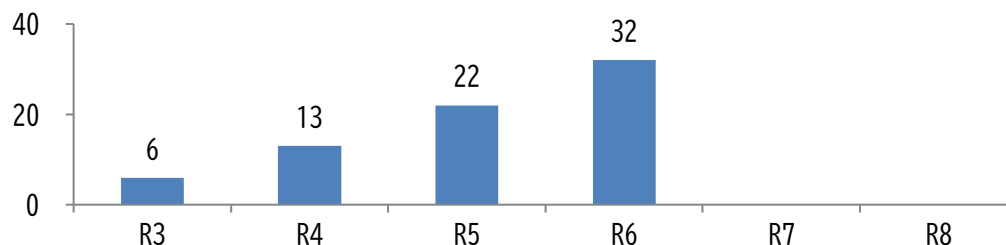


②スポーツにおける各賞の受賞者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：八戸市スポーツ賞の各賞受賞者人数

（単位：人）



（４）施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

（自己評価の理由）

- スポーツ施設の利用者数が増加しているとともに、スポーツにおける各賞の受賞者数については、障がい者スポーツ大会の受賞者が増加傾向にあるほか、当市のスポーツ活動の拠点として大きな役割を担う八戸市体育館の建て替えについて、計画的に準備を進めている
- 第80回国民スポーツ大会及び第25回全国障害者スポーツ大会の円滑な大会開催に向けて、計画的に準備を進めている。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

・ ・

政策２ 「経済」を回す（政策分野：産業・雇用）

<基本的な考え方>

地域経済は、市民の生活を支え都市の成長発展を促す基盤であり、人々の暮らしの豊かさや地域の活力をさらに高めていくためには、企業活動や労働で生み出された経済的な価値やサービスを停滞させることなく分配・消費につなげるサイクルを促進し、経済活動を活発化させることが重要です。

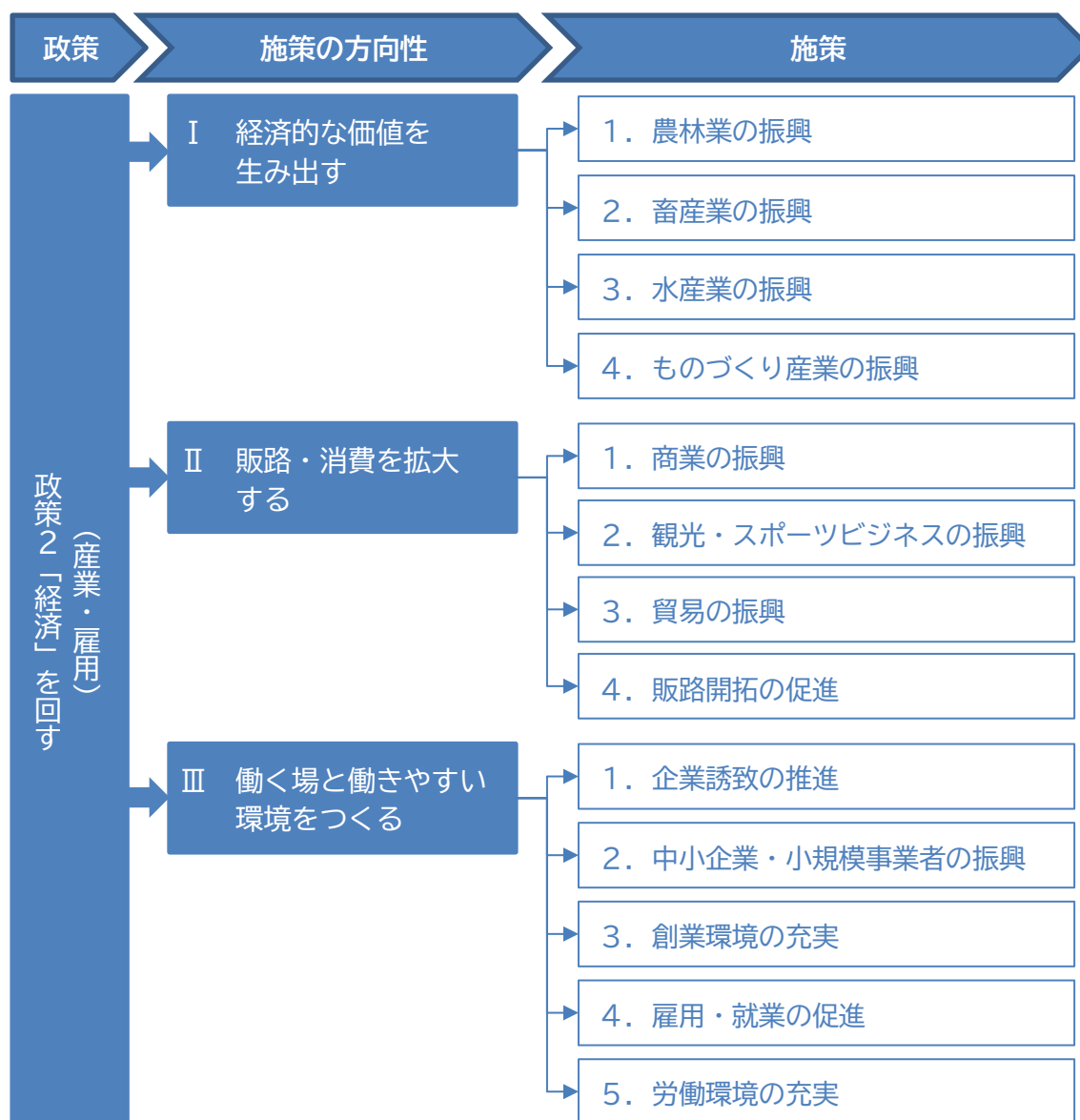
これまで、当市では、多様な産業がひとつのまちに集積する地域特性を活かし、経済のグローバル化に対応しつつ、産業間・異業種間・企業間連携の促進や創業支援の充実を図りながら、地域で事業活動を行う農林畜産業、水産業、商工業など、全ての産業の基盤強化と経営の高度化を促進するとともに、雇用環境の充実を図ることで地域の「経済」を回してきました。

こうした中、新型コロナウイルス感染症の流行をきっかけとして、世界各国でデジタル化が進展し、日本においても企業のデジタル投資が加速するとともに、ＩＣＴを活用した働き方改革が普及するなど地域経済を取り巻く環境が大きく変革しており、地域の経済活動を更に活発化させるためには、これらの変化に適切に対応しながら地域経済を一層循環させる必要があります。

このようなことから、当市では、農林業や畜産業、水産業、ものづくり産業の振興を図り、経済的な価値を生み出すとともに、商業や観光・スポーツビジネス、貿易の振興、販路開拓の促進を図ることで、市場における販路と消費の拡大を促します。

さらに、人々の働く場と働きやすい環境をつくるため、企業誘致の推進や、中小企業・小規模事業者の振興、創業環境の充実、雇用・就業の促進、労働環境の充実を図ります。

< 施策の体系 >



■ 施策の方向性Ⅰ 経済的な価値を生み出す

施策１．農林業の振興

目 指 す 姿	・ 農業の担い手が確保され、付加価値の高い農作物の生産が行われるとともに、地域内外に新鮮かつ多彩な農産物が安定的に供給されている。 ・ 森林整備の担い手が確保され、森林の適正な整備が行われるとともに、地域材が広く利用されている。
施策の内容	農地集積の促進や中山間地域における農村環境づくりの推進など農業基盤の整備を図ります。また、新規就農者や森林整備の担い手の育成・確保を図るとともに、付加価値の高い農業生産の促進や、卸売市場の環境整備を進めます。さらに、森林の適正な保全・管理に取り組むとともに、地域材の利用促進を図ります。

（１）施策を推進するための事務事業

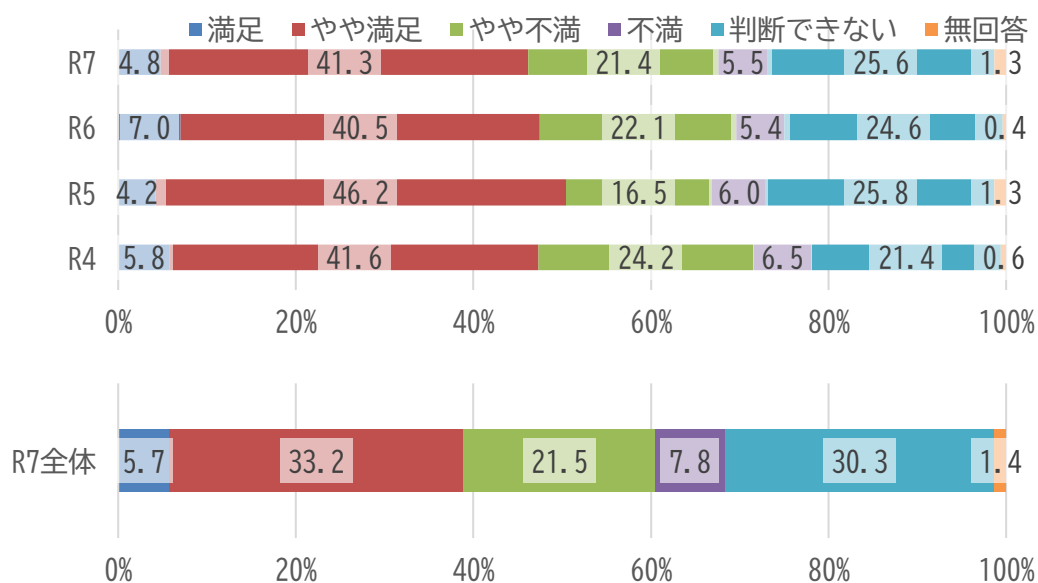
（35 事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
経営所得安定対策等事業	農林畜産課	P 31
中山間地域等直接支払対策事業	農林畜産課	P 31
多面的機能支払交付金	農林畜産課	P 31
土壌分析・診断・改善事業	農業経営振興センター	P 31
農地集積事業	農業経営振興センター	P 31
農業制度資金利子補給事業	農業経営振興センター	P 31
租税特別措置法に係る事務事業	農業委員会事務局	P 32
農業者年金業務事業	農業委員会事務局	P 32
農地転用に関する事務事業	農業委員会事務局	P 32
農地等の権利移転・設定に関する事務事業	農業委員会事務局	P 32
遊休農地解消活動事業	農業委員会事務局	P 32
農業水利施設電気料金高騰対策支援事業	農林畜産課	P 32
環境保全型農業普及促進事業	農業経営振興センター	P 32
野菜等産地力強化支援事業	農業経営振興センター	P 33
農業新ブランド育成事業	農業経営振興センター	P 33
南郷新規作物研究事業	農業経営振興センター	P 33
農林水産物安全・安心モニタリング調査事業（県）	農業経営振興センター	P 33
畑作振興対策事業	農業経営振興センター	P 33
野菜花き展示普及事業	農業経営振興センター	P 33
グリーン・ツーリズム推進事業	農業経営振興センター	P 34
担い手総合支援事業	農業経営振興センター	P 34
地域農業経営再開復興支援事業	農業経営振興センター	P 34
企業等農業参入支援事業	農業経営振興センター	P 34
高等教育機関との連携による農業経営者の育成	農業経営振興センター	P 34

農地利用効率化等支援事業	農業経営振興センター	P 34
市民農園設置事業	農業経営振興センター	P 34
漆産業振興事業	農林畜産課	P 35
情報活動事業	農業委員会事務局	P 35
農家相談活動事業	農業委員会事務局	P 35
農業者収入保険加入促進事業補助金	農業経営振興センター	P 35
除間伐等実施事業	農林畜産課	P 35
公有林（市民の森）整備事業	農林畜産課	P 35
公共建築物への地域材の利用促進	農林畜産課	P 35
乳幼児木育等推進事業	農林畜産課	P 35
中央卸売市場電気設備改修事業	中央卸売市場	P 35

（２）市民アンケートの結果

【設問】付加価値の高いブランド野菜（八戸いちごやワイン用ぶどうなど）の生産や新鮮かつ多彩な農産物の安定供給、地域森林資源の活用など、農林業の振興が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 15位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

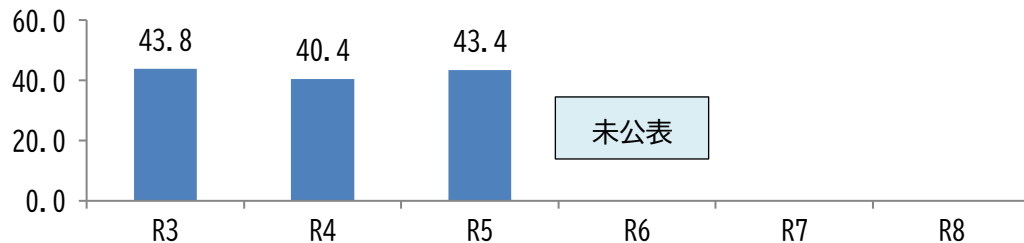
(3) 進行管理指標の動向

①農業産出額（耕種）

資料：農林水産省（各年集計）

指標の定義：国の市町村別農業産出額（推計）の数値

（単位：億円）

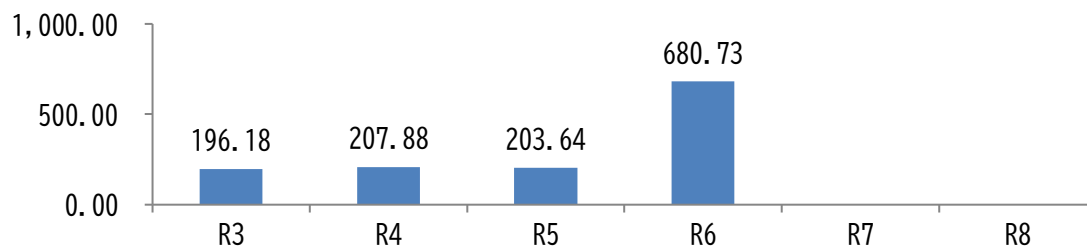


②森林経営計画認定実績

資料：八戸市（各年集計）

指標の定義：森林経営計画の認定面積

（単位：ha）



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

（自己評価の理由）

- 森林経営計画の実施範囲の見直しにより、認定面積の増加につながったほか、漆産業振興事業等の推進により林業の振興を図っている。
- 市内の11地区において農家座談会を開催し、農家が抱える課題の共有と解決に向けた制度の周知を行った。
- 昨年度から、農業体験のホームステイを行う八戸圏域ファームステイ事業を実施し、5組12名の中学生が参加しており、地域農業の担い手確保・育成に向けた取組が図られている。
- 中央卸売市場内における電気機器の更新等施設整備について計画通りに実施しており、今後は、施設の老朽化への対応について検討を進めていく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

施策２．畜産業の振興

目指す姿	・ 畜産業及び関連産業の経営が安定して行われるとともに、事業規模の拡大が進められている。 ・ 地場産畜産物が地域内外で認知され、消費拡大が図られている。
施策の内容	地場産畜産物の生産体制の整備・強化や、地域住民の畜産業に対する理解促進を図るとともに、地域内外での地場産畜産物の認知度向上・消費拡大に向けた取組を推進します。

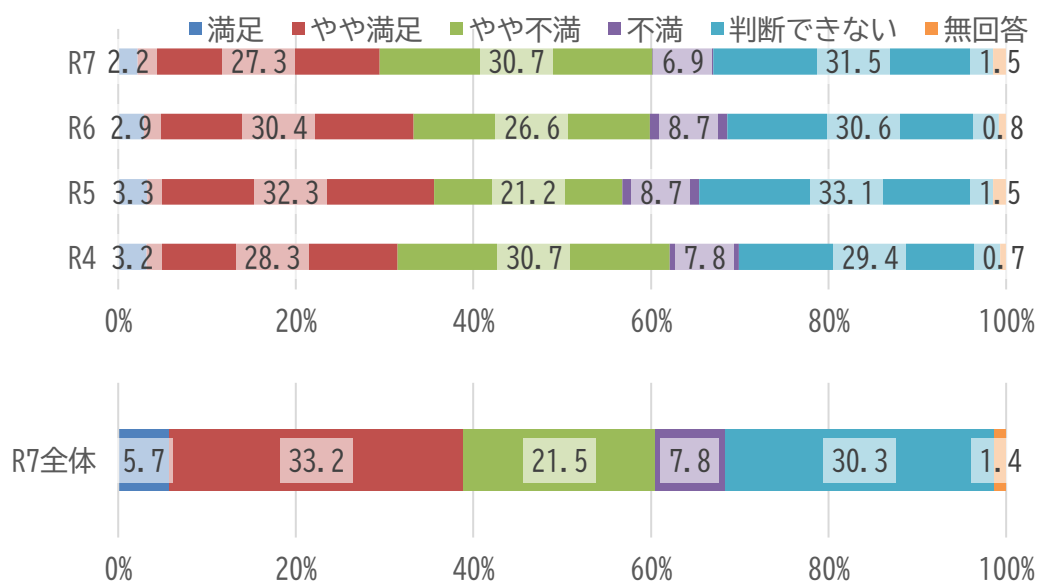
（１）施策を推進するための事務事業

（２事業）

事業名称	担当部署	事業一覧掲載ページ
畜産業振興事業	農林畜産課	P 36
畜産関連産業振興事業	農林畜産課	P 36

（２）市民アンケートの結果

【設問】地場産畜産物の地域内外での認知度向上や消費拡大など、畜産業の振興が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 44位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

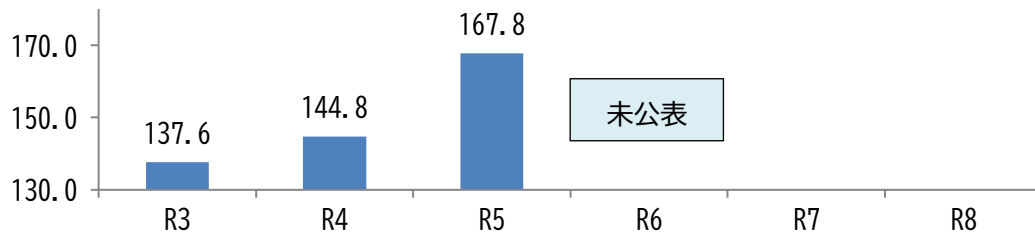
(3) 進行管理指標の動向

①農業産出額（畜産）

資料：農林水産省

指標の定義：国の市町村別農業産出額（推計）の数値

（単位：億円）

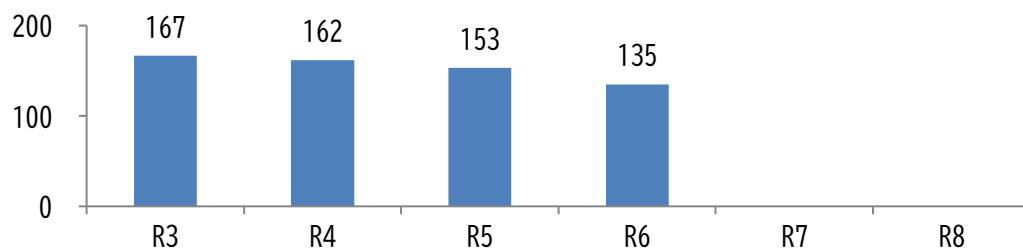


②家畜飼養頭羽数（乳牛）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：各年度2月1日現在の乳牛の飼養頭数

（単位：頭）

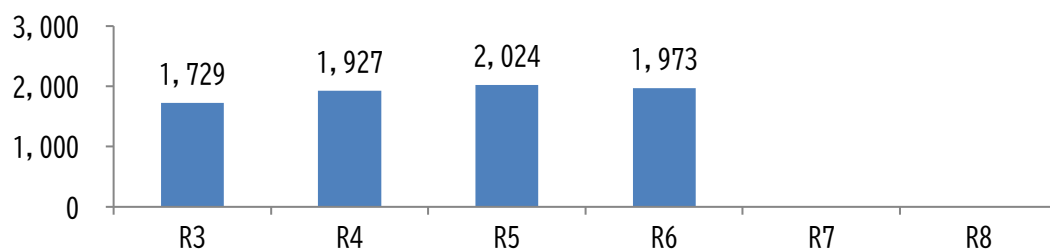


③家畜飼養頭羽数（肉牛）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：各年度2月1日現在の肉牛の飼養頭数

（単位：頭）

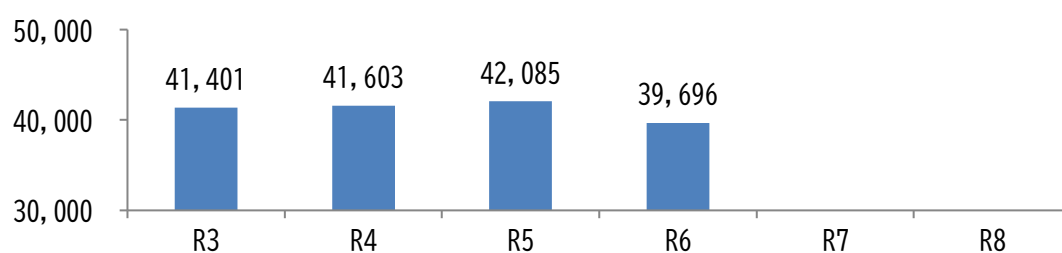


④家畜飼養頭羽数（豚）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：各年度2月1日現在の豚の飼養頭数

（単位：頭）

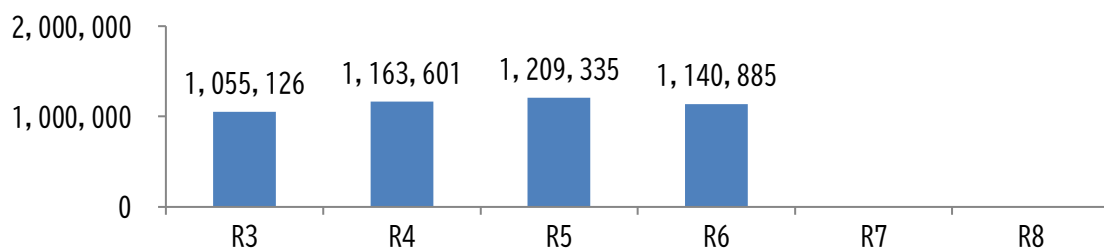


⑤家畜飼養頭羽数（鶏卵）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：各年度２月１日現在の採卵鶏の飼養羽数

（単位：羽）

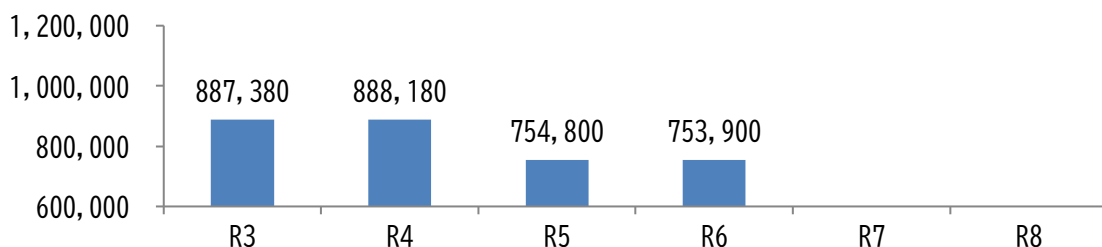


⑥家畜飼養頭羽数（肉鶏）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：各年度２月１日現在の肉鶏の飼養羽数

（単位：羽）



（４）施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

（自己評価の理由）

- 令和６年度は、引き続き補助事業やイベント開催を実施したところであるが、進行管理指標が横ばいであるほか、前年度と比べて市民アンケートの満足度が下降したことから、更なる取組の強化を図る必要がある。
- 令和７年度は、新たに中心街で実施するイベント「サンフェス HACHINOHE」で畜産フードフェスタを同時開催し、畜産業に係るPRの強化によって認知度向上、市民の理解促進を図るほか、事業の更なる充実に取り組むことで市民満足度の向上及び畜産業の振興を図っていく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策3. 水産業の振興

目指す姿	・ 漁業経営の安定・強化が図られ、国内外に安全安心で新鮮な水産物が安定的に供給されている。
施策の内容	生産基盤の整備や融資制度の充実を図るとともに、水産物のブランド化の取組を推進します。また、つくり育てる漁業の実現を目指した取組など水産業の持続的発展に向けた取組を推進するとともに、漁業関連施設における衛生管理の促進を図ります。

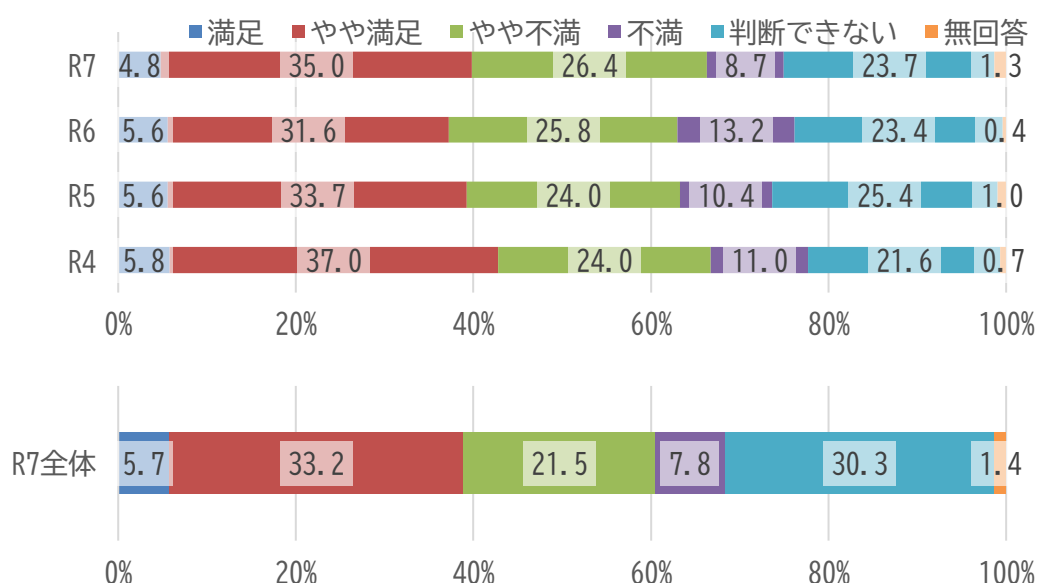
(1) 施策を推進するための事務事業

(8事業)

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
水産基盤整備事業（第1種漁港）	水産事務所	P 37
水産物流通加工振興事業	水産事務所	P 37
漁業系統金融機関などに対する貸付事業	水産事務所	P 37
漁業系統保証機関に対する出資事業	水産事務所	P 37
水産業振興事業	水産事務所	P 37
養殖業成長産業化支援事業	水産事務所	P 37
八戸漁港漁船誘致推進事業	水産事務所	P 38
衛生管理推進事業	水産事務所	P 38

(2) 市民アンケートの結果

【設問】八戸港における水揚げ数量の安定確保や水産物のブランド化の促進及び国内外への安定的な供給など、水産業の振興が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 31位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

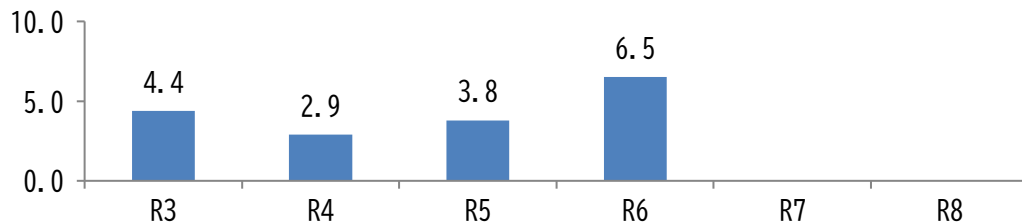
(3) 進行管理指標の動向

①水揚げ高（数量）

資料：八戸市（各年集計）

指標の定義：八戸市魚市場での魚介藻類の取扱数量

（単位：万トン）

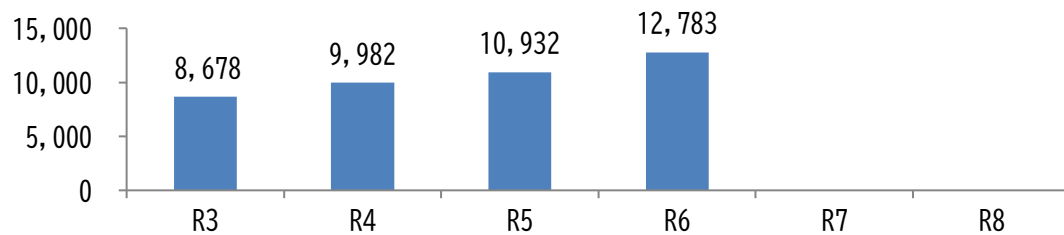


②水揚げ高（金額）

資料：八戸市（各年集計）

指標の定義：八戸市魚市場での魚介藻類の取扱金額

（単位：百万円）



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

（自己評価の理由）

- 官民一体となった漁船誘致活動の効果もあり、令和6年の水揚げ高は、まき網漁業によるマイワシの好調がプラス要因となって数量・金額ともに前年を上回った。
- 水産物のブランド化に関しては、八戸水産アカデミー講演会をきっかけとして、令和6年度より、首都圏の高級飲食店をターゲットにした販路開拓と八戸ブランドの創出に取り組む「八戸の鮮魚ブランディングプロジェクト」をスタートさせており、付加価値の高い商品づくりと流通・販売の仕組みづくりを進めている。
- 養殖業成長産業化支援事業等の市の支援制度を活用し、地元沿岸漁協による海面でのカキの養殖試験や、産学金官の連携による陸上養殖事業など、新たな養殖の取組が始まっている。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策4. ものづくり産業の振興

目指す姿	・多くのものづくり企業において生産性が向上し、先端技術の活用などにより事業の高度化が進められ、受発注の拡大が図られている。
施策の内容	ものづくり企業の教育・研究機関や産業支援機関との連携による取組を支援するとともに、ものづくり企業への支援体制の強化や企業間のネットワーク形成の促進を図ります。

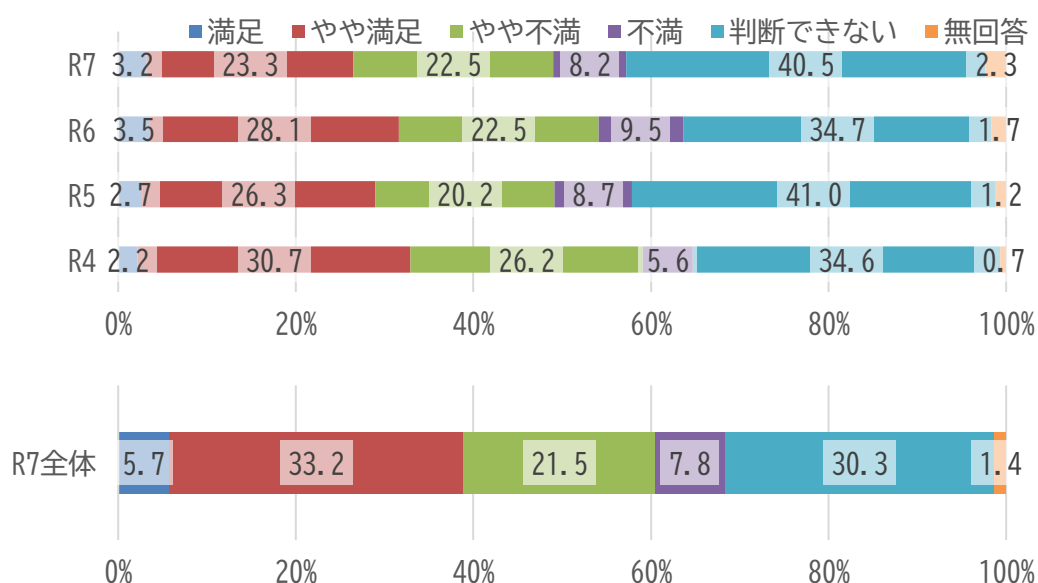
(1) 施策を推進するための事務事業

(8事業)

事業名称	担当部署	事業一覧掲載ページ
産学官共同研究開発支援事業	商工課	P 38
知的財産権対策支援事業	商工課	P 38
生産性カイゼン活動フォローアップ事業	商工課	P 38
地域企業支援体制強化事業	商工課	P 39
事業者向け情報提供事業	商工課	P 39
地域企業課題解決支援事業	商工課	P 39
企業連携促進事業	商工課	P 39
官民連携推進事業	政策推進課	P 39

(2) 市民アンケートの結果

【設問】企業の生産性向上や先端技術の活用による事業の高度化、受発注の拡大など、ものづくり産業の振興が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 41位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

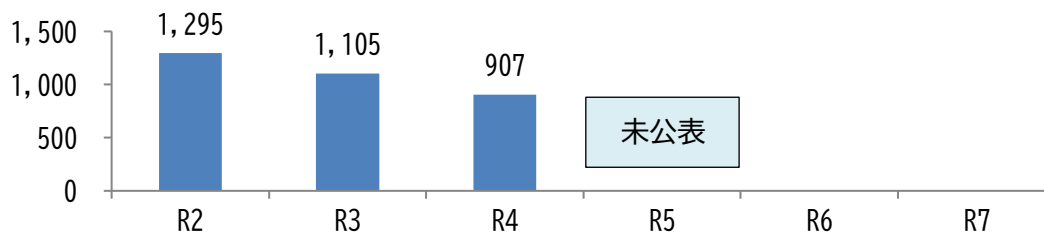
(3) 進行管理指標の動向

①従業員一人当たりの付加価値額

資料：国調査

指標の定義：国の統計調査での従業者4人以上の事業所における従業員一人当たりの付加価値額（(粗)付加価値額／従業者数）

(単位：万円)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

(自己評価の理由)

- 令和6年度からは、「地域企業課題解決支援事業」において、専門的な知見を有するコーディネーターを派遣し、課題解決に向けた伴走支援を行っており、令和7年度からはコーディネーターを増員することで、地元企業が抱える課題の解決に向けた取組の強化を図る。
- ものづくり産業の振興のため、産学官の共同研究1件や国内特許の出願2件の補助等を実施した。企業の付加価値額は、利益率の減少により低下する傾向があり、その要因として資材費・人件費の高騰及び製品への価格転嫁が進んでいないことが推察されることから、企業の「稼ぐ力」の強化や収益性の高い経営への転換の取組を通じて、付加価値額の向上に努めていく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

■ 施策の方向性Ⅱ 販路・消費を拡大する

施策1. 商業の振興

目指す姿	・キャッシュレス決済などの多様な消費者ニーズに対応した魅力ある店舗が増え、多くの人で賑わう商業空間が形成されている。
施策の内容	商業環境の構築に向けた経済的支援に取り組むとともに、市内外から多くの人が訪れる魅力あふれる商店街づくりの促進を図ります。

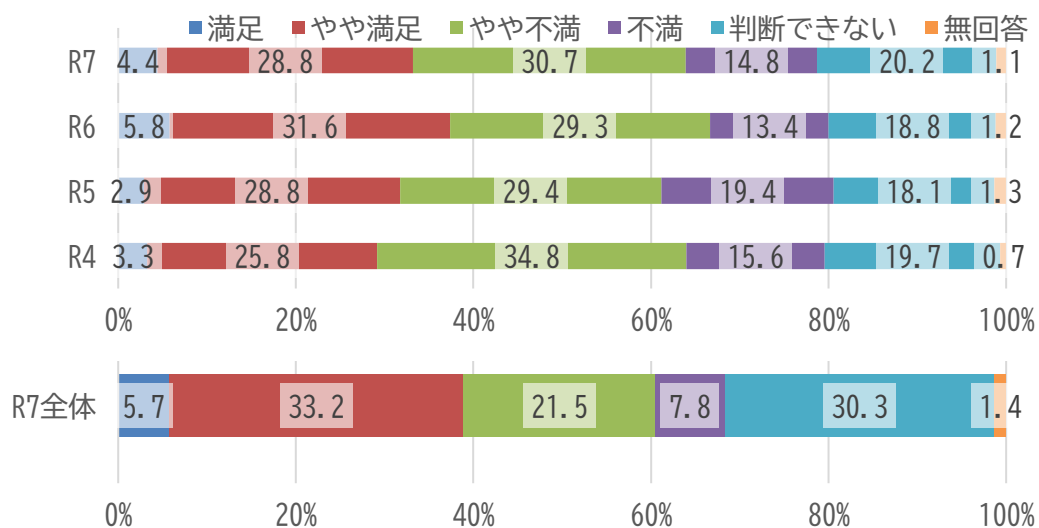
(1) 施策を推進するための事務事業

(4事業)

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
B u y はちのへ運動普及啓発推進事業	商工課	P 40
商店街向け補助事業	商工課	P 40
空き店舗活用チャレンジ融資保証料及び利子補給事業	商工課	P 40
マチニワイイベント支援事業	八戸ポータル ミュージアム	P 40

(2) 市民アンケートの結果

【設問】キャッシュレス決済などの多様な消費者ニーズに対応した魅力ある店舗が増え、多くの人で賑わう商業空間が形成されるよう、商業の振興が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 46位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

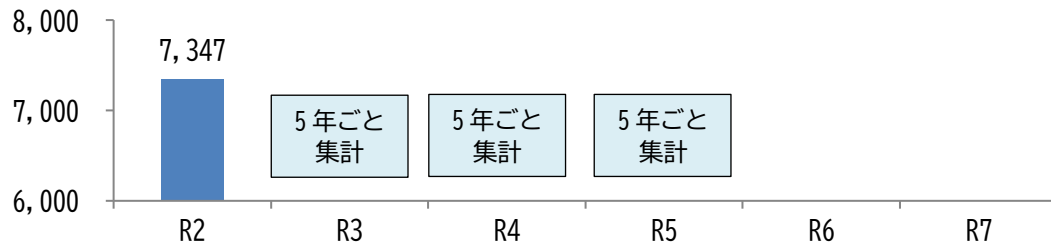
(3) 進行管理指標の動向

①卸売・小売業年間商品販売額

資料：国調査

指標の定義：国の統計調査での卸売・小売業年間商品販売額

(単位：億円)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

(自己評価の理由)

- 令和6年度は、商店街向け補助事業により商店街団体へ2件補助したほか、八戸商工会議所が行うBuyはちのへ運動への支援や、マチニワイベント支援事業における市内事業者によるマチニワでのイベント開催への支援など、商業の振興に取り組んできたところであり、引き続きそれらの事業の周知及び着実な実施を通じて商業の振興を図っていく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

施策２．観光・スポーツビジネスの振興

目 指 す 姿	・観光や学会等への参加や、スポーツ大会や地域プロスポーツチームの試合観戦のために多くの人が当市を訪れ、宿泊や飲食、お土産の購入などにより、地域経済が活性化している。
施策の内容	八戸圏域版DMO「VISIT はちのへ」と連携した観光誘客を推進するとともに、大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿、M I C Eの積極的な誘致、地域プロスポーツチームの観戦者数の増加に向けた支援の充実を図ります。

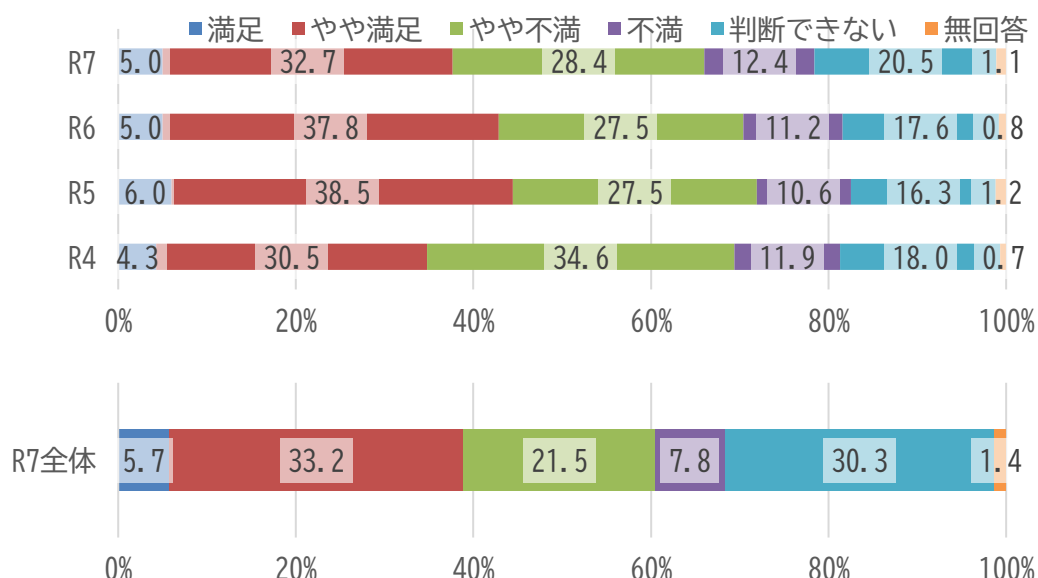
（１）施策を推進するための事務事業

（５事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
VISIT はちのへ活動支援事業	観光課	P 41
スピードスケート国際大会誘致事業	長根屋内スケート場	P 41
スポーツコミッション支援事業	スポーツ振興課	P 41
地域スポーツチーム応援事業	スポーツ振興課	P 41
八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり 推進協議会設置事業	スポーツ振興課	P 41

（２）市民アンケートの結果

【設問】観光や地域プロスポーツチームの試合観戦等により多くの人が当市を訪れ、地域経済が活性化するよう、観光・スポーツビジネスの振興が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 38位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

(3) 進行管理指標の動向

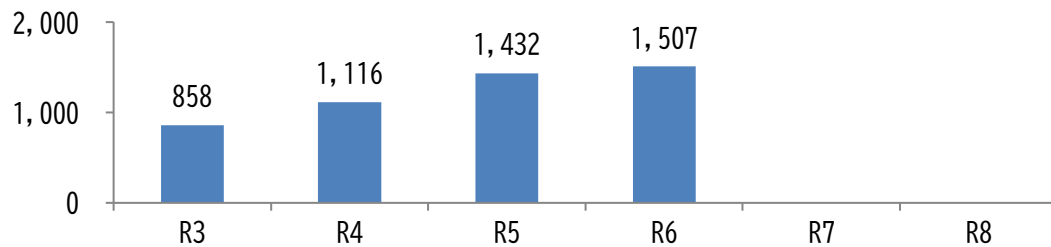
①地域プロスポーツチームのホームゲーム

来場者数 (1 試合平均)

資料：八戸市 (各シーズン集計)

指標の定義：当市及び当市を含む地域を拠点に活動するプロスポーツチームの八戸市開催のホーム戦における観客動員数の平均値

(単位：人)

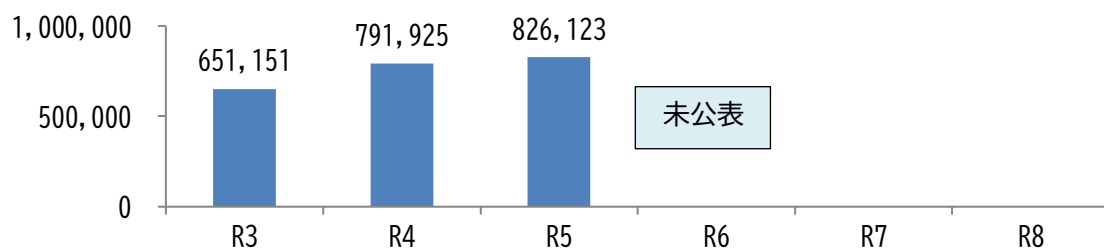


②宿泊者数

資料：(一財) VISIT はちのへ (各年度集計)

指標の定義：市内ホテル・旅館等における延べ宿泊者数

(単位：人)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

(自己評価の理由)

- 地域プロスポーツチームのホームゲーム来場者数については、令和5年度から継続して実施しているプロスポーツチームの選手による競技指導とホームゲーム観戦を組み合わせた「地域プロスポーツキッズチャレンジ促進事業」等を引き続き実施し、ホームゲーム来場者数増に努めている。
- 宿泊に関しては、YS アリーナ八戸で開催したスピードスケートの世界大会 (令和5年度：2大会、令和6年度：1大会) によるインバウンド客等、宿泊者数が堅調に推移していることから、引き続き、日本スケート連盟に誘致活動を継続し、国際大会誘致につなげ、宿泊者数の増加を図っていく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策3. 貿易の振興

目指す姿	・八戸港の利用が増え、輸出入貿易額やコンテナ貨物取扱量（実入り）が増加している。
施策の内容	官民一体でのポートセールス活動を推進するとともに、貿易に関する協定等を締結している都市との相互交流や輸出に取り組む企業への支援に取り組みます。

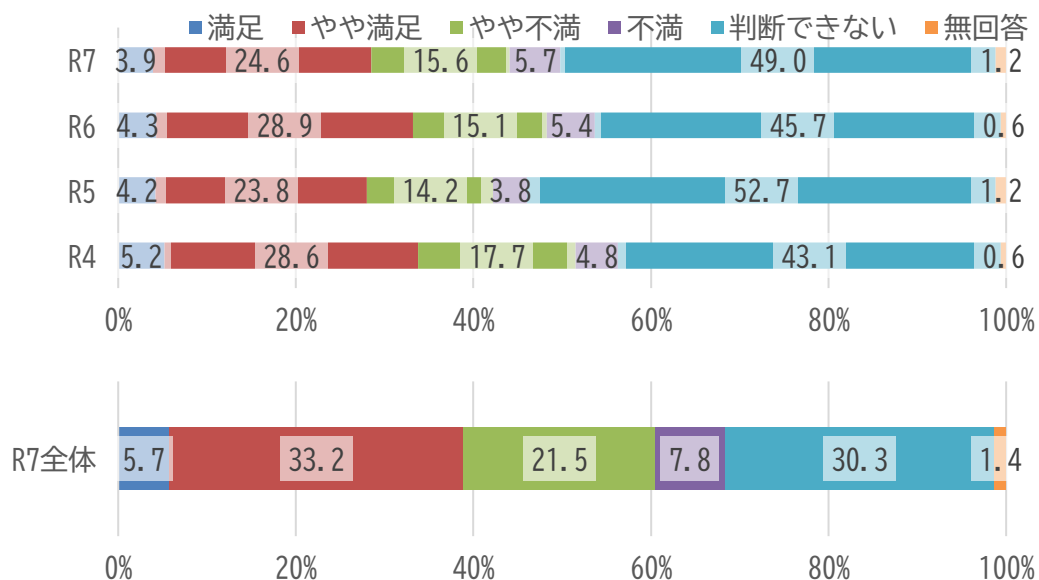
（１）施策を推進するための事務事業

（３事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
ポートセールス事業	商工課	P 42
海外経済交流事業	商工課	P 42
海外販路拡大事業	商工課	P 42

（２）市民アンケートの結果

【設問】八戸港の利用が増え、輸出入貿易額やコンテナ貨物取扱量が増加するよう、貿易の振興が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 23位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

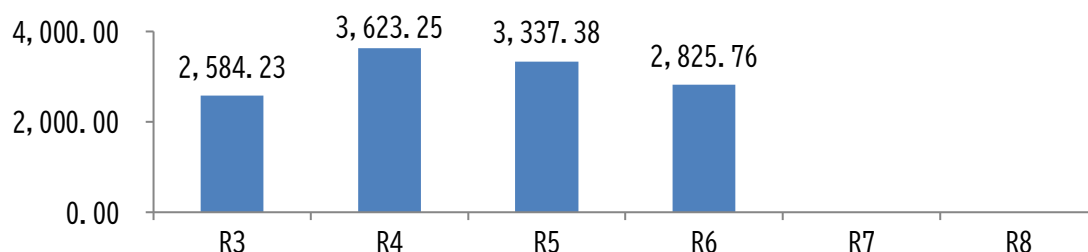
(3) 進行管理指標の動向

①八戸港の輸出入貿易額

資料：函館税関八戸税関支署（各年集計）

指標の定義：函館税関八戸税関支署において通関し、輸出入された商品の売買額の合計

（単位：億円）

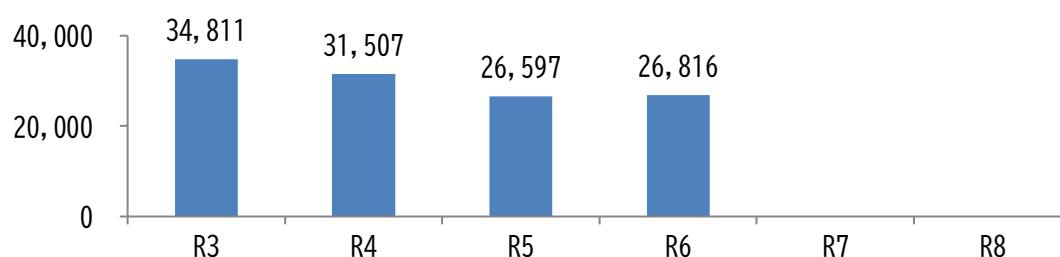


②八戸港のコンテナ貨物取扱量（実入り）

資料：八戸港管理所（各年集計）

指標の定義：八戸港から輸移出及び輸移入するコンテナのうち、貨物が入っているもの

（単位：TEU）



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

（自己評価の理由）

- 中国による農水産物の輸入規制や八戸港におけるベースカーゴ（主要貨物）の減少等により、輸出入貿易額・コンテナ貨物取扱量の減少につながったため、国際情勢等を見極めながら、ポートセールス等の充実により、貿易の振興に努めていく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策4. 販路開拓の促進

目指す姿	・多くの市内事業者が、新たな販売先を開拓し、収益性の向上と安定した経営につながっている。
施策の内容	市内事業者が抱える販路開拓の課題解決に向けた取組への支援や、国内外における販路開拓の機会の確保を図ります。

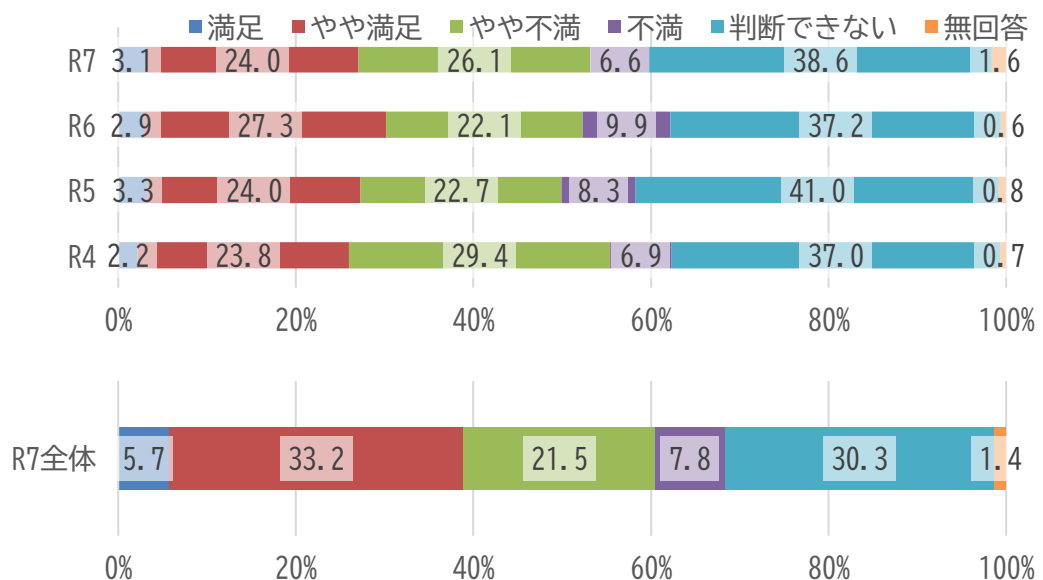
(1) 施策を推進するための事務事業

(3事業)

事業名称	担当部署	事業一覧掲載ページ
地域企業課題解決支援事業	商工課	P 42
海外販路拡大事業	商工課	P 43
VISIT はちのへ活動支援事業	観光課	P 43

(2) 市民アンケートの結果

【設問】市内の事業者が、新たな販売先を開拓し、収益性の向上と経営の安定につながれるよう、地場産品フェアや商談会の開催など、販路開拓の促進が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 42位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

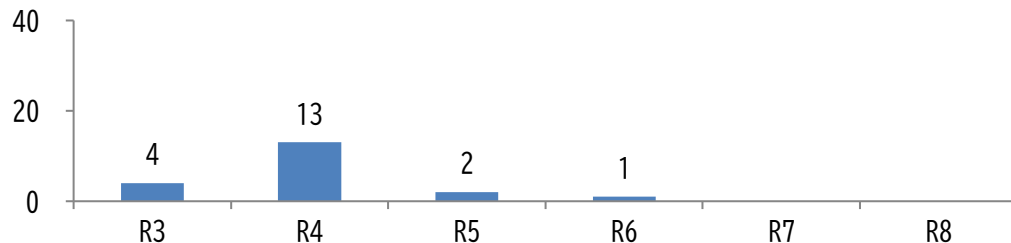
(3) 進行管理指標の動向

①商談成立件数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：海外販路拡大事業において、商談成立した件数

(単位：件)

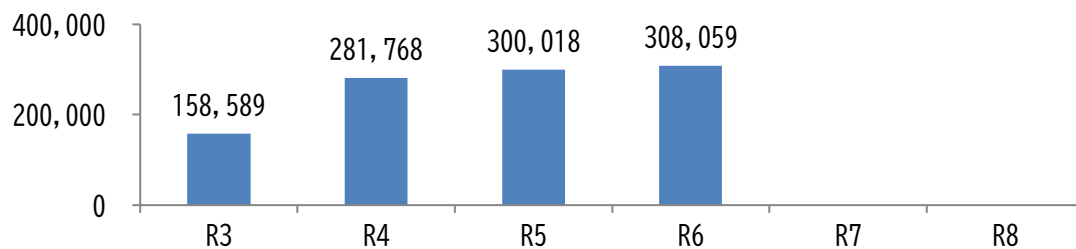


②八戸都市圏交流プラザの来店者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：八戸都市圏交流プラザの来店者数

(単位：人)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

(自己評価の理由)

- 八戸都市圏交流プラザの来店者数については、圏域事業者による各種イベントが開催されたほか、交流事業やプロモーションイベントの実施により来店者数が微増した。
- 商談成立件数については、これまで、コロナ禍による海外取引の減少や処理水問題による想定事業中止の影響により減少したが、令和6年度に事業の見直しを図り、今後、国際情勢等を見極めながら、米国・シンガポール共和国での商談及び現地フェアを実施し、販路拡大に向けた取組を進めていく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

■ 施策の方向性Ⅲ 働く場と働きやすい環境をつくる

施策１．企業誘致の推進

目 指 す 姿	・ 企業の新規立地が進むとともに、立地企業の事業拡大や地元企業への取引拡大が積極的に図られ、多くの雇用が創出されている。
施策の内容	成長産業などの集積に向けた立地環境のPRに取り組むとともに、新産業団地（八戸北インター第2工業団地）等の整備や企業のニーズに応じた立地支援を推進します。

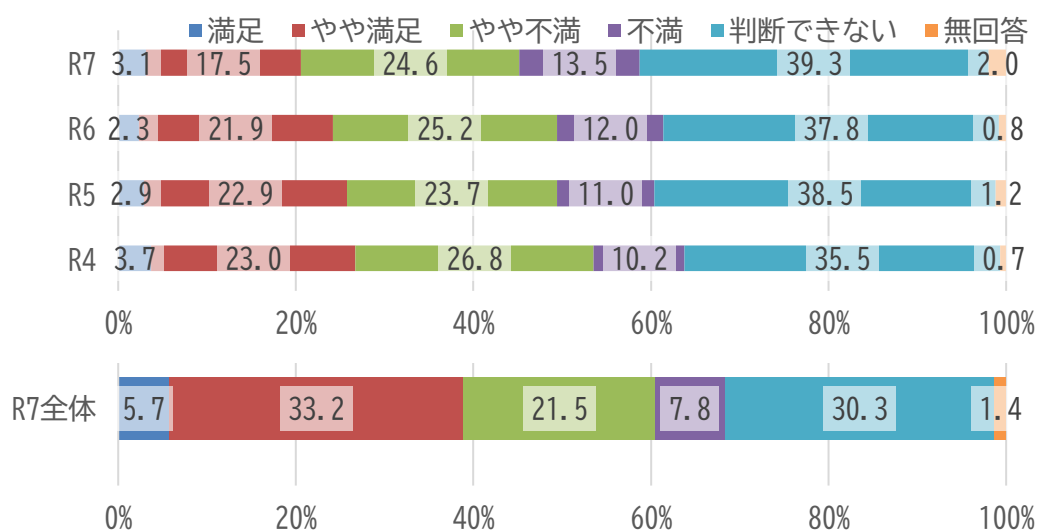
（１）施策を推進するための事務事業

（７事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
企業誘致促進事業	産業労政課	P 43
新産業団地整備・開発推進事業	産業労政課	P 43
八戸市貸工場運営事業	産業労政課	P 43
I T 産業集積促進事業	産業労政課	P 44
エネルギーシステム転換支援事業	産業労政課	P 44
企業立地促進条例に基づく奨励金交付事業	産業労政課	P 44
イノバティブ産業集積促進事業	産業労政課	P 44

（２）市民アンケートの結果

【設問】地元企業との取引拡大や多くの雇用が創出されるよう、企業誘致が推進されている。



参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 50位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

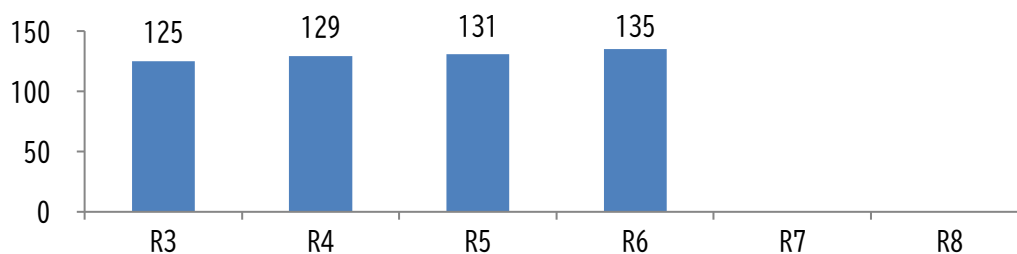
(3) 進行管理指標の動向

①誘致認定件数（累計）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：毎年度末の誘致認定件数（累計）

（単位：件）

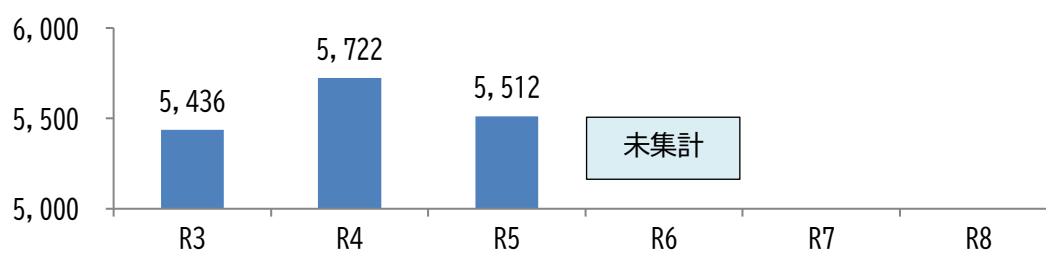


②誘致企業の従業員数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：誘致企業概況調査での誘致企業の従業員数

（単位：人）

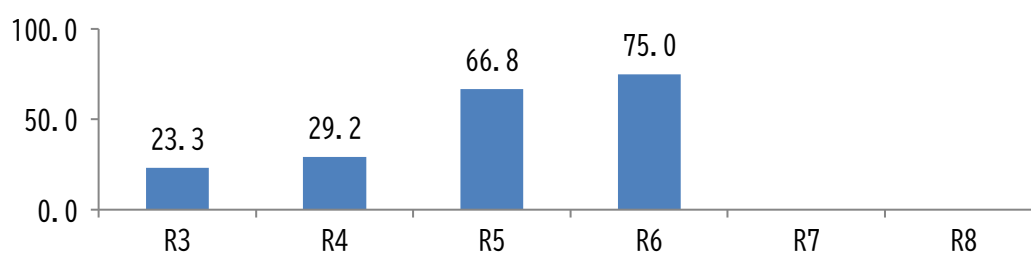


③新産業団地整備事業の進捗率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：総事業費（見込）に対する決算額合計の比率

（単位：%）



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

(自己評価の理由)

- 東京・名古屋における八戸セミナーの開催とともに、企業訪問などを通じて誘致活動に取り組み、令和6年度は4件の新規誘致認定に繋がった。
- 新産業団地整備事業の労務単価や資材価格等の高騰の影響がある中、効率的な施工等により、進捗率については順調に推移していることから、引き続き着実に整備を進めていく。
- 令和6年度から八戸北インター第2工業団地の分譲受付を開始しているが、優先交渉者の未決定区画について立地環境等を広く周知する等、分譲促進に努めながら企業誘致に努める。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

施策２．中小企業・小規模事業者の振興

目 指 す 姿	・ 中小企業・小規模事業者が、市場の環境の変化に意欲的に対応し、新たな分野への事業展開が行われている。 ・ 円滑な事業承継が図られ、中小企業・小規模事業者において安定した経営が行われている。
施策の内容	融資・保証・助成制度の充実を図るとともに、はちのへ創業・事業承継サポートセンターでの事業承継支援や、コーディネーターによる相談対応、各種支援制度の情報提供体制の充実を図ります。

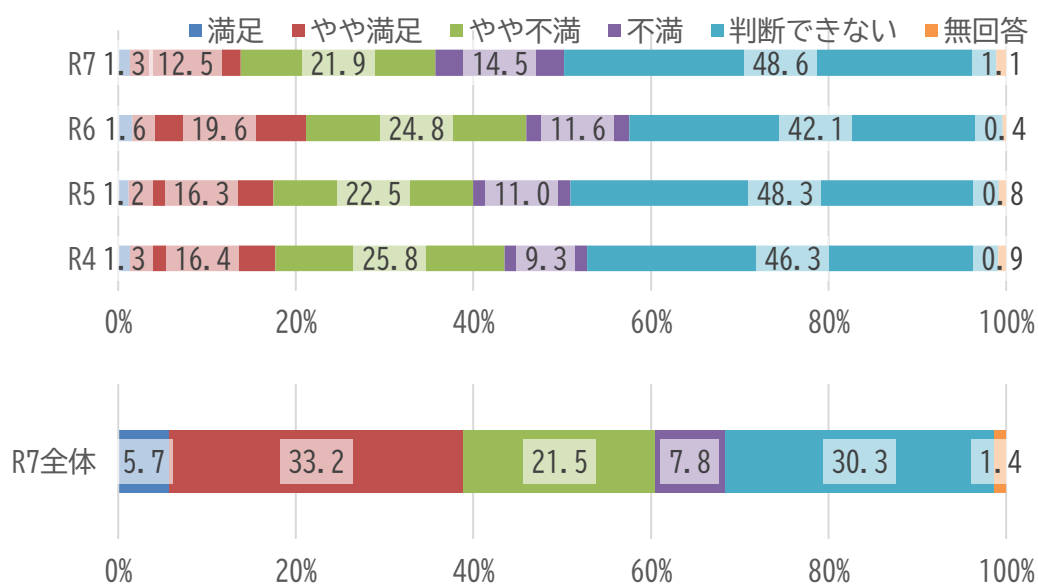
（１）施策を推進するための事務事業

（22 事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
はちのへ創業・事業承継サポートセンター運営事業	商工課	P 44
中小企業振興補助金交付事業	商工課	P 44
事業者向け情報提供事業	商工課	P 45
八戸市創業融資利子補給事業	商工課	P 45
地域総合整備資金貸付事業	商工課	P 45
中小企業特別保証制度保証料補助事業	商工課	P 45
中小企業振興資金事業	商工課	P 45
マル経融資利子補給事業	商工課	P 45
経営安定化サポート資金保証料及び利子補給事業	商工課	P 46
事業所等における事業継続計画（BCP）の策定支援事業	商工課	P 46
新商品特定随意契約制度事業者認定事業	商工課	P 46
地域企業課題解決支援事業	商工課	P 46
中小企業及び小規模企業振興基本条例推進事業	商工課	P 46
セーフティネット保証認定事業	商工課	P 46
計画経営導入促進事業	商工課	P 47
物流 2024 問題対策強化支援事業（運送事業者）	商工課	P 47
物流円滑化・効率化支援事業	商工課	P 47
路線バス事業継続支援事業	政策推進課	P 47
倉庫業電気料金高騰対策支援事業	商工課	P 47
貨物自動車運送事業者燃料高騰対策支援事業	商工課	P 47
再エネ・省エネ設備導入促進事業	環境政策課	P 47
港湾物流効率化支援事業	商工課	P 47

(2) 市民アンケートの結果

【設問】中小企業・小規模事業者が安定的に事業活動を継続できるよう、経営基盤の安定や事業承継に対する支援の充実など、中小企業・小規模事業者の振興が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 51位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

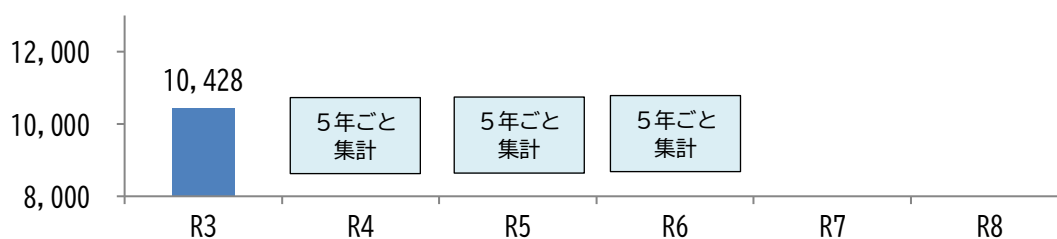
(3) 進行管理指標の動向

①市内事業所数

資料：国調査

指標の定義：国の統計調査での市内事業所数

(単位：事業所)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

(自己評価の理由)

- ・ 中小企業・小規模事業者向けの低利融資・信用保証料補助・利子補給の各種事業や、市が委嘱するコーディネーターの派遣を通じた課題解決支援(延べ46件)を実施した。
- ・ 直近の進行管理指標の数値は公表されていないものの、令和7年度からは地域中小企業における「稼ぐ力」の強化を図るため、中小企業新技術・新製品・新サービス開発等支援事業補助金を新たに開始するなど、引き続き、「中小企業・小規模企業振興会議」での有識者からの意見聴取を通じて市の施策の見直し・充実を図り、市広報誌への記事掲載などにより市の施策の満足度向上に努める。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策3. 創業環境の充実

目指す姿	・新たな事業活動に意欲的に取り組む创业者が増えている。
施策の内容	金融機関や産業支援機関との連携による切れ目のない支援体制を構築するとともに、はちのへ創業・事業承継サポートセンターにおける相談体制や融資制度の充実を図ります。

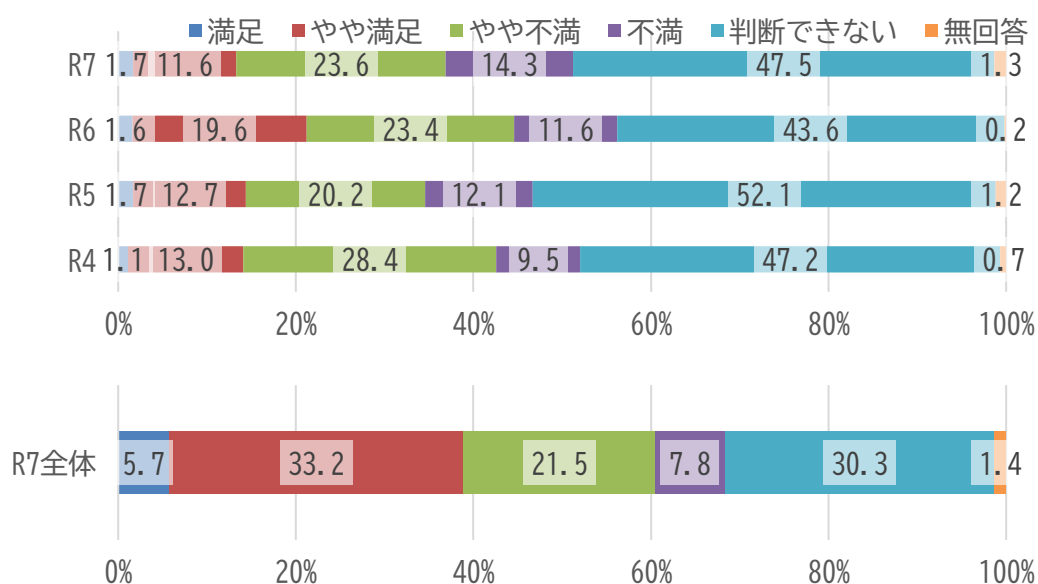
(1) 施策を推進するための事務事業

(4事業)

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
はちのへ創業・事業承継サポートセンター運営事業	商工課	P 48
八戸市創業融資利子補給事業	商工課	P 48
空き店舗活用チャレンジ融資保証料及び利子補給事業	商工課	P 48
新規会社設立補助事業	商工課	P 48

(2) 市民アンケートの結果

【設問】地域経済の新たな担い手として、事業活動に意欲的に取り組む创业者が増えるよう、創業環境の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 52位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

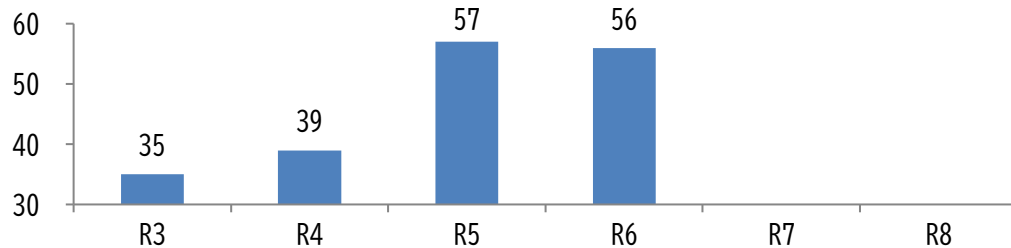
(3) 進行管理指標の動向

①はちのへ創業・事業承継サポートセンター を活用して創業した件数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：はちのへ創業・事業承継サポートセンターを活用して創業した件数

(単位：件)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

(自己評価の理由)

- 令和5年度に設置した「はちのへ創業・事業承継サポートセンター（8サポ）」において、窓口での個別相談対応及び起業支援プラットフォームでのコミュニティ活動を通じた起業・創業支援を実施したことにより創業件数は堅調に推移している。
- はちのへ創業・事業継承サポートセンター（8サポ）を利用した創業件数の増加に伴って、創業間もない経営者のニーズの高まりを受けて、コミュニティの活動内容を見直すほか、今年度は新たにビジネスコンテストを開催しながら、地域の起業・創業に対する機運醸成及び支援制度の認知度向上を図っていく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

施策4. 雇用・就業の促進

目 指 す 姿	・企業において必要な人材確保が図られている。 ・首都圏等に転出することなく、自分の希望する職業や能力を活かすことができる職業に就けている。
施策の内容	雇用・就業機会の拡大や職業能力の開発・向上に取り組むとともに、地元定着・人材還流の促進を図ります。

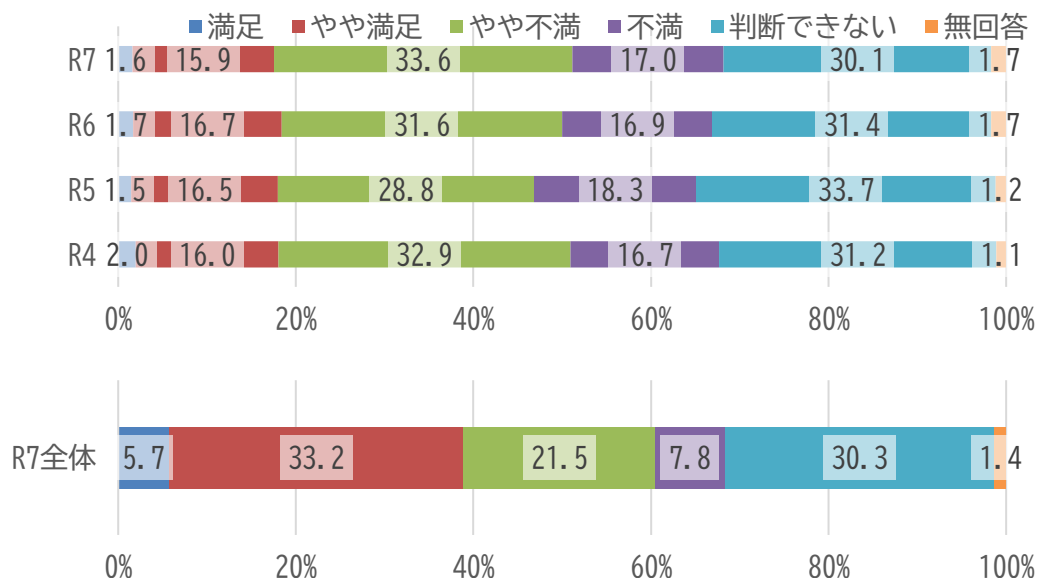
(1) 施策を推進するための事務事業

(17 事業)

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
無料職業紹介事業	産業労政課	P 48
雇用奨励金交付事業	産業労政課	P 49
シルバー人材センター育成・援助事業	産業労政課	P 49
求人・求職情報無料ウェブサイト運営事業	産業労政課	P 49
地元企業ファンづくりプロジェクト事業	産業労政課	P 49
若年者・離職者対策事業	産業労政課	P 49
ほんのり温ったか八戸移住計画支援事業	産業労政課	P 49
人材還流促進事業	産業労政課	P 49
地域事業所人材獲得等支援事業	産業労政課	P 50
移住支援金支給事業	産業労政課	P 50
高校生による地元企業魅力発見体験事業	産業労政課	P 50
医療・福祉職子育て世帯移住支援金支給事業	産業労政課	P 50
マチナカまるっと1日体験事業（4館連携）	政策推進課	P 50
卓越技能者表彰制度実施事業	産業労政課	P 50
フロンティア八戸職業訓練助成事業	産業労政課	P 50
技能者養成事業	産業労政課	P 51
キャリア教育推進事業	産業労政課	P 51

(2) 市民アンケートの結果

【設問】地元で自分の希望する職業に就けるとともに、企業が必要な人材を確保できるよう、地元企業の魅力発信や UIJ ターン希望者への就職支援など、雇用・就業の促進が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 53 位／全 55 問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

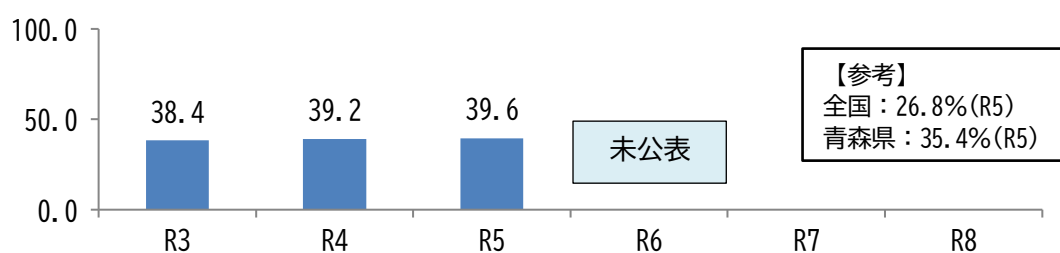
(3) 進行管理指標の動向

①八戸公共職業安定所管内の就職率

資料：八戸公共職業安定所（各年度集計）

指標の定義：八戸公共職業安定所管内における新規求職者に対する就職件数の比率

(単位：%)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

(自己評価の理由)

- 令和5年度から実施しているキャリアアップ教育推進事業では、社会人を対象としたキャリアアップを啓発するセミナーを通じて、「異業種の方との交流を通じて自分のキャリアを見直す機会となった」等の好意的な意見をいただいております。令和6年度からは対面式のセミナーのほか、アーカイブ形式を導入し、受講促進に努めています。
- 八戸公共職業安定所管内の就職率は横ばいで推移していることから、地元で自分の希望する職業に就けるようにするとともに、企業が必要な人材を確保できるよう、地元企業の魅力発信やUIJターン希望者への就職支援など、雇用・就業の促進を図っていく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策5. 労働環境の充実

目 指 す 姿	・各事業所において、労働環境の改善及び福利厚生の実現が図られている。 ・勤労者が多様で柔軟な働き方を選択することができ、安心して快適に、かつ意欲的に働くことができている。
施策の内容	勤労者及び事業者に対する働きやすい労働環境の普及啓発を図るとともに、福利厚生の実現に向けた取組を支援します。

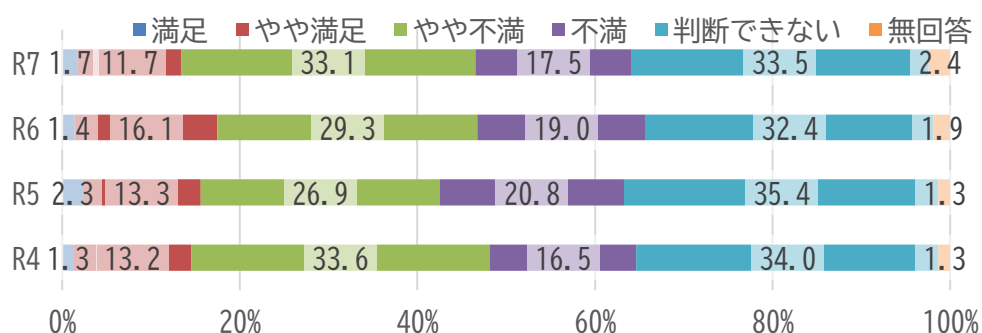
(1) 施策を推進するための事務事業

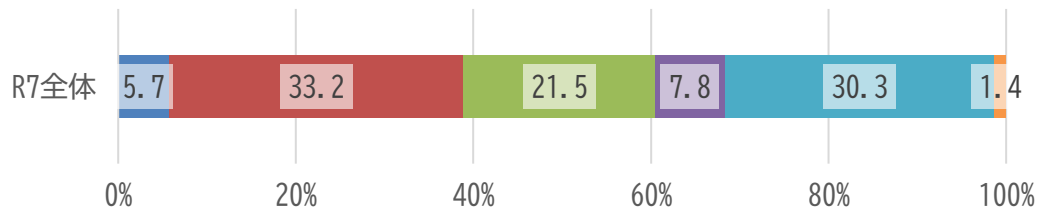
(14 事業)

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
労働環境普及・啓発事業	産業労政課	P 51
行政手続きオンライン化推進事業	情報政策課	P 51
ICT 活用による業務効率化推進事業	情報政策課	P 51
行政組織活性化事業	人事課	P 51
入札・契約制度適正化推進事業	契約検査課	P 51
職員研修事業	人事課	P 52
民間企業との交流事業	人事課	P 52
いきいきとしたデジタル社会推進事業	情報政策課	P 52
公共施設へのキャッシュレス決済の導入	情報政策課	P 52
八戸市社内人材育成支援事業	産業労政課	P 52
八戸市窓口業務改革プロジェクト	情報政策課	P 52
第8次行財政改革大綱策定事業	行政管理課	P 52
中小企業勤労者総合福祉推進事業	産業労政課	P 53
勤労者向け融資制度実施事業	産業労政課	P 53

(2) 市民アンケートの結果

【設問】勤労者が多様な働き方を選択でき、安心かつ意欲的に働けるよう、ワークライフバランスの推進など、労働環境の実現が図られている。





【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 54 位／全 55 問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

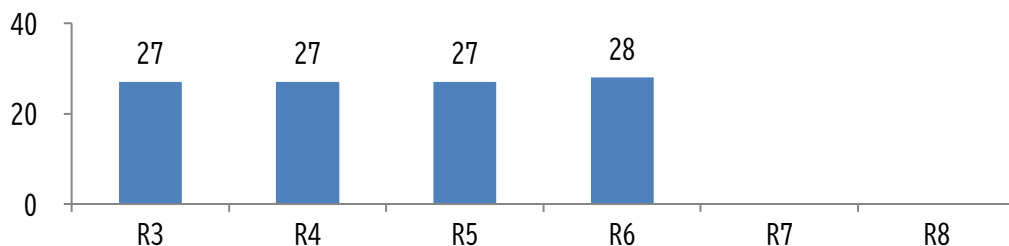
（３）進行管理指標の動向

①「あおり働き方改革推進企業」認証取得企業数

資料：青森県（各年度集計）

指標の定義：「あおり働き方改革推進企業」の認証を取得した市内企業数の累計

（単位：社）



（４）施策の進行状況に対する市の自己評価

d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

（自己評価の理由）

- 働く場と働きやすい環境をつくるための労働環境の充実に向けて、労働環境・普及啓発事業や中小企業勤労者総合福祉推進事業、勤労者向け融資制度実施事業を継続して実施したほか、令和６年度から新たな取組として「八戸市社内人材育成支援事業」を開始し、市内企業を対象に人材戦略の策定や人的資本経営の推進を図るためのセミナーの開催と伴走支援により企業の人事制度の見直し等を支援し、それらの成果を市内企業に展開することを目的とした報告会を開催した。報告会では、実際に人事制度の見直しに繋がった事例を報告し、参加した 19 名全ての人が「よく理解できた」または「理解できた」との評価だったほか、16 名（14 社）の人が次年度に人材戦略の策定に取り組みたいとの回答を得ている。
- 進行管理指標の数値が横ばい傾向であり、市民アンケートの満足度は低い状況にあることから、これら事業を必要に応じて見直しながら継続していくことで、市内企業における職場環境の充実に繋げていくとともに、市民アンケートの満足度向上を図っていく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

<基本的な考え方>

市民の暮らしは、豊かな自然環境に恵まれながら、常に予期せぬ災害や犯罪被害、感染症の流行といった脅威に直面する可能性がある中で営まれており、誰もが良好な環境のもとで健康で安全安心な暮らしを続けていくためには、恵まれた自然環境や衛生的な生活環境を維持しつつ不測の事態に適切に対処していくことが重要です。

これまで、当市では、空気や水を清浄に保ちながら、豊かな自然環境を将来の世代に引き継ぐことができるよう、環境保全の充実やごみ処理の適正化を図るとともに、地球温暖化対策を推進してきました。

また、市民の生命や財産を予期せぬ災害や犯罪被害、事故などから守り、安全安心な生活を送ることができるよう、自助・共助・公助の連携のもと、地域防災体制の構築やハード・ソフト両面における防犯・交通安全対策を推進するとともに、消防・救急体制の確立や消費者支援の充実に取り組んできました。

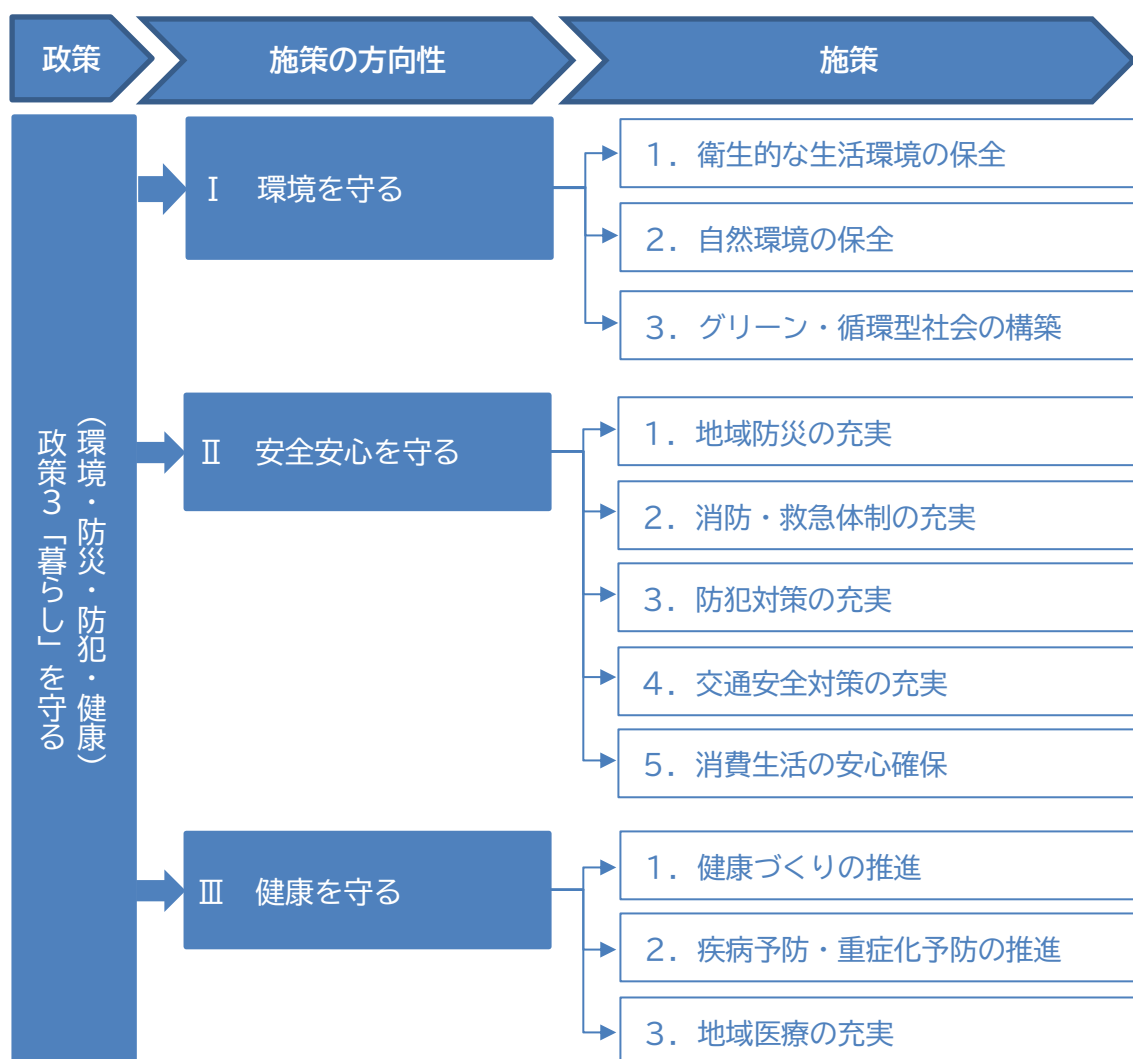
加えて、市民が心身ともに健康で生きがいのある生活を送ることができるよう、市民の主体的な取組を促進しながら、地域の保健・医療機関と連携し、保健医療の充実に取り組んできました。

こうした中、近年の気候変動に対する国の動きを背景として、当市においても持続的な自然との共生を目指し、地球温暖化防止のための更なる対応が求められるとともに、新型コロナウイルス感染症などの新たな感染症の流行や、激甚化・多発化している風水害、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震など、今後起こり得る不測の事態から、市民の「暮らし」を守る必要があります。

このようなことから、当市では、衛生的な生活環境や自然環境の保全、グリーン・循環型社会の構築に取り組み、暮らしの環境を守るとともに、地域防災や消防・救急体制、防犯・交通安全対策の充実、消費生活の安心確保を図り、安全安心な暮らしを守ります。

さらに、健やかな暮らしを守るため、健康づくりや疾病予防・重症化予防を推進するとともに地域医療の充実を図ります。

< 施策の体系 >



■ 施策の方向性Ⅰ 環境を守る

施策１．衛生的な生活環境の保全

目 指 す 姿	・ 大気環境や水環境が良好な状態に保たれている。 ・ 環境保全に対する市民の意識が高まり、市民一人ひとりに環境に配慮した生活が定着している。 ・ 家庭や事業所において排出されるごみが適正かつ安定的に処理されている。
施策の内容	市民や事業者等の環境保全意識の向上に取り組むとともに、環境保全対策の充実を図ります。また、適正なごみ処理や不法投棄の防止を推進します。

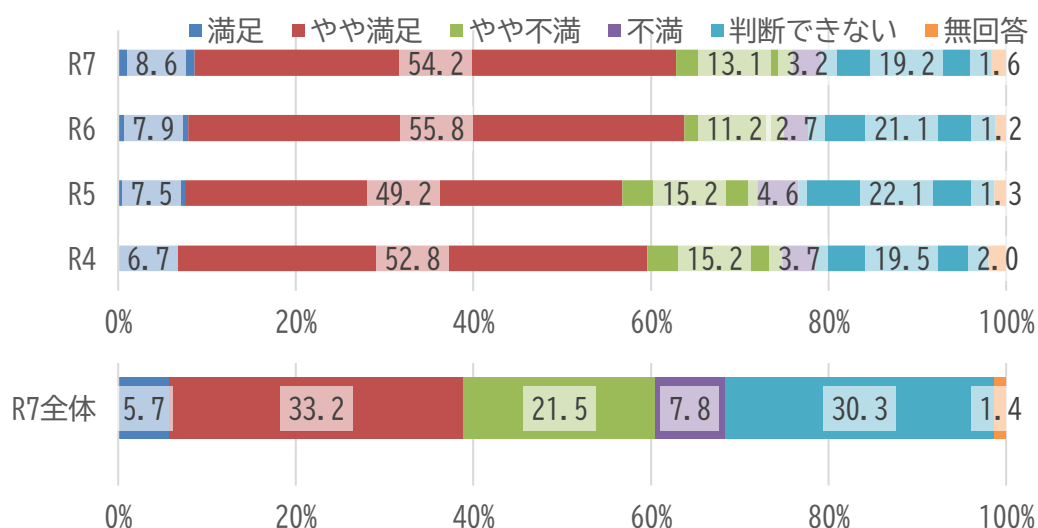
（１）施策を推進するための事務事業

（23 事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
大気汚染防止対策事業	環境保全課	P 54
悪臭発生防止対策事業	環境保全課	P 54
自動車騒音調査事業	環境保全課	P 54
公共用水域水質調査事業	環境保全課	P 54
特定事業場排水等調査事業	環境保全課	P 54
地下水水質調査事業	環境保全課	P 54
水浴場水質調査事業	環境保全課	P 54
市庁敷地内放射線量モニタリングと公表（国）	環境保全課	P 54
専用水道・簡易専用水道調査事業	衛生課	P 55
衛生営業六法に基づく事業	衛生課	P 55
食品衛生法に基づく事務	衛生課	P 55
ダイオキシン類対策特別措置法に基づく事務	環境保全課	P 55
生活排水対策事業	環境保全課	P 55
市民による放射線量測定	環境保全課	P 55
はちのへクリーンパートナー制度事業	環境政策課	P 56
八戸市ボランティア用ごみ袋配付事業	環境政策課	P 56
八戸市環境美化協議会補助事業	環境政策課	P 56
正しいごみの分け方・出し方啓発活動事業	環境政策課	P 56
ごみ減量推進員配置事業	環境政策課	P 56
ごみ減量キャンペーン事業	環境政策課	P 56
事業系ごみ減量促進事業	環境政策課	P 57
不法投棄対策	清掃事務所	P 57
産業廃棄物等適正処理推進事業	環境保全課	P 57

(2) 市民アンケートの結果

【設問】 市民や事業者が環境に配慮した生活を意識し、良好な大気環境や水環境が保たれるよう、衛生的な生活環境の保全が図られている。



【参考】 満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 7位／全55問

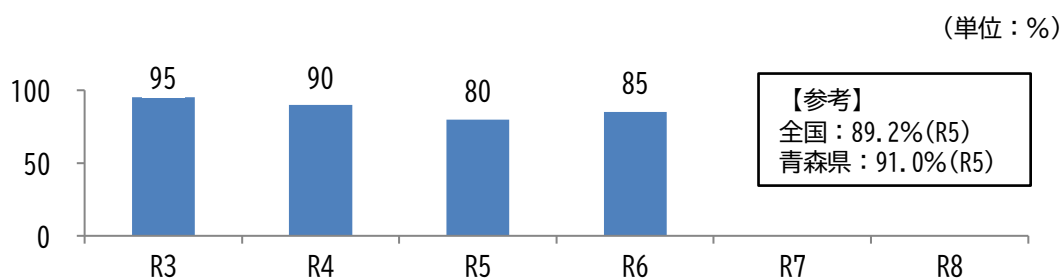
※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

(3) 進行管理指標の動向

①公共用水域の環境基準達成率

資料：八戸市（各年度集計）

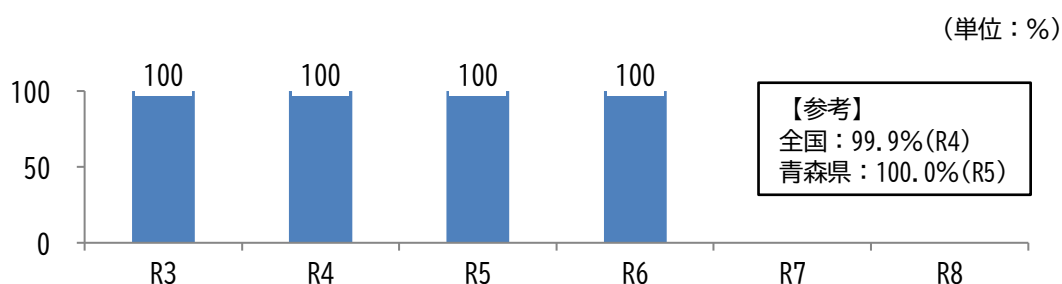
指標の定義：公共用水域（河川・海域・湖沼）の環境基準点における調査結果で代表的な指標であるBOD（生物化学的酸素要求量）、COD（化学的酸素要求量）の環境基準を達成した割合



②一般環境大気の大気環境基準達成率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：一般環境大気の大気環境基準点における調査結果で代表的な指標である二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、微小粒子状物質の環境基準を達成した割合

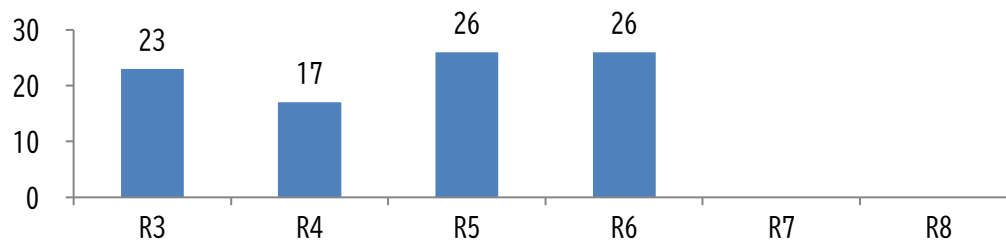


③環境学習会の開催回数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：環境啓発を目的とした環境学習会の開催回数

（単位：回）

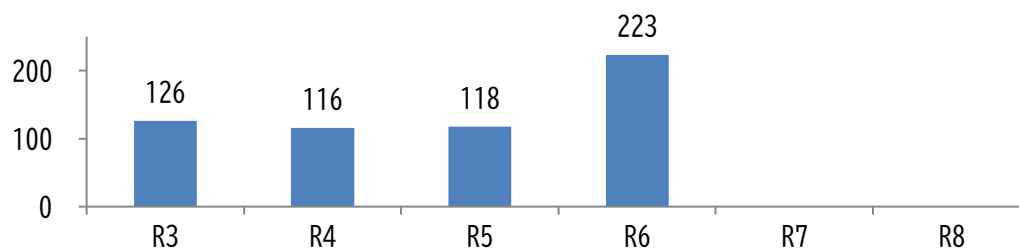


④不法投棄パトロールの実施日数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：一般廃棄物に係る不法投棄パトロールの日数と産業廃棄物に係る不法投棄パトロールの日数の合計

（単位：日数）



（４）施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

（自己評価の理由）

- 指標①及び②の動向には臨海部の事業場等の影響に加え、自然的要因が影響するものの、各法に基づく届出事業者等に対する立入検査を通じた調査・指導を適切に行うことで、衛生的な生活環境が良好な状態に保たれるよう努めている。
- 環境学習会については、荒天により開催回数は前年度と同数となったが、開催希望校は年々増加していることから、引き続き開催に向けて進めていく。また、令和7年度からは、八戸工業大学を中心に構成される「HIT カーボンニュートラル人材育成協議会」と連携し、講座内容のリニューアルを図るなど今後も増加に向けて努めていく。
- 指標④については、不法投棄を防止するために不法投棄多発地点などに監視カメラを設置するとともに、年間を通じて市内のパトロールを展開し、不法投棄の早期発見に努めており、不法投棄の防止を推進している。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策２．自然環境の保全

目 指 す 姿	・美しく豊かな自然が維持され、市民が自然にふれあう機会が数多く創出されている。
施策の内容	自然保護団体や協力事業者との連携による自然保護活動を推進するとともに、市民が自然に触れ合える環境づくりに取り組みます。

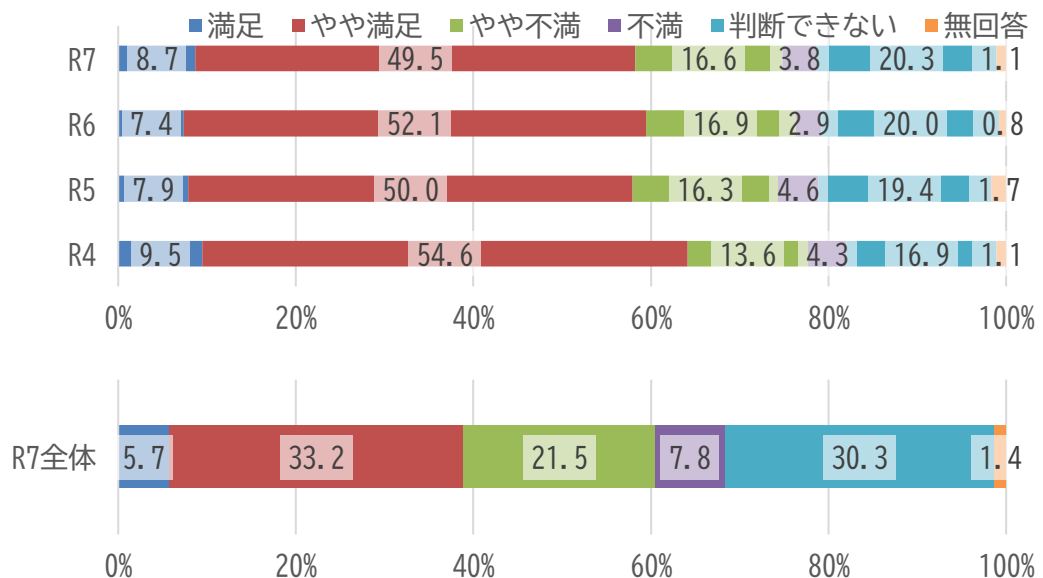
（１）施策を推進するための事務事業

（４事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
名勝種差海岸保護事業	社会教育課	P 57
天然記念物蕪島ウミネコ繁殖地保護事業	社会教育課	P 58
市民の森不習岳の施設改修等事業	農林畜産課	P 58
海洋ゴミ回収事業	環境政策課	P 58

（２）市民アンケートの結果

【設問】美しく豊かな自然景観が維持され、次世代に継承されるよう、自然保護活動の推進など、自然環境の保全が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 9位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

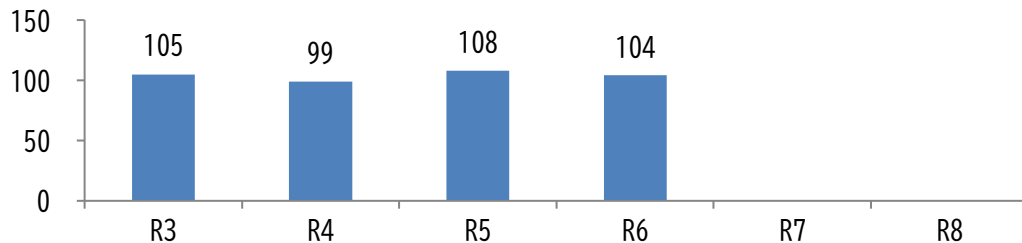
(3) 進行管理指標の動向

①名勝種差海岸保護指導員によるパトロール回数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：名勝種差海岸保護指導員によるパトロール回数

(単位：回)

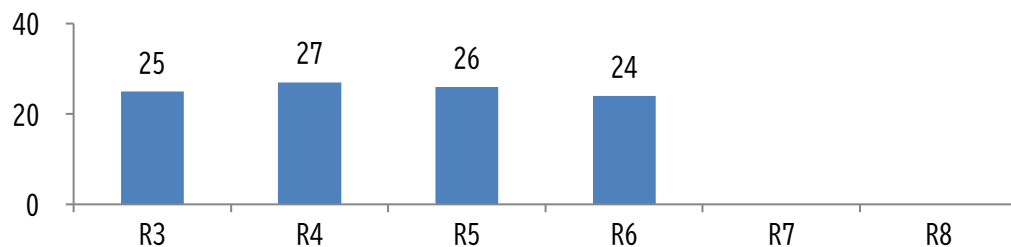


②外来生物の駆除実施日数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：外来生物の駆除実施日数

(単位：日)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 名勝種差海岸保護事業について、依頼した 10 回以上のパトロールが名勝 8 地区で実施された結果、景観が保全されており、前年度より回数は減っているが効果が出ている。
- 外来生物の駆除については、種差海岸における外来生物（オオハンゴンソウ）の駆除を名勝種差海岸保護事業及び有志の方のボランティア活動を通じて実施しており、これまでの駆除活動により、外来生物の繁殖が抑制されていると推察されることから、駆除実施日数は減少しているものの、効果が得られている。
- 市民が安心・安全に自然と触れ合えるように市民の森不習岳の施設については、計画的に園路や林間歩道等の施設改修を進めている。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

施策3. グリーン・循環型社会の構築

目 指 す 姿	・ 市民や事業者、行政が主体的に省エネルギー対策に取り組むことでエネルギー利用の効率化が進んでいる。 ・ 家庭や企業において再生可能エネルギーの活用が進んでいる。 ・ 3 Rの取組が徹底された生活様式や事業活動が定着している。
施策の内容	市民や事業者に対する省エネルギーの普及啓発や、再生可能エネルギーの導入に向けた意識啓発、家庭や事業所における3 R活動の促進など温室効果ガスの排出量削減に向けた取組を推進します。

(1) 施策を推進するための事務事業

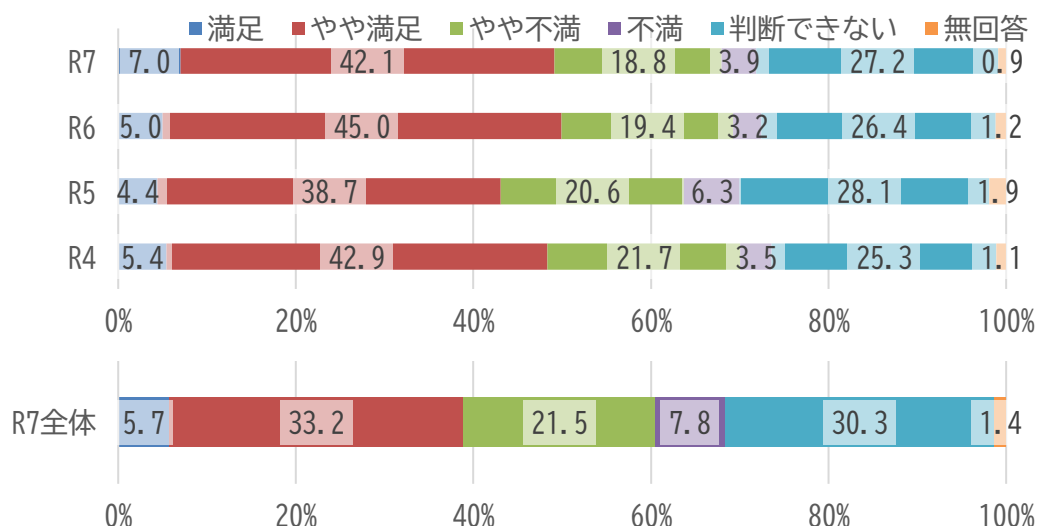
(9事業)

事業名称	担当部署	事業一覧掲載ページ
環境教育推進事業	環境政策課	P 59
八戸市地球温暖化対策地方公共団体実行計画推進事業	環境政策課	P 59
地球温暖化対策理解促進事業	環境政策課	P 59
脱炭素化推進事業	環境政策課	P 59
再エネ・省エネ設備導入促進事業	環境政策課	P 59
民間路線バス運転手確保維持補助金事業	政策推進課	P 59
資源集団回収促進事業	環境政策課	P 60
小型家電リサイクル事業	環境政策課	P 60
廃食用油利活用事業	環境政策課	P 60

(2) 市民アンケートの結果

【設問】省エネルギーや3 R活動の推進、再生可能エネルギーの導入に向けた意識啓発など、グリーン・循環型社会の構築が進んでいる。

※ 3 R : Reduce (リデュース・ごみの発生抑制)、Reuse (リユース・再利用)、Recycle (リサイクル・再資源化) のこと。



【参考】満足度(「満足」と「やや満足」を合わせた割合)の順位 12位/全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

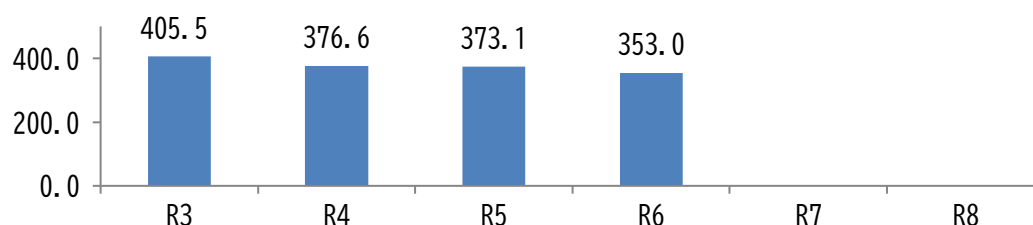
(3) 進行管理指標の動向

①市内の二酸化炭素排出量

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：市内の産業、工業プロセス、運輸、民生家庭、民生業務、廃棄物、エネルギー転換の各部門から排出された二酸化炭素排出量の合計

(単位：万トン)



※参考比較指標：二酸化炭素削減率（基準年度：2013 年度比）2021 年度時点

八戸市 -20.8%
青森県 -23.0%
全 国 -19.3%

②リサイクル率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：ごみ排出総量のうち、再生利用量の割合

(単位：%)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 市民や事業者の省エネに対する意識の向上や省エネ技術の向上によるエネルギー消費量の減少によって、二酸化炭素の排出量も減少していることから、今後は更なる削減に向けて、令和7年度からは新たに、公共施設の脱炭素化に向けた LED 照明器具導入に係る ESCO 事業可能性調査などを行うゼロカーボンオフィス推進事業を実施するほか、引き続き再生可能エネルギーの導入促進に向けた取組を進めていく。
- 人口減少や民間商業施設における資源物の店頭回収の普及等を要因として、行政が収集するごみの総量は減少傾向にあるものと推測しているが、そのような中、資源物の収集量は一定程度確保されており、リサイクル率はほぼ横ばいで推移している。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

■ 施策の方向性Ⅱ 安全安心を守る

施策１．地域防災の充実

目 指 す 姿	・ 激甚化する災害に迅速かつ的確に対処できる体制が構築され、発災時において市民の生命と財産が守られている。
施策の内容	市民の防災意識の醸成や、防災訓練の充実を図るとともに、ハードとソフト両面での防災体制の強化に取り組みます。また、自主防災組織の育成支援など地域における防災力の強化を図ります。

（１）施策を推進するための事務事業

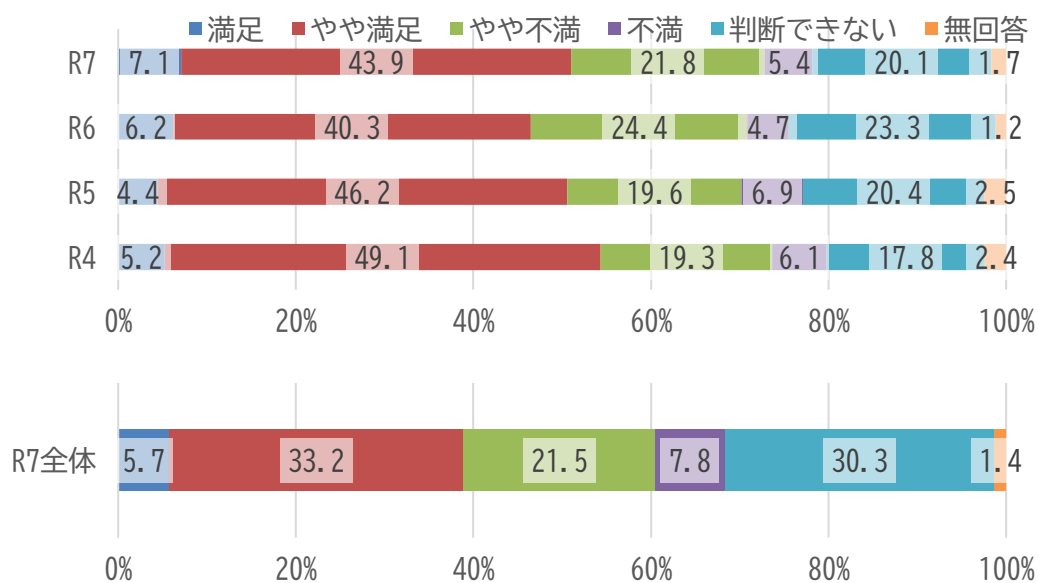
（32 事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
防災市民研修会開催事業	災害対策課	P 60
東日本大震災を伝承する記録・資料の保存・公開事業	災害対策課	P 60
防災教育副読本導入事業	教育指導課	P 60
防災教室支援事業	教育指導課	P 60
総合防災訓練の実施	災害対策課	P 61
地区防災訓練の実施	災害対策課	P 61
図上訓練実施事業	災害対策課	P 61
事業所における防災訓練の充実	災害対策課	P 61
安全・安心情報発信事業	危機管理課	P 61
避難所運営体制整備事業	災害対策課	P 61
急傾斜地崩壊対策促進事業	港湾河川課	P 61
小・中学校における防災体制の強化	教育指導課	P 62
福祉避難所整備事業	福祉政策課	P 62
福祉避難所整備事業（福祉公民館・総合福祉会館の維持管理）	福祉政策課	P 62
福祉避難所整備事業	障がい福祉課	P 62
木造住宅耐震化支援事業	建築指導課	P 62
耐震対策緊急促進事業	建築指導課	P 62
国土強靱化地域計画推進事業	危機管理課	P 62
宅地耐震化推進事業	建築指導課	P 62
市道冠水被害対策事業	道路維持課	P 63
緊急浚渫推進事業	港湾河川課	P 63
津波避難誘導標識等整備事業	災害対策課	P 63
防災重点農業用ため池防災対策促進事業	港湾河川課	P 63
防災・危機管理体制強化事業	危機管理課	P 63
危険ブロック塀等安全対策支援事業	建築指導課	P 63
津波避難施設の整備等に関する基本方針策定事業	危機管理課	P 63
避難所運営体制の整備事業	災害対策課	P 63

災害用備蓄物資の充実事業	災害対策課	P 64
避難行動要支援者事業	福祉政策課	P 64
災害ボランティアネットワーク事業	市民連携推進課	P 64
自主防災組織リーダー育成事業	災害対策課	P 64
自主防災組織育成事業	災害対策課	P 64

(2) 市民アンケートの結果

【設問】激甚化する自然災害から市民の生命と財産が守られるよう、地域防災の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 14位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

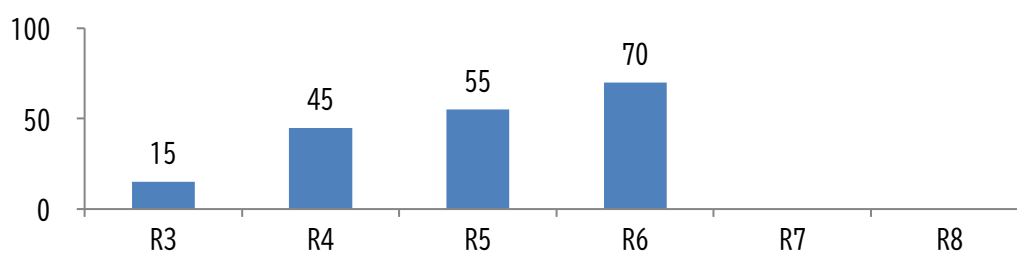
(3) 進行管理指標の動向

①地区防災訓練の実施件数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：地区防災訓練の実施件数

(単位：件)

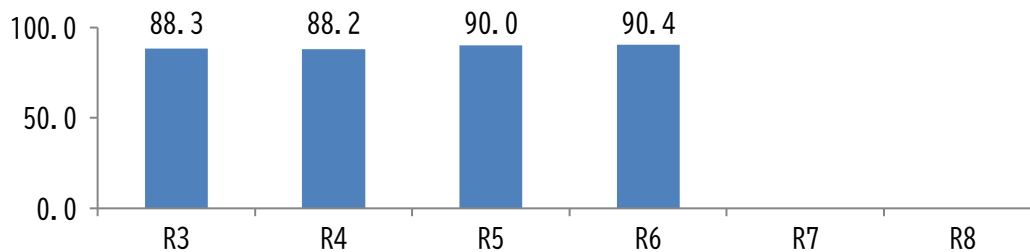


②自主防災組織の活動カバー率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：自主防災組織の活動カバー率

（単位：％）

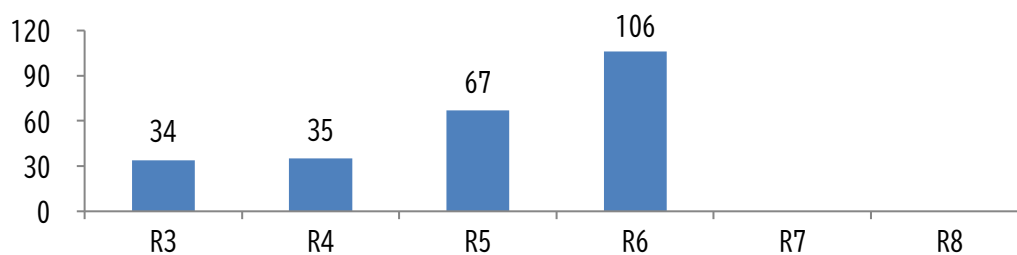


③避難行動要支援者※の支援に関する協定締結数（累計）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：町内会や自主防災組織などと避難行動要支援者の支援に関する協定を締結した累計件数

（単位：件）



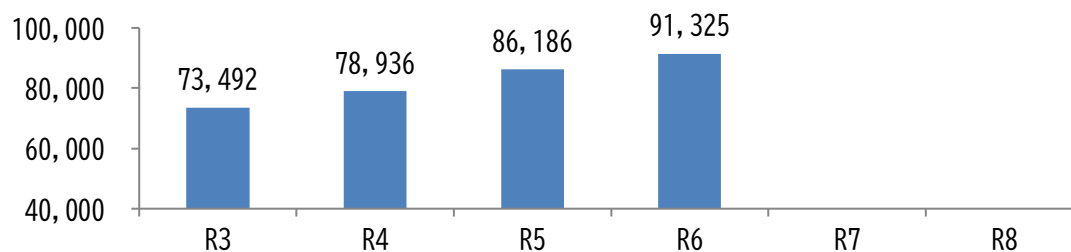
※国の呼称に合わせ、「災害時要援護者」について名称を変更したもの。

④安全・安心情報発信サービス（ほっとスルメール）の登録件数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：安全・安心情報発信サービス（ほっとスルメール）の登録件数

（単位：件）



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 全国各地の自然災害等によって、地域住民の防災意識や自主防災組織の重要性が再認識されたことに加え、助成金制度の継続によって、地区防災訓練の実施件数は増加傾向にあり、自主防災組織の活動カバー率も高水準を維持していることから、引き続き、防災関係機関や地域住民と連携し、大規模災害に備えた防災訓練を行っていく。
- 避難行動要支援者の支援に関する協定については、地域において要支援者を支援する体制づくりへの理解が深まるとともに、個別避難計画の作成を契機に、新たに社会福祉法人等と協定を締結したことから、避難行動要支援者の支援に関する協定の締結数が増加している。
- ほっとスルメールの登録件数は、全体として増加傾向にあり、防災意識の向上が図られているものと推察される。
- 防災教室支援事業について、毎年要望があった小中学校で防災教室を実施しており、児童生徒の防災意識の醸成につなげている。
- 緊急浚渫推進事業について、令和4年度から計画的に事業を進めているほか、市道冠水被害対策事業について、事業計画路線である市道八戸駅前通線が令和6年度をもって完了するなど、計画的に順調に事業を進めている。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

施策２．消防・救急体制の充実

目 指 す 姿	・ 火災や事故、傷病者の発生時に迅速かつ的確に対応できる消防・救急体制が確立している。 ・ 市民や事業者防火・救命に関する知識が浸透し、消防団への加入者が増え、地域において火災や事故に備えた体制が整っている。
施策の内容	ハードとソフト両面での消防・救急・救助体制の充実に取り組むとともに、市民や事業者の防火意識の醸成を図ります。また、消防団員の確保など消防団の充実を図ります。

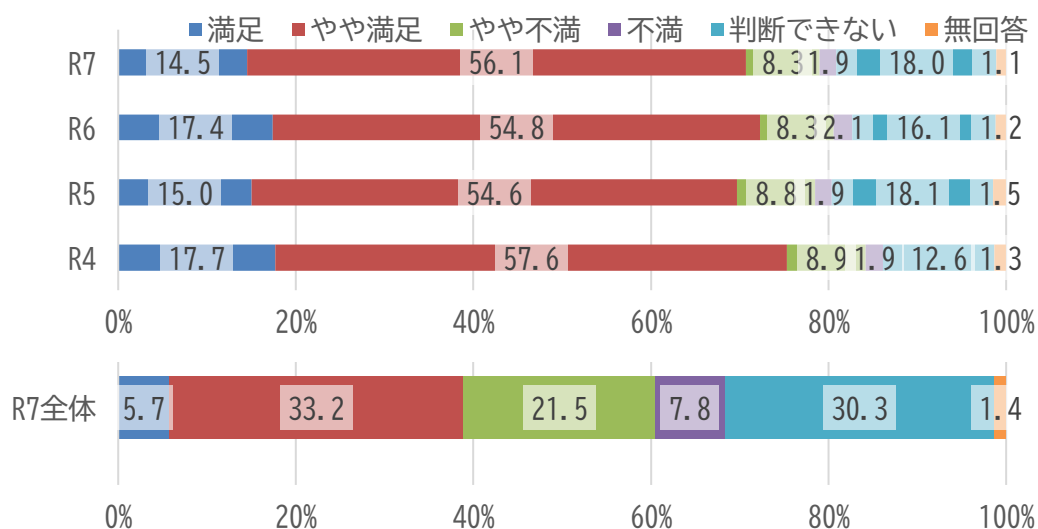
（１）施策を推進するための事務事業

（９事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
消防車両等整備事業（広域事務組合）	（広域）消防本部	P 65
消防防災施設整備事業（広域事務組合）	（広域）消防本部	P 65
救急救命士養成事業（広域事務組合）	（広域）消防本部	P 65
防火対象物予防査察事業（広域事務組合）	（広域）消防本部	P 65
救命講習会事業（広域事務組合）	（広域）消防本部	P 65
緊急消防援助隊合同訓練（広域事務組合）	（広域）消防本部	P 65
防火防災意識普及啓発事業（広域事務組合）	（広域）消防本部	P 65
消防団車両等整備事業	災害対策課	P 66
消防団員加入促進事業	災害対策課	P 66

（２）市民アンケートの結果

【設問】 火災や事故、傷病者の発生時に迅速かつ的確に対応できるよう、消防・救急体制の充実が図られている。



【参考】 満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 2位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

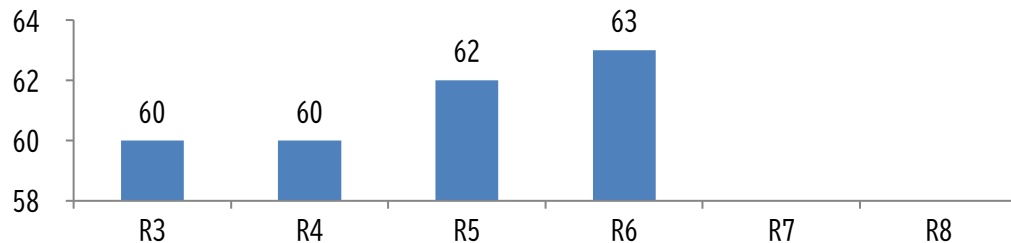
(3) 進行管理指標の動向

①耐震性防火水槽の設置数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：市内の耐震性防火水槽の設置数

(単位：基)

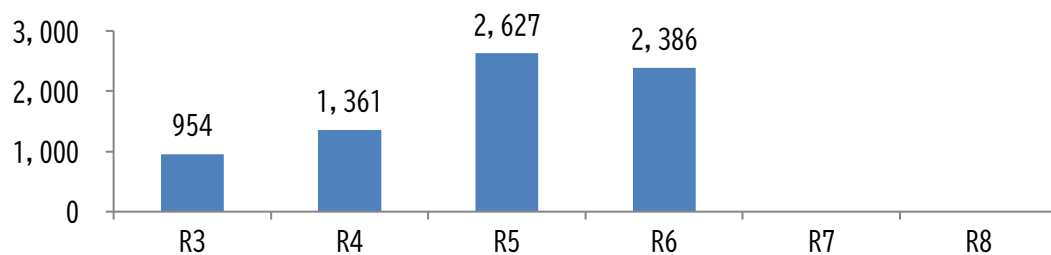


②救命講習会の受講者数

資料：八戸消防本部（各年度集計）

指標の定義：普通救命講習Ⅰ～Ⅲ及び上級救命講習を受講した人数

(単位：人)

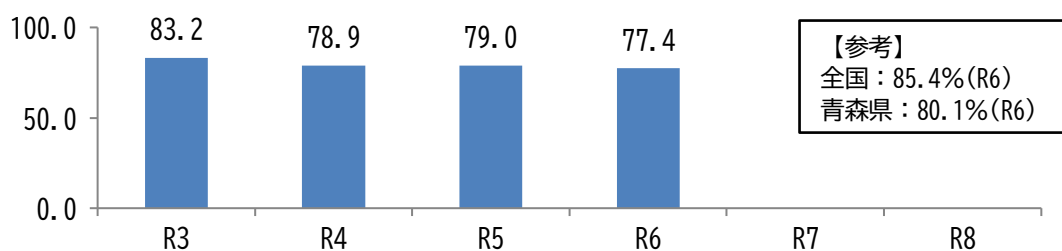


③消防団員の充足率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：条例定数に対する消防団員の充足率

(単位：%)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 救命講習会については、公募による講習会開催や WEB を活用した時間短縮を図るなど受講機会を増やす取組を進めてきたが、受講者数が減少したことから、令和7年度はさらに受講機会を増やすため、同講習会を土日にも開催できるようにするなど、受講者の増加に向けて取組を進めていく。
- 消防団員の充足率は、減少傾向にあることから、消防団員の加入者を増やしていくため、今後は継続的な消防団員の加入促進活動と合わせて消防団の組織の見直しを進め、充足率の向上に努めるとともに、安全安心な消防体制の充実を図っていく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策３．防犯対策の充実

目指す姿	・犯罪が起こりにくい、犯罪を起こしにくい環境で安心して暮らすことができる。
施策の内容	町内会や教育機関、事業者、警察、防犯関係団体との連携を強化するとともに、ＬＥＤ防犯灯の設置促進など地域における防犯体制の充実を図ります。

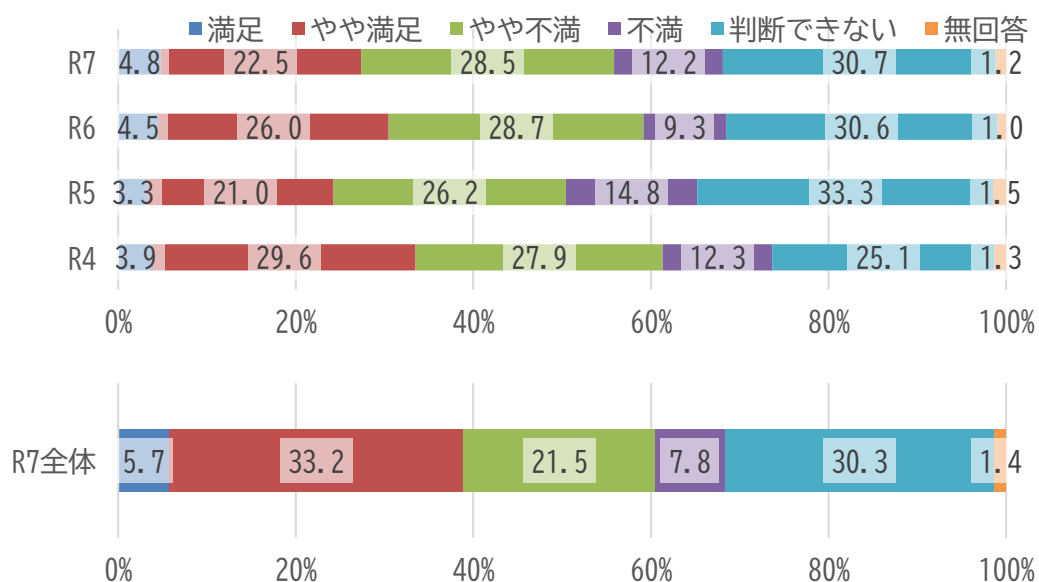
（１）施策を推進するための事務事業

（４事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
安全・安心まちづくり推進協議会推進事業	くらし交通安全課	P 66
防犯対策事業	くらし交通安全課	P 66
ＬＥＤ防犯灯整備助成事業	道路維持課	P 66
八戸市防犯灯ＬＥＤ化エスコ事業	道路維持課	P 66

（２）市民アンケートの結果

【設問】市民が犯罪の少ない社会で安心して暮らせるよう、通学路への防犯カメラの設置など、防犯対策の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 47位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

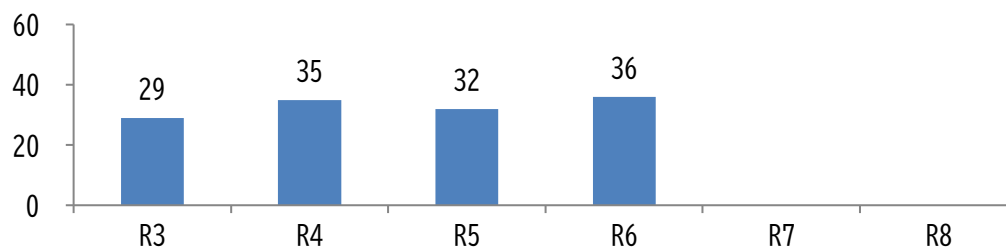
(3) 進行管理指標の動向

①地域安全マップを作成した学校数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：地域安全マップを作成した小学校数

(単位：校)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 地域安全マップの作成校数は増加しているほか、八戸地区連合防犯協会が実施している防犯カメラ設置促進事業に対して補助金を交付しており、令和6年度までに小中学校の通学路を中心に市内で323台の防犯カメラが設置され、防犯環境の向上を図っている。
- 防犯灯については、設置を希望する町内会等に対して、市から助成を行うことで設置数は年々増加しているとともに、平成30年度から導入した防犯灯LED化エスコ事業により、全ての防犯灯を適正に維持管理している。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策4. 交通安全対策の充実

目指す姿	・ 交通ルールが遵守されるとともに、道路や歩道の安全対策が講じられ、交通事故の発生が抑制されている。
施策の内容	市民及び事業者の交通安全に対する意識醸成を図るとともに、通学路における防護柵の設置など安全な交通環境づくりを進めます。

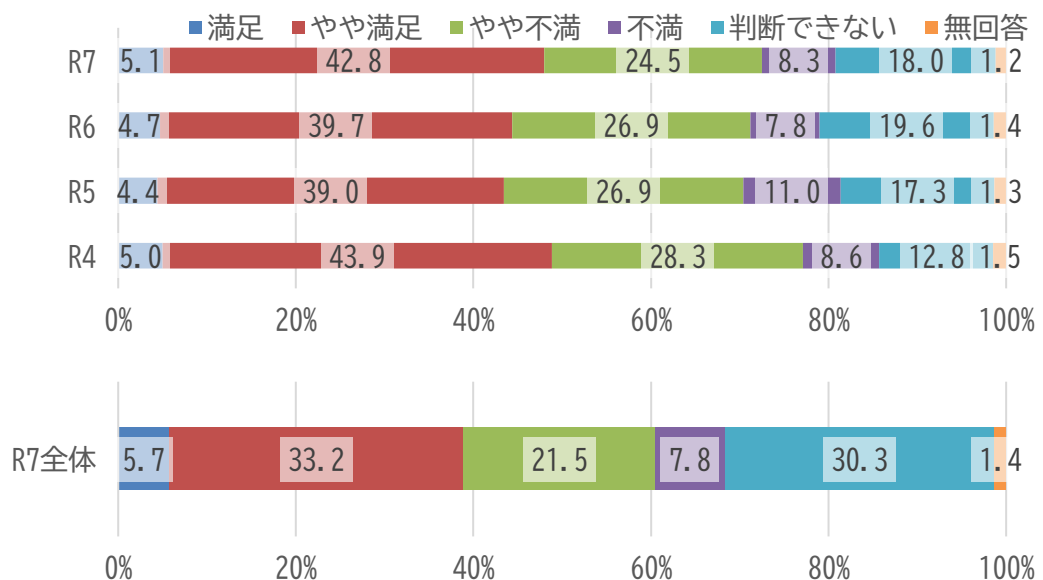
(1) 施策を推進するための事務事業

(4事業)

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
交通事故防止対策事業	くらし交通安全課	P 67
交通災害共済事業	くらし交通安全課	P 67
交通安全施設整備事業	道路維持課	P 67
通学路等区画線設置事業	道路維持課	P 67

(2) 市民アンケートの結果

【設問】市民が交通事故の少ない社会で安全に暮らせるよう、交通安全対策の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 20位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

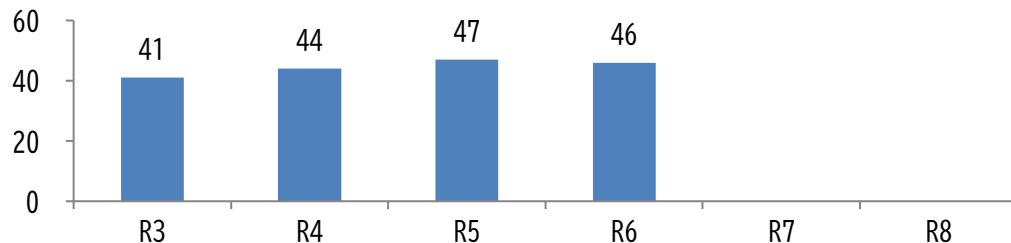
(3) 進行管理指標の動向

①交通安全教室等の開催件数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：市内における交通安全教室・飲酒運転防止講座等の開催件数

(単位：件)

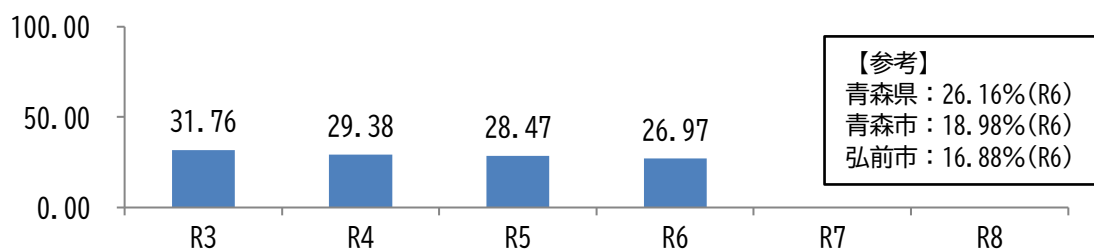


②青森県交通災害共済の加入率

資料：青森県交通災害共済組合（各年度集計）

指標の定義：市内における青森県交通災害共済への加入率

(単位：%)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 交通安全教室等の開催について、令和6年度は新たに八戸警察署等と連携しながら各世代に対応した内容となるよう工夫しながら交通安全教室や飲酒運転防止講座を開催し、交通安全意識の向上につなげた。
- 交通安全施設整備事業について、令和6年度は対象小中学校のうち、12校に対する通学路における白線等の路面標示の引き直し（約26km）を実施し、児童や生徒の安全を確保する交通環境整備を計画的に進めている。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

施策5. 消費生活の安心確保

目指す姿	・消費者トラブルに巻き込まれないよう、市民が消費者として適切に判断して生活している。 ・万が一トラブルに見舞われても、すぐに相談し、必要な支援を受けられる環境が整っており、市民が安心して暮らすことができる。
施策の内容	消費生活に関する情報提供や相談・支援体制の充実を図るとともに、生活再建の支援に取り組みます。

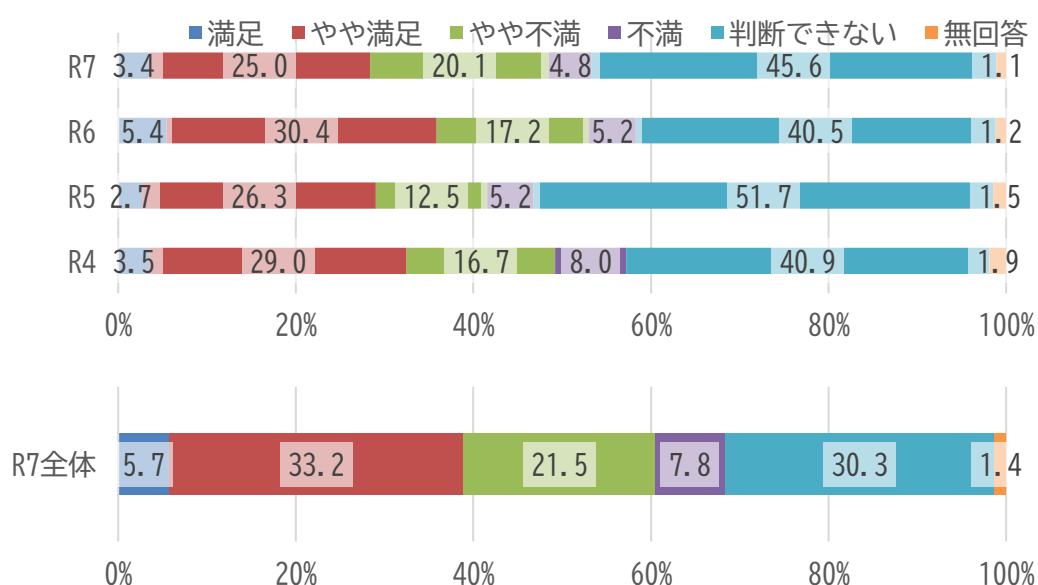
(1) 施策を推進するための事務事業

(7事業)

事業名称	担当部署	事業一覧掲載ページ
消費者講座開催事業	くらし交通安全課	P 67
消費生活情報提供事業	くらし交通安全課	P 68
市民生活相談事業	くらし交通安全課	P 68
消費生活相談事業	くらし交通安全課	P 68
生活再建相談事業	くらし交通安全課	P 68
債務整理資金・生活再建資金貸付事業	くらし交通安全課	P 68
消費者アシスト隊員養成・フォローアップ事業	くらし交通安全課	P 68

(2) 市民アンケートの結果

【設問】市民が安心して消費活動を行い、万が一消費者トラブルに見舞われても必要な支援を受けられるよう、消費生活の安心確保が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 30位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

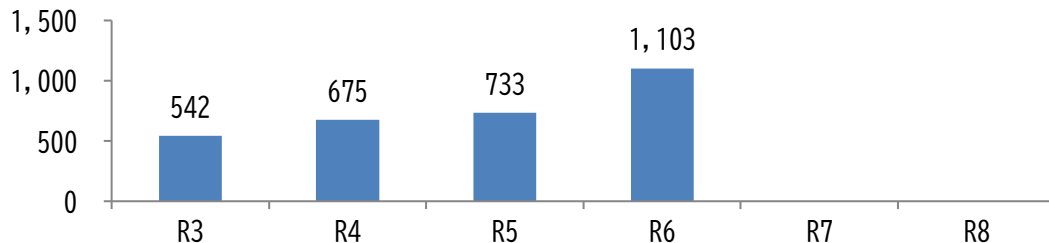
(3) 進行管理指標の動向

①消費者講座の受講者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：消費者講座の受講者数

(単位：人)

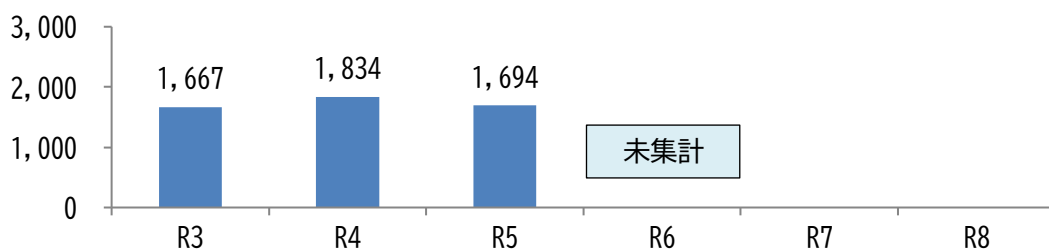


②消費生活相談件数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：消費生活に関する相談件数

(単位：件)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 消費者講座については、消費者トラブル等の社会のニーズに合わせた講座を行っており、特に若年者を対象とした出前講座の開催回数と1回あたりの参加者数が増加傾向となっていることから、今後も社会のニーズを捉えて、消費生活に関する効果的な情報発信を図っていく。
- 消費生活相談については、個別の相談に適切に対応できる体制を維持しており、市内だけではなく圏域全体の消費生活に関する知識の向上及び消費者被害の未然防止を図っている。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

■ 施策の方向性Ⅲ 健康を守る

施策１．健康づくりの推進

目 指 す 姿	・市民の健康意識が向上し、市民自らがライフステージに応じた健康づくりに取り組み、早世が減少し、健康寿命が延伸している。
施策の内容	市民の健康意識の醸成や健康相談体制の充実を図るとともに、市民の健康づくり活動の支援に取り組みます。

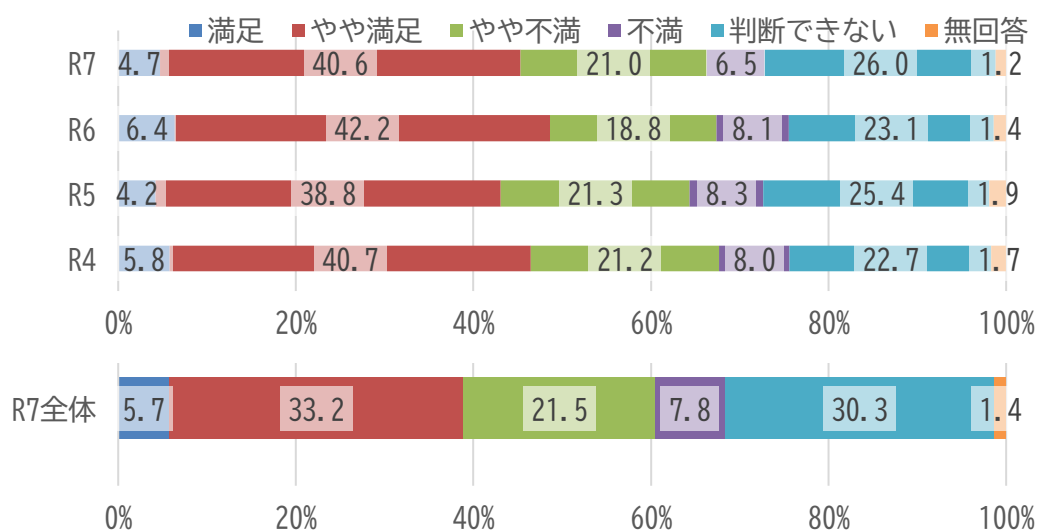
（１）施策を推進するための事務事業

（11 事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
健康意識啓発事業	健康づくり推進課	P 69
自殺対策推進事業	保健予防課	P 69
健康まつり開催事業	国保年金課	P 69
国民健康保険周知事業	国保年金課	P 69
後期高齢者医療制度周知事業	国保年金課	P 69
健康教育事業（成人）	健康づくり推進課	P 69
健康はちのへ 21 ポイントアプリ事業	健康づくり推進課	P 69
性と健康のセンター事業	すくすく親子健康課	P 70
健康相談事業（成人）	健康づくり推進課	P 70
健康づくり団体等活動支援事業	健康づくり推進課	P 70
給食施設栄養管理指導事業	健康づくり推進課	P 70

（２）市民アンケートの結果

【設問】市民がそれぞれのライフステージに応じた健康づくりに取り組み、健康寿命が延伸するよう、健康づくりが推進されている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 16 位／全 55 問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

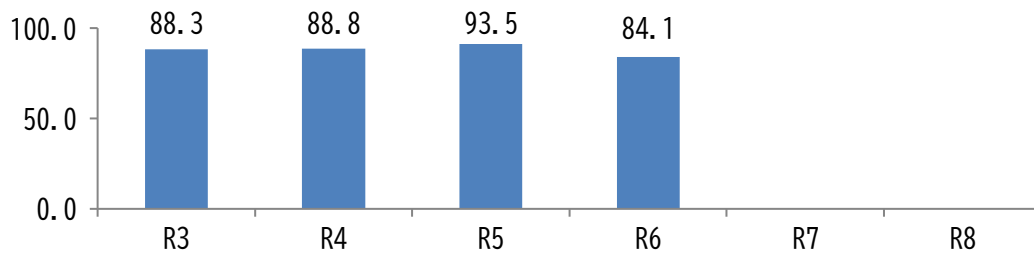
(3) 進行管理指標の動向

①市民健康づくり講座のアンケート結果(「講座内容が自分の生活に活かせる」と答えた人の割合)

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：市民健康づくり講座のアンケート結果「講座内容が自分の生活に活かせる」と回答した割合

(単位：%)

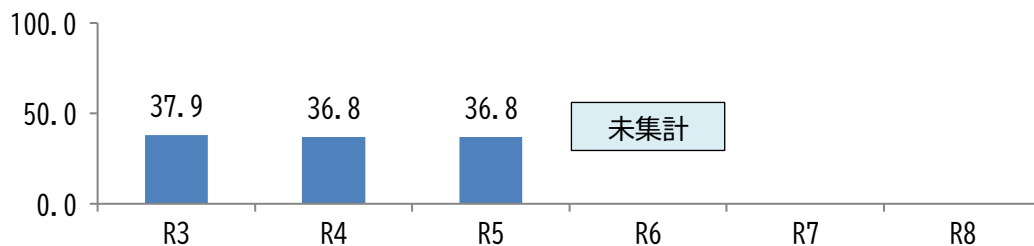


②運動習慣者の割合

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：市で実施している特定健康診査を受診した 40～74 歳の運動習慣者の割合

(単位：%)

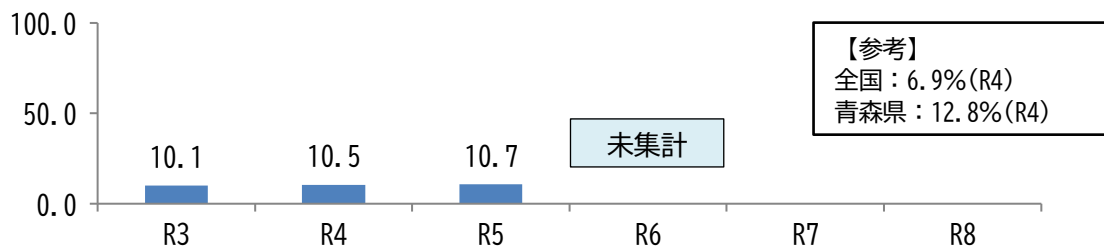


③各種がん検診の受診率（胃がん）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：市で実施している 50 歳以上を対象としたがん検診の受診率

(単位：%)

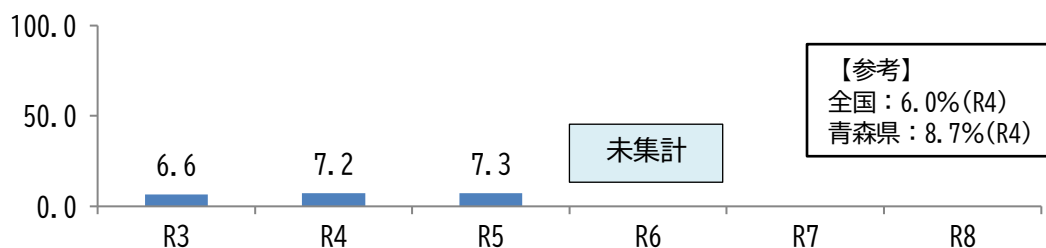


④各種がん検診の受診率（肺がん）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：市で実施している 40 歳以上を対象としたがん検診の受診率

（単位：％）

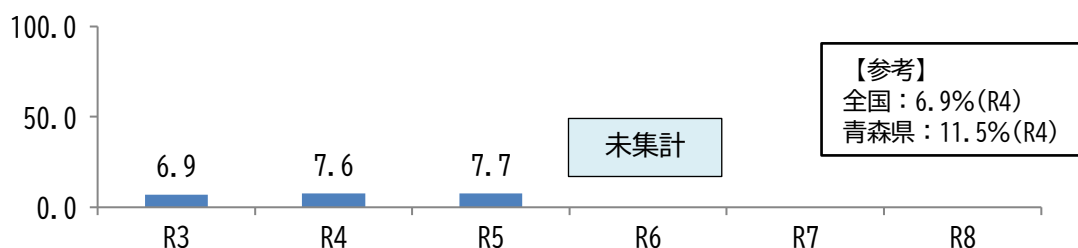


⑤各種がん検診の受診率（大腸がん）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：市で実施している 40 歳以上を対象としたがん検診の受診率

（単位：％）



（４）施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

（自己評価の理由）

- ・ 自殺対策推進事業については、第２期いのち支える八戸市自殺対策計画を策定したほか、自殺予防講演会の開催等による普及啓発や、ゲートキーパー研修の実施による人材育成に引き続き取り組んだ。
- ・ 市民健康づくり講座は令和６年度から事前予約不要となり、会場を総合保健センターとしたことから、前年度に比べて参加者は増加している。周知については、チラシやポスターの配布のほか、新聞やデジタルサイネージ、dボタン広報、各種 SNS 等による周知のほか、令和６年度からはポスターの配布先をさらに拡大した。
- ・ また、市民が講座内容についてより理解を深めていただくため、講演資料を参加者へ配布しており、講座のアンケート結果の「講座内容が自分の生活に活かせる」割合は堅調に推移している。
- ・ 令和４年度より「健はちプラス+」の運用を開始し、市民が気軽に楽しく健康づくりに取り組む機会の醸成に努めているが、利用者数は横ばいで推移していることから、今後は利用者の増加や利用者のモチベーションアップに資する取組を検討していく必要がある。

- 当市のがん健診受診率は全国平均よりは高いが、県内平均では低い傾向にあるため、「健診だより」でがん検診受診の必要性を訴えていくとともに、未受診者に対する受診推奨策を取り入れ、受診率の向上に努めている。
- 一方で、指標である受診率は、低水準となっていることから、市内の施設ごとで把握している受診率について、デジタルの力を活用する等、市内全体の受診率の動向を確認したうえで、受診率向上に向けた取組を検討できるような環境を整える必要がある。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策２．疾病予防・重症化予防の推進

目 指 す 姿	・がんや生活習慣病、感染症などの疾病予防・重症化予防が図られ、早期の治療、感染症のまん延防止につながっている。
施策の内容	健康診査・検診や各年代に応じた各種予防接種を実施するとともに、市民に対する受診促進を図ります。また、国や県、関係機関との連携により、感染症のまん延防止体制の強化を図ります。

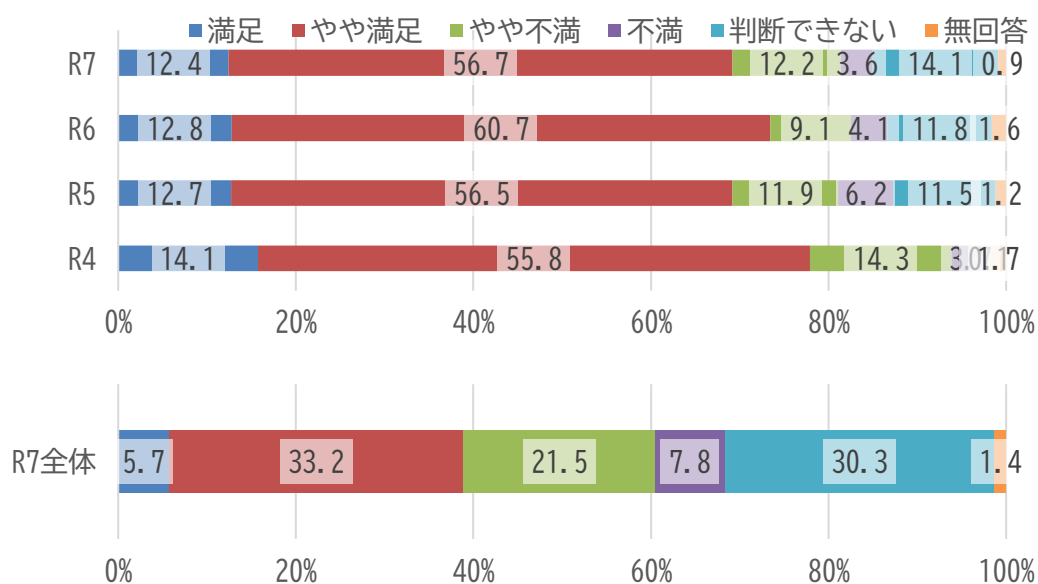
（１）施策を推進するための事務事業

（27 事業）

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
がん検診事業	健康づくり推進課	P 70
歯周病検診事業	健康づくり推進課	P 70
乳幼児予防接種事業	保健予防課	P 71
高齢者予防接種事業	保健予防課	P 71
国保人間ドック事業	国保年金課	P 71
国保特定健診及び特定保健指導事業	国保年金課	P 71
医療費適正化対策事業	国保年金課	P 71
後期高齢者健診事業	国保年金課	P 71
狂犬病予防対策事業	衛生課	P 71
成人健康診査事業	健康づくり推進課	P 71
任意予防接種事業	保健予防課	P 72
がん検診推進補助事業	健康づくり推進課	P 72
感染症予防事業	保健予防課	P 72
難病患者相談事業	保健予防課	P 72
精神保健福祉相談等事業	保健予防課	P 72
後期高齢者人間ドック事業	国保年金課	P 72
後期高齢者歯科口腔健康診査事業	国保年金課	P 72
結核予防事業	保健予防課	P 72
特定感染症検査等事業	保健予防課	P 73
生活習慣病の発症予防及び早期発見・重症化予防推進事業	国保年金課	P 73
後期高齢者保健指導事業	国保年金課	P 73
ピロリ菌対策事業	健康づくり推進課	P 73
受動喫煙防止対策事業	健康づくり推進課	P 73
市民へのフォローアップ推進事業	保健総務課	P 73
保健所機能強化事業	保健予防課	P 73
成人訪問指導事業	健康づくり推進課	P 74
国保特定健診及び特定保健指導事業	国保年金課	P 74

(2) 市民アンケートの結果

【設問】健康診査やがん検診、各種予防接種の実施、感染症のまん延防止体制の強化など、疾病予防・重症化予防が推進されている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 6位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

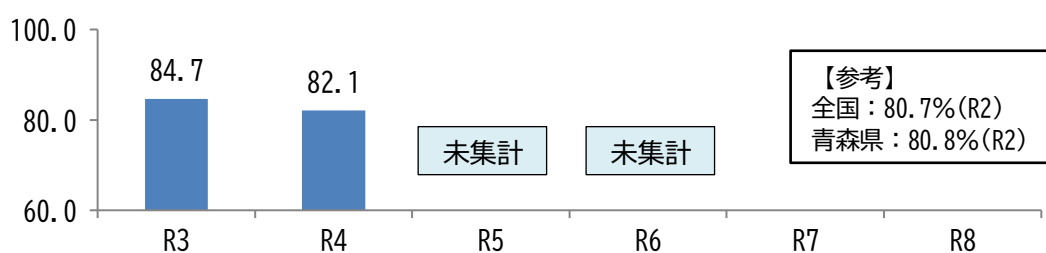
(3) 進行管理指標の動向

①各種がん検診精密検査の受診率（胃がん）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：市で実施している40歳以上を対象としたがん検診の精密検査受診率

（単位：％）



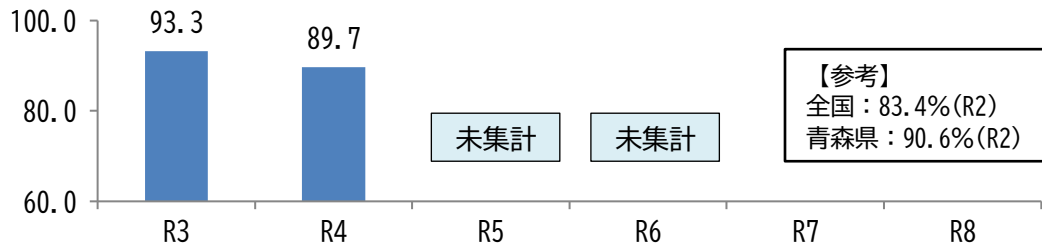
【参考】
全国：80.7%(R2)
青森県：80.8%(R2)

②各種がん検診精密検査の受診率（肺がん）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：市で実施している 40 歳以上を対象としたがん検診の精密検査受診率

（単位：％）

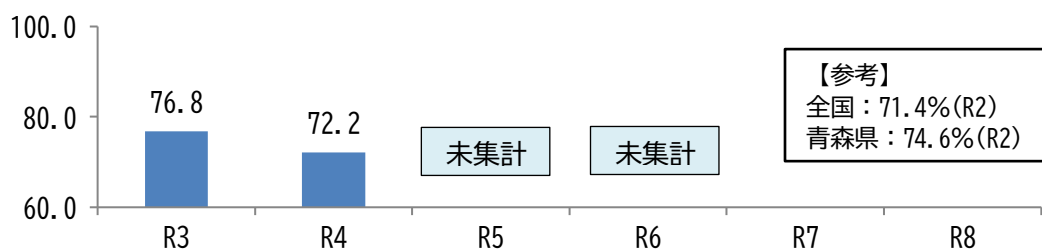


③各種がん検診精密検査の受診率（大腸がん）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：市で実施している 40 歳以上を対象としたがん検診の精密検査受診率

（単位：％）

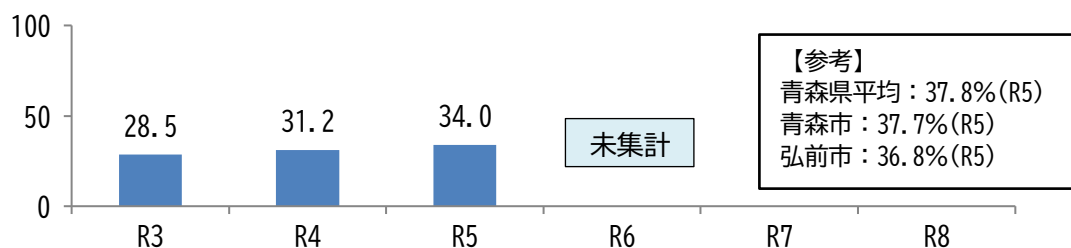


④国保特定健康診査の受診率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：国保特定健康診査（国保人間ドック含む）受診率

（単位：％）



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 保健所機能強化事業では、次なる感染症危機に備えるため、保健所職員を対象とした訓練や県の研修会へ参加し、人材の養成に努めるとともに、検査機関と検査措置協定を締結するなど、検査体制の強化を図っている。
- 国保特定健康診査の受診率においては、未受診者の健診受診歴や医療機関通院状況に合わせた推奨内容としたほか、若年層向けに動画共有サイトに遷移する二次元コードを記載するなど、推奨内容にさらに工夫を加えた結果、最新の公表数値である令和5年度は制度開始以降最も高い受診率となっている。
- 令和6年度からは、精密検査費の一部を助成する事業を開始したことから、当該事業の実施により精密検査受診率の向上及びがんの早期発見・早期治療を促進し、がんによる死亡者の減少を図っていく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ↓

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

施策3. 地域医療の充実

目指す姿	・ 高度な医療体制の構築が図られ、市民が必要な時に必要な医療を受けられる環境が確保されている。
施策の内容	医療従事者の確保や医療環境の整備、ドクターヘリやドクターカーの効果的な運用による地域医療体制及び救急医療体制の充実を図ります。

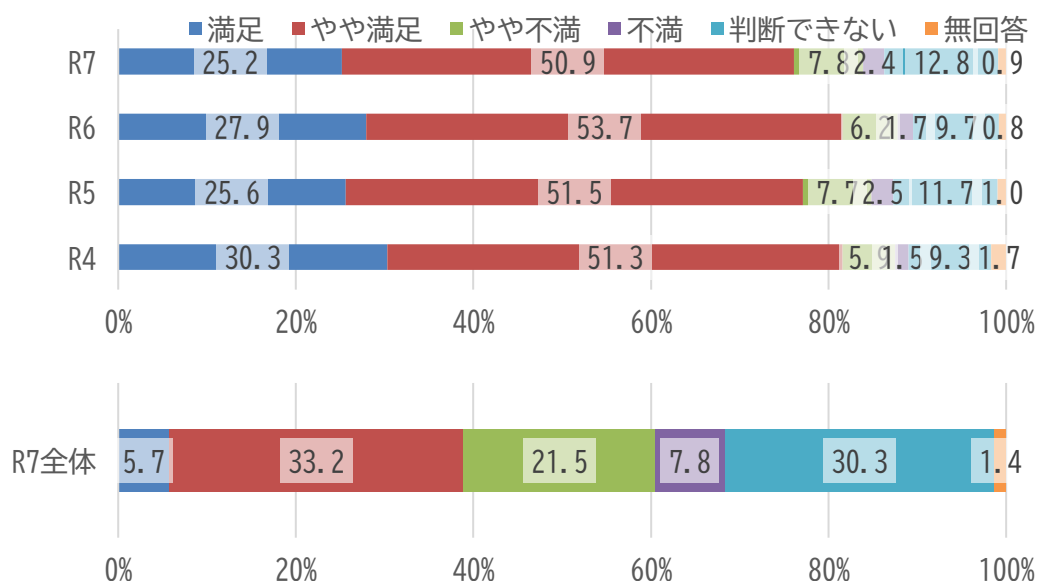
(1) 施策を推進するための事務事業

(12 事業)

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
医師確保対策事業	保健総務課	P 74
看護師等修学資金貸与事業	保健総務課	P 74
献血・骨髄移植ドナー普及促進事業	保健総務課	P 75
看護師養成事業	高等看護学院	P 75
医師派遣事業	保健総務課	P 75
総合的ながん対策事業	市民病院	P 75
高度医療従事者育成支援事業	保健総務課	P 75
がん患者医療用補整具購入費助成事業	健康づくり推進課	P 75
市民病院給食食材費等高騰対策支援事業	市民病院	P 75
救急医療体制整備事業	保健総務課	P 75
ドクターカー運行事業	保健総務課	P 76
A E D 普及促進事業	保健総務課	P 76

(2) 市民アンケートの結果

【設問】市民が必要な時に必要な医療が受けられるよう、ドクターヘリやドクターカーの運用や、医療従事者の確保など、地域医療の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 1位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

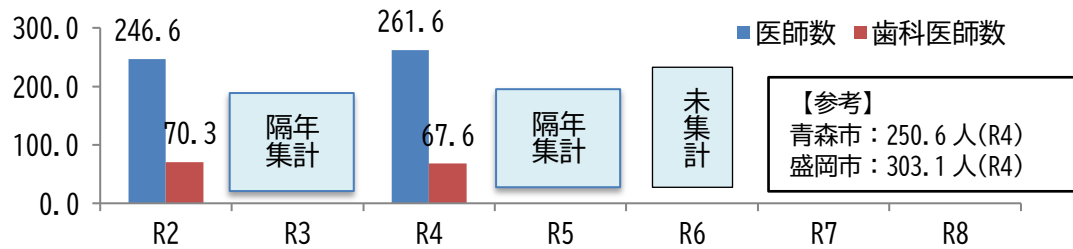
(3) 進行管理指標の動向

①人口 10 万人当たりの医師数・歯科医師数

資料：厚生労働省（隔年集計）

指標の定義：人口 10 万人当たりの医師・歯科医師数（隔年集計）

（単位：人）

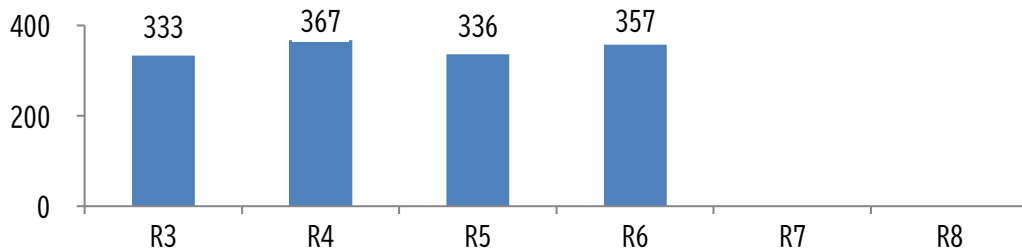


②ドクターヘリの出動件数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：消防の要請により出動したドクターヘリの出動件数

（単位：件）

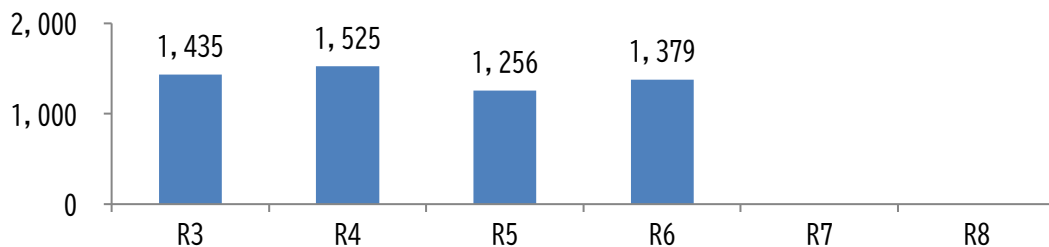


③ドクターカーの出動件数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：消防の要請により出動したドクターカーの出動件数

（単位：件）



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

a. 非常に順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 満足度について、満足・やや満足を合計した割合が平均に比べて高い傾向にある。
- 令和6年度から拡充された県が実施する弘前大学医師修学資金支援事業への支援や、市が実施する看護師等修学資金貸与事業により、医療従事者の確保及び定着が図られているとともに、高度医療従事者育成支援事業により市民病院救命救急センター及び地域周産期母子医療センターの医師、看護師の医療技術の向上を図っている。
- ドクターヘリやドクターカーは、救急処置開始までの時間短縮により救命率の向上に大きく貢献しているほか、応需率は高水準を維持している。
- 休日夜間急病診療所などの一次救急、病院群輪番制の二次救急、市民病院救命救急センターの三次救急からなる医療の提供や、連携中枢都市圏市町村、市民病院との連携によるドクターカーの運行、医師派遣事業の実施などにより地域医療体制及び救急医療体制の充実を図っている。
- AED 普及促進事業において、令和6年度は AED 講習会を計画どおり2回実施することができた。

(5) 施策に対する委員会の評価

- ☐ A. 市の自己評価が妥当と考える
- ☐ B. 市の自己評価が妥当でないと考える ➡

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- ☐ a. 非常に順調に進んでいる
- ☐ b. 順調に進んでいる
- ☐ c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- ☐ d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

（６）施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・